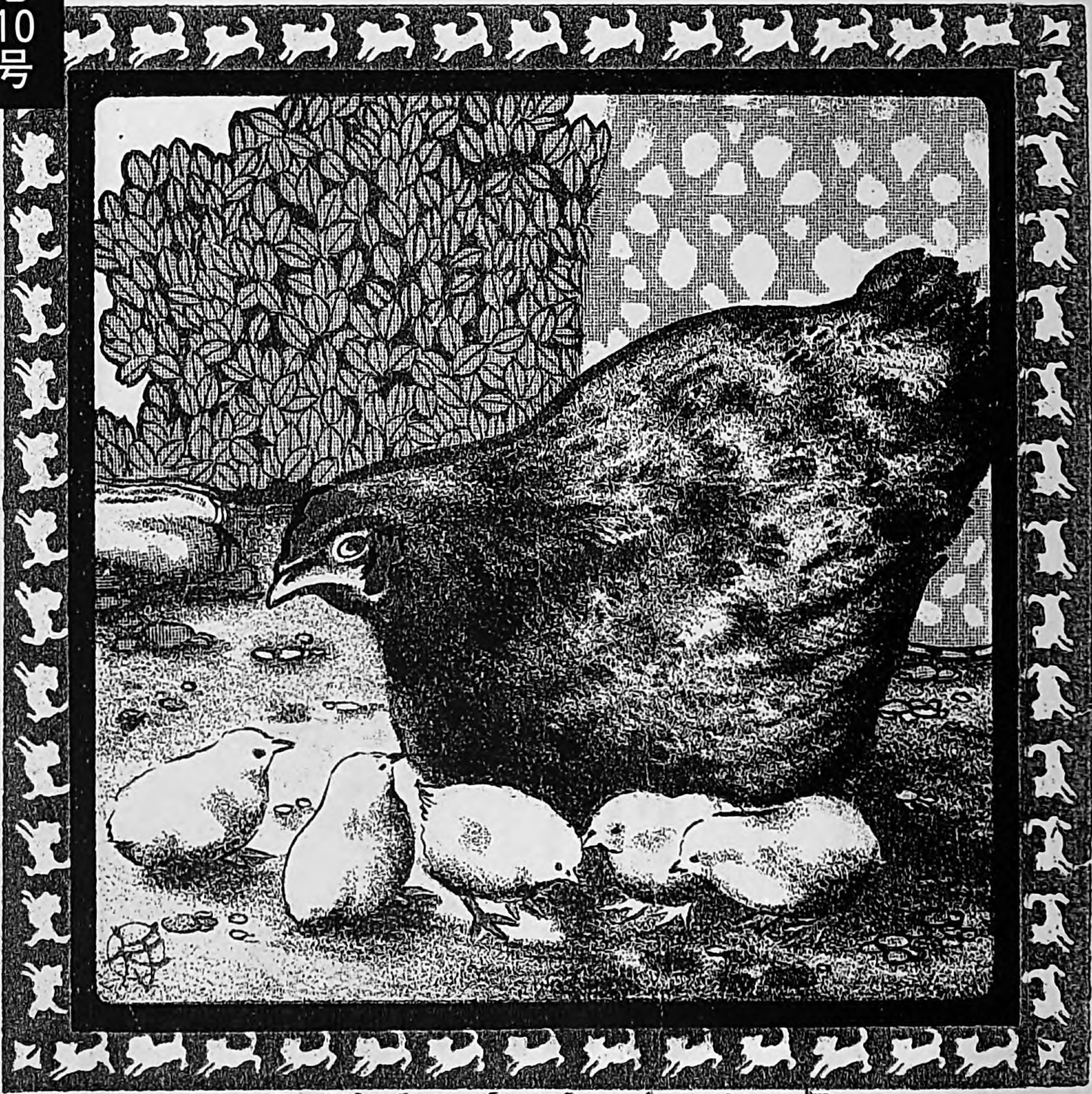
處女の友

賜皇后宮毎號台覧之榮

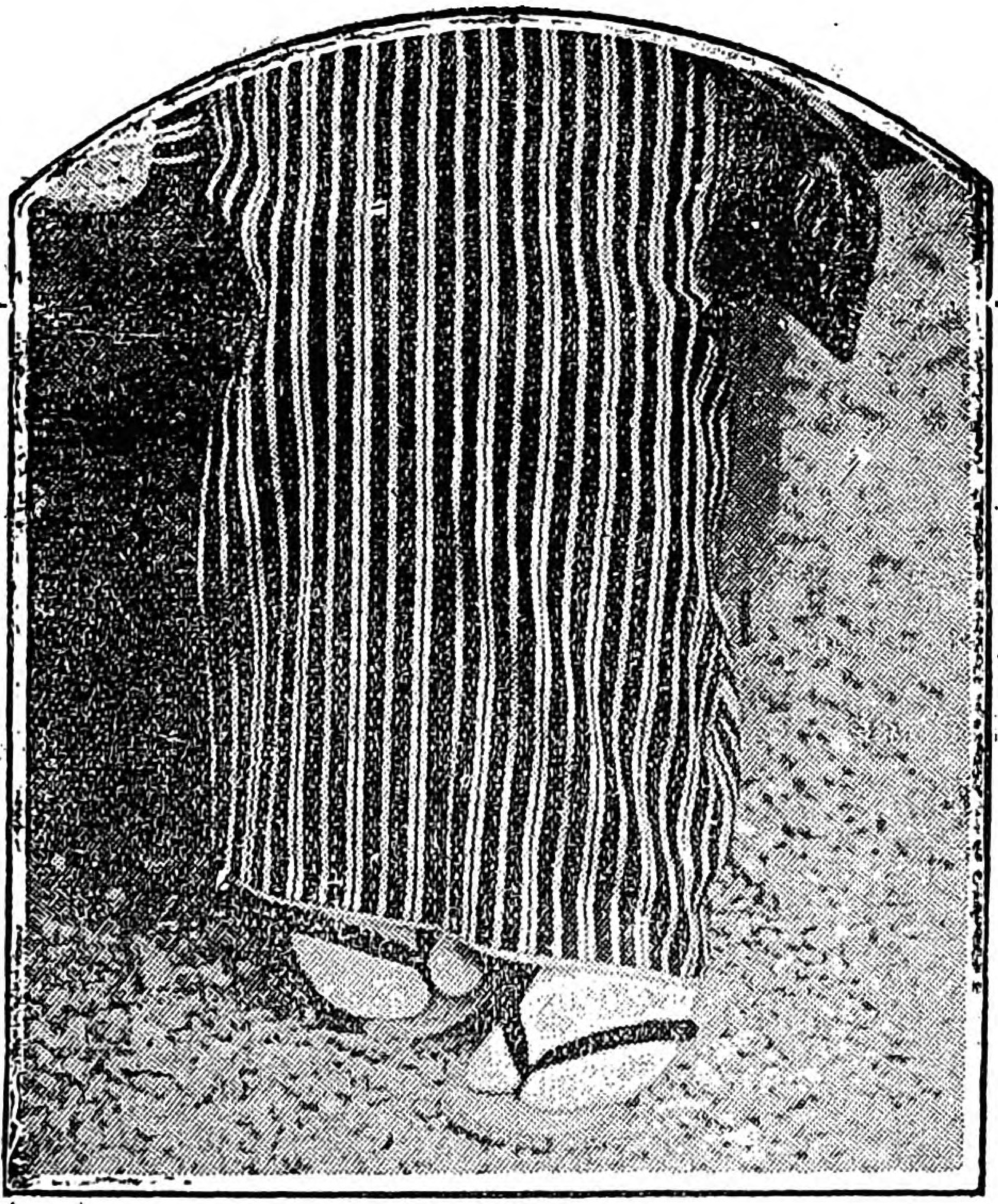
第五巻　十月　第十號

5巻10号



處女會中央部發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



白朱子の氣品

選りに選つた良い生地を上手に仕立てた白朱子の、水際立つた品のよさ

白朱子の恰好

爪先から踵まで、一針の運びにも誠をこめて縫上げた白朱子の恰好よさ

白朱子の色艶

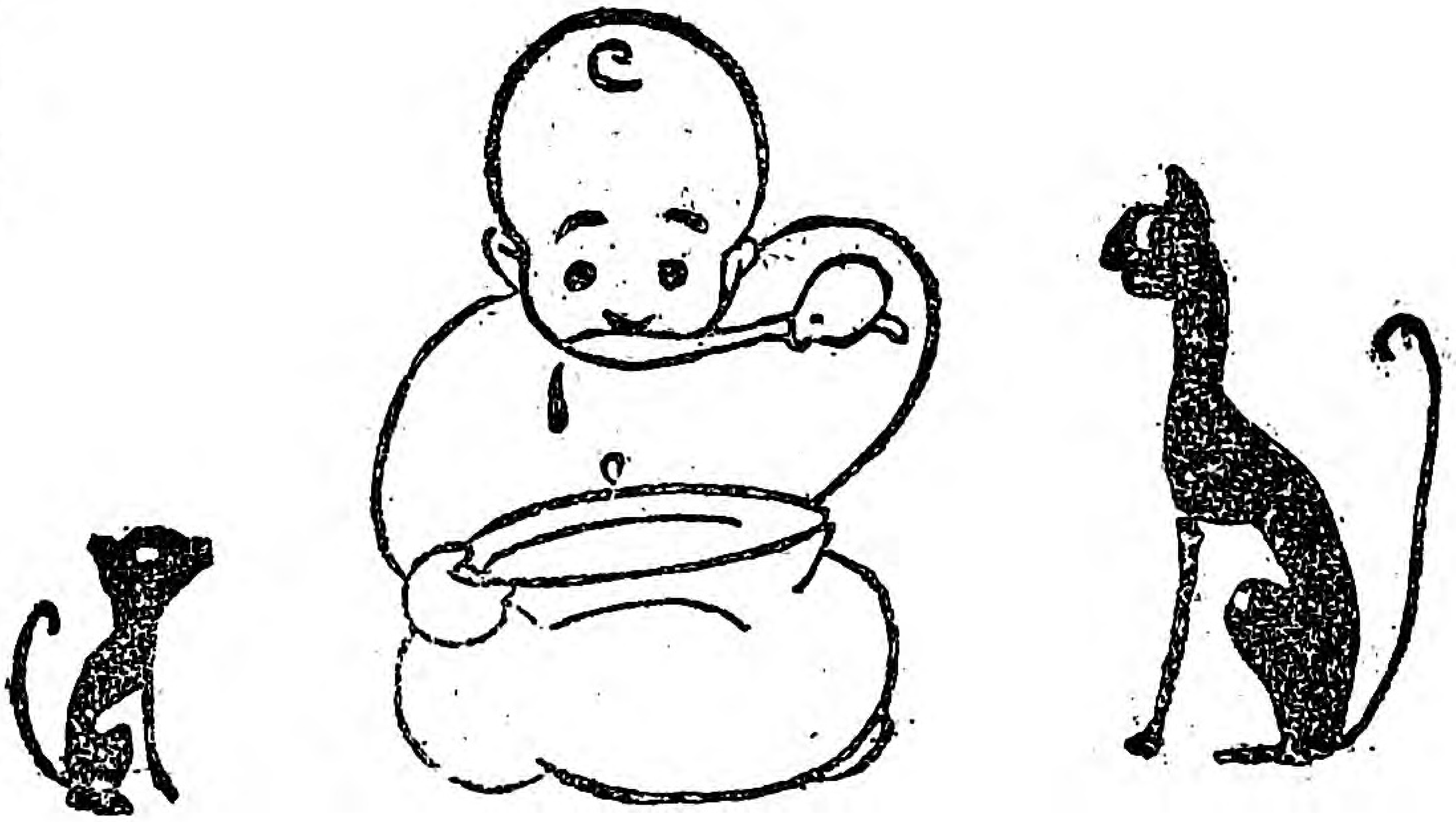
不斷着にも晴着にも、しつくりとよく調和る白朱子の一際優れた色と艶

白朱子

福助足袋

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

日英米佛專賣特許
平和博名譽賞受領



オイシイ
ウマイ
ノドガナル

原料は
小麥の
蛋白質

味の素（あぢのもと）

味の素本舖　鈴木商店
東京　大阪　名古屋　上海

處女の友

第五卷 第十號 目次

大正十一年十月一日發行

○表紙　母の愛……………………………………田代常江筆

○口繪　地方處女會指導者の講習會／美しきつどひ／地方處女の活動／故天野藤男氏をしのぶ

◎記　事◎

講習員諸氏を迎ふる辭（卷頭）……………………一

▽よきに進まんがために……本會理事　山脇房子……二

▽この心、この感謝……本會理事　福島四郎……四

▽歐米視察夜話……本會理事　下村壽一……六

▽大正の少女は黑味ある赤色たれ……本會講師　岸邊福雄……一一

▽處女に誘はれて北陸へ、岩代へ……本會幹事　増子懷永……一六

▽國際勞働會議……編輯子……二三

▽政府物價引下げの施設……………………二四

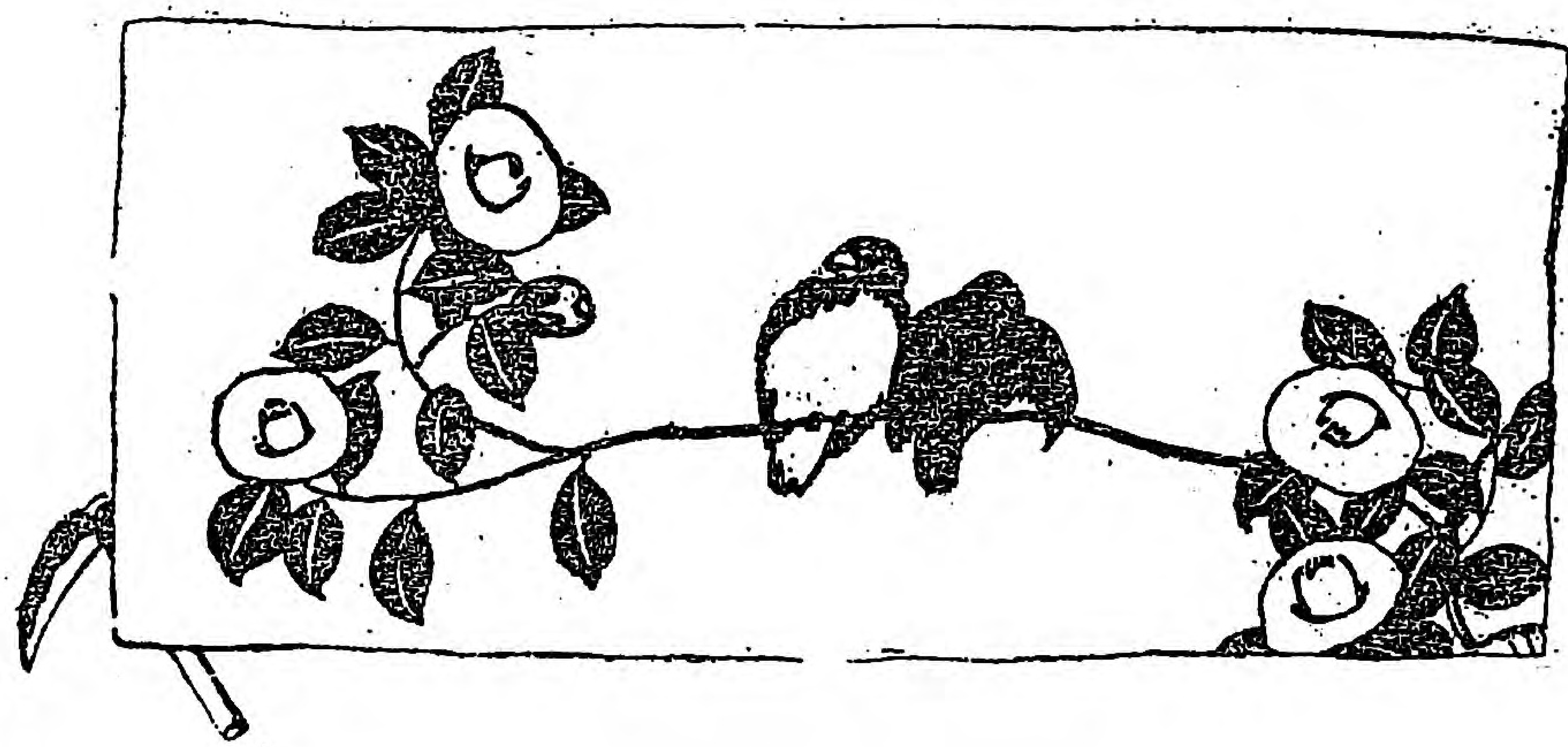
▽指導者講習會講習員諸氏に望む……………………二六

▽故田所楠猪君建碑金募集……………………二七

▽懸賞募集　私の苦心談……………………二八

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



▽地方婦人の自覺と煩悶……藏田清子…三三
眼の病にて(鍛冶谷せい子)……貧しい家計に(塩澤みつほ)……旅空で(西松初枝)……
伯父様の家で(川角幸子)……初奉公に苦心(淑尾淳麗)
▽模範女工手表彰(其ノ二)……小山工場…四三
▽家に殉せんか、道に盡さんかに答ふ(上)…本誌主筆…四六
▽愛讀者開悟の悅び……
▽リボン刺繡の手提袋……齋藤しげる…四九
▽手足のないお母さん……婦人記者…五三
▽好い女悪い……ひろの…五五
▽或る朝……常春…五八
▽處女對話 過ぎにし時を惜しみて……足立信子…六二
▽學びの園……空明生…六五
▽女地方通信……六九
處女會幹部講習會(千葉縣千葉郡聯合處女會)……隠岐第一回處女會指導者講習會便り
(山本湖之助)……我が縣の處女會(香川縣高橋玉ノヲ)……埼玉縣入間郡吾妻村處女會
(山口篤櫻)……第二回の敬老會(静岡縣富士郡傳法村)
▽處女歌壇……七二
▽處女俳壇……七五
▽投稿の規定……七八
▽誌友だより……七九
▽編輯だより……八四
▽考へ物……八四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

絞り染は

貴女の家庭を經濟にし、
貴女の家庭を平和にし、
貴女の氣品を高むる
家庭必須の技藝であります

主なる營業品目

豆奴印　家庭染料各種
同　特許絞り器具一切
同　和洋洗濯器具、石鹸、糊劑
同　特許金銀砂子箔各種
同　其他女子工藝材料

美しき弊社の營業品目錄御申越し次第進呈致します

家庭絞り染は實益、趣味、簡易、經濟的技藝として至る處に歡迎されて居ります、殊に各地の婦人會其他

色々の婦人團體では會の事業として奬勵し且つ會員の藝術的感念を高むる一法として望外の賞賛を受けて居ります。

右の技藝講習御希望の御方には規則書申越次第進呈致します。尚、學校、婦人會、處女會其他婦人團體等の講習申込には講師出張親しく教授の法もあります

絞り染の元祖

株式會社 桐山商店

大阪店、大阪市南區鹽町通堺筋東入
電話船場二五六〇番
三五二八番
振替大阪第二六五二番

東京店、東京市麹町區富士見町二ノ三二
電話九段一九九四番
振替東京第三四六一三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宮内省御用達
ヒゲタ醬油!!
帝仙
銚子醬油株式会社

地方處女會指導者の講習會

鳥取縣隱岐國第一回處女會指導者講習會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

美しきつどひ

靜岡縣富士郡處女會總會

靜岡縣富士郡傳法村處女會の敬老會

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

家庭……のために！

色白くなる

ハーク過酸化石鹸

過酸化水素應用の化粧石鹸です

（全國化粧品店及藥店ニアリ）

東京室町
發賣元　泰昌製藥株式會社

大阪道修町
關西代理店　武田長兵衞商店

◎御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ◎

民衆的 早稻田 女學校

高等女學講義

早稻田大學 名譽學長 法學博士 高田早苗 學長 法學博士 鹽澤昌貞兩先生指導

科外講師 坪内逍遙先生、嚴谷小波先生、佐々木信綱先生、下田次郎博士、三輪田元道先生、山脇房子先生、茨木清次郎先生、湯原元一先生

その他の名士、女子教育家數十名が科外講師として有益な講義をして下さいます。

（いつでも入學が出來る）

講義錄の特色（見本はいつでも無代であげます）

わかりよいこと

學費が安いこと

面白い女學の友

意味深い學問もやさしく說いてゐるので小學校卒業の學力があれば誰にでもわかり、態々不便な女學校に入る必要がない。

高等女學校五ヶ年の學課を僅か一ヶ年半で、しかも女學校に在學する數ヶ月の學費で全課を卒業出來ます。

學課と竝んで每號附錄の女學の友には懸賞作文その他有益な獎學法や面白い小說、傳說、作歌法、作詩法、俳句講義などがのせられます。

東京牛込
早稻田大學
出版部
振替口座東京一一二三番
電話番町 三四九・三七四 二四三三・三七四九

御存じですか

新時代の産物

活動的御婦人に

文部省囑托久留島武彦先生指導
美粧倶樂部山本久榮女史考案

のさかゑ髷に用ふる

さかゑバンド

ピンが入らない
決して髷が解けない
體裁がよくて
使用が簡便

婦人會容整善改活生人婦の推薦
さかゑ姉妹品

婦人用
さかゑ頭髪ブラシ

消毒や掃除が充分に行屆いて出來ます
木櫛と違い髪ざわりよく毛髪の發育を助けます
髪を美しくなめらかにフケと埃をよく取ります

帝國政府處定の原毛消毒濟同業組合の品質檢査に合格濟

さかゑ櫛

何んな消毒や掃除も思ふ様に出來ます
丈夫で取扱に心配なく破損の憂がありません
豊富な材料を以て機械で造るから安く出來ます

今スグお求め遊ばせ

マーガレット商店

東京市赤阪區田町一丁目壹電芝五八四五番
大阪市東區内淡路町壹丁月九電本三五七九番

家庭染料

みやこ染

目醒めたり家庭染色!!

貴族の御家庭にも民衆の御家庭にも絞り染や色揚、染直しの素人染色は只今大流行でございます

優秀なる各國染料の粋を集めて到底他の及ばざる特色を有する本品は代表的家庭染料としてあらゆる御家庭の寵兒となりました

絞り染が自由に出來る家庭用改良染料

みやこ染

▲種類▼ (各色同値段)

木綿絹染用　小(半反染)廿錢
大(一反染)四十五錢
紺、黒、赤、淺黄、茶、鼠外十九色

絹毛染專用　小(半反染)卅五錢
水色、桃、紫、緋、緑、青外十五色

△絞り染用具▽ 送料

一、絞り染下繪用　青花一袋十二錢 (二錢)
一、ミヤコ式絞り圖案　各一組卅錢 (四錢)
第一集(平易)第二集(高級)
一、新案くけ器付絞り機　一臺一圓 (十二錢)
一、懐中用特許新案絞り器
一臺一圓五十錢 (十八錢)

其他家庭染色材料

染色標本進呈…處女會員にて染料御研究の方へ無代進呈す

東京日本橋區小舟町一丁目
本舗 桂屋 青山染料店
電話浪花長一九五八 二九五八
振替東京三九五

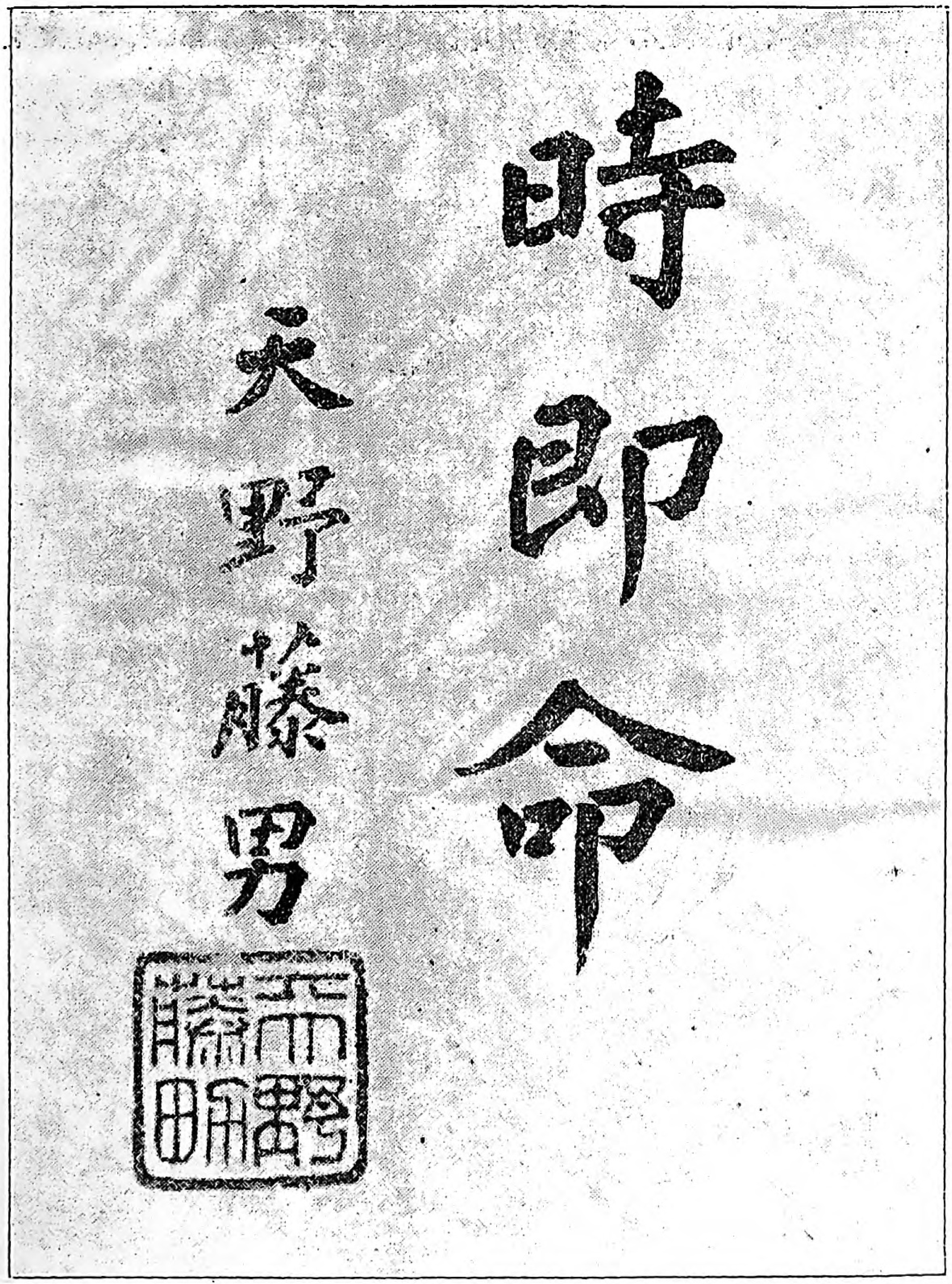
Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方處女の活動

愛媛縣喜多郡河邊村坂本處女會の一晝一夜講習會並びに消防組發會式

埼玉縣入間郡吾妻村處女會の集り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



故天野理事を忍ぶ

天野理事は意志の人であつた。熱誠の人であつた。君の著作に簡疊に其全人格は描き出されてある。吾處女會中央部の今日あるは、君の力に負ふ所が頗る大きい。君は昨秋十月指導者講習會の終れる翌日、「吾意稍遂し得たり」とてか永久の眠に就かれた。上掲の書は昨年四五月の頃、岐阜縣のさる雜誌のために寄せられたので、此種のものとしては恐らくこれが絶筆であつたらう。「時即命」なる語が思ひなしにもよれるか、時の力には抗し得ずして終に命を終へてしまはれる讖音のやうにも見られる。實に悼むにも餘れる記念である。本年今月君の一週忌に際し恰も第二回講習會を開く。思出多い時に當り、いさゝかこれを以て君を忍ぶよすがに供する。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女會中央部編

最新刊

これからの處女の爲めに

東京市本郷區動坂町一三七番地
振替東京一四二四三番
日比書院發行

四六版紙裝頗美本
上下二卷五百餘頁
上、下各冊
定價金壹圓參拾錢
送料各金拾錢

目次概要

（上卷）

開會の辭　山脇高等女學校長　山脇房子

婦人問題概觀（細目十一節）　成女高等女學校長　宮田修

歐洲處女の節制問題　宮內省御用掛兼內閣內務省囑託　國府種德

處女の修養（細目二十一節）　三輪田高等女學校教頭　三輪田元道

所感　陸軍中將　堀內文二郎

處女會と補習教育（細目三十節）　文部省社會教育課長　乘杉嘉壽

頹廢思想を戒む（細目十四節）　東京女子高等師範校長　湯原元一

處女の貞操（細目十五節）　基督教婦人矯風會總幹事　久布白女史

處女會について（細目二十三節）　內務書記官　大野綠一郎

處女會の幹部養成（細目十五節）　處女會中央部評議員　山本瀧之助

（下卷）

處女生活改善（細目三十節）　東京女子商業學校長　嘉悅孝子

衣食住の整理及改善（細目二十六節）　東京女子高等師範學校教授　甫守ふみ子

食物と健康（細目十六節）　醫學博士　二木謙三

性と結婚（細目六十節）　醫學博士　永井潛

婦人の衛生（細目五項）　東京女子醫學專門學校長　吉岡彌生

本書の內容は目次に示したる如く專門諸大家の尊重すべき研究と、讃嘆すべき金玉の講演とを蒐輯したるもの處女の敎養と指導と誘掖に對しては、眞に空前の一大寶典と稱すべきものなり。苟くも日本現代の處女に對する要望と期待とを明白にする外、一般處女―殊に日本處女の特質に就て、細大洩らすところなく論評し言說して餘りあるもの、實に無二に珍書として、本院は玆に至大の滿足と誇りとを以て江湖諸彥に推奬するものなり。

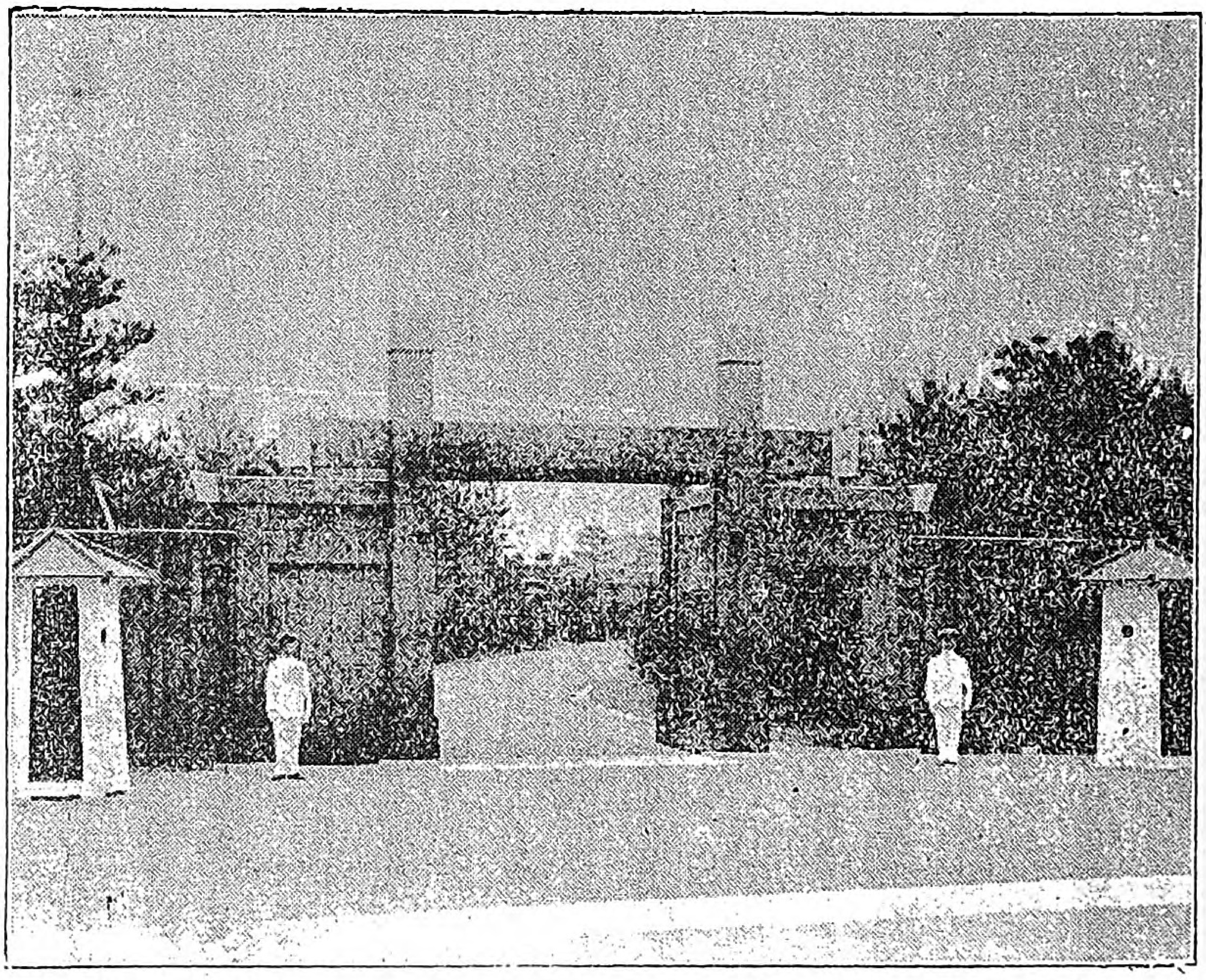
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ライオン洗棒石鹼

洗濯がひの著しい
ライオン洗濯石鹼を
お使ひ遊ばせ。

すこし使つたたけでも、眞白の泡がよく立つて、汚れ物も忽ちきれいになります。且つ布を傷める心配もなく手の荒れる虞もないといふ理想の品でございます。

相州葉山御用邸



講習員諸氏を迎ふる辭

婦人の自覺を叫び、婦人の改造を說くも、其道を知らず、其法を辨へず、漫然として議し、卒爾として談ずるもの、比々皆然らざるはなし。此時に當り吾處女會中央部は全國處女會指導者講習會を開き、碩學名家を聘して、處女愛導の方法を講じ、倚らしむべく知らしむべからざる舊慣を打破せん事を企劃したるに、聲に應じて參集せられたる講習員諸氏二百名に上り、海內の婦女子を警醒せしめんとするの意氣旣に已に顯然たるものあり。吾等同人は諸氏を迎へて文化促進の慶を同じくすると共に、天澄み氣淸らかなる時に際し、姑息偸安の懦風を排し、新興の氣宇を熾にすべく、努力する所あらんとす。諸氏冀はくは精勵一貫邦家のため鄕土のため必ずや貢獻せられんことを。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

よきに進まんがために

本會理事　山脇房子

風俗習慣にとらはれぬやう

村には村の風俗があり、家には家の習慣といふものがありまして、其仕來つた事は各々の型にはまつて、なか〱とれ憎いものであります、ところがこの舊來の習慣の中にはよい事もありますが、日進日歩の今日に、新知識を得たものには時としては其ために進歩を障げられ、勇氣を挫かれる事もあります。

古い習慣の中には不經濟であり、不便であると思ふ事もありまして、中には不自由と不衛生て笑ふべき事すらありますが、家に代々傳はつた事、又は土地の古いしきたりといふ事は、さてこれを改めやうとしても、なかなか容易な事てありません。かうしたらどう思はるゝだらうか、他の人が何とか言ひはすまいかと、何となくすまぬやうな氣がして、周圍の人に氣兼ねをするものもありませう。現に改めた方が都合のよいにきまつた事で、改めなければならぬ事でも、つい舊慣に囚はれて、おかしい〱と思ひ乍らも其まゝにして置くといふ事は、實に勇氣のない事ではありませんか。

舊來の陋習を破つて

明治天皇が明治の初年に、畏くも五ケ條の御誓文を詔し給ひ、我々國民の進路をお示し遊ばされましたが、其御誓文の中に

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

舊來の陋習を破り天地の公道に基くべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

と仰せになつて居りますが、實に有難きみ訓しではありませんか。生活改善とか、簡易生活とか、じきりに叫ばるゝ今日、例へそれが昔から仕來つた事でも、今の時勢に合はぬと氣のついた事は、直ちに改むべきであります。世の進歩に遲れるやうな事とか、衆人の見て以ておかしい事といふやうな事は、天地の公道に基いて、直ちに改めよとの思召しから、詔をお下遊ばした事で、然もこの詔は今から五十五年も前に仰せ出されたのであります

然るに我國民が、今日尙舊習を守つて、改むべきをも改めませんでしたら、實に先帝陛下の思召しにそはぬばかりでなく、一等國民として恥づべき事でありませう。

家庭の改善は女子の務

殊に女子にとつて最も責任重き家庭の事に就いて改むべき事がたくさんあります。時代の異つた習慣は進歩をさまたげ、舊慣に囚はれる事が、如何に發達に影響するかといふ事は、支那とアメリカを比較して見ますと、最も明らかにわかります。

舊習慣のない自由なアメリカは、あの通り長足の進歩をし、とかく舊習を重んずる窮屈な支那は、進歩が遲れて居るのを見てもわかります。とばかりも申されません、支那も近頃進歩して、今日の新聞紙を見ますと支那の女子も貴衆兩議員に向つて、我々婦人にも參政權を與へよと迫り、參政權法案の或條件を改正させたといふ事が見えましたが、とても我國の婦人はかなひません。この調子では、先進國とほこる我國でも、支那に後れはすまいかと案じられます。

故に我々は日常生活上、これは不都合、不經濟と氣のづいた事は、周圍にあまり氣兼ねをせず、一日も早く改むるやう努力したいものです。

かくて、始めて世界の婦人におくれないやうになる事が出來るでありませう。

かういふ事は實に多數の人が力を協せて、實際に行つて行かなければならない事でありますから、處女の友を通じて、早速改めたき風俗習慣を號を追ふて擧げて見ませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

この心、この感謝

本會理事　福島四郎

私の關係してゐる婦女新聞社で、先頃婦人文化講習會といふのを開きました折、全國から出席された婦人が約六百名に及びました。私共は、この六百名に對して充分の滿足を得させたいと思ひ『親切第一』といふ標語を掲げて、及ぶ限り力を盡しました。

その後、多くの會員から禮狀を寄越されるので、私共は、勞の空しくなかつたことを知り、非常にうれしく感じたのでありますが、その禮狀の中に、四五通ほど、特に私共の心を動かしたのがあります。それは、さながら自分一人だけが親切にしてもらつたかの如く感じて、眞心から感謝してゐられる樣子の現はれてゐる禮狀でありました。

ナルホド私共は、出來るだけの親切を盡したつもりであります。是で不平を言はれては全く引合はないと思つて居ります。けれども、何しろ各府縣から、朝鮮滿洲臺灣からまで多數の方が集まられたのですから、私共は、どの方が何處の誰だといふことを知らう筈もなく、從つてすべての會員を平等に取扱つたのであります。それで、もし六百人の會員中の或る一人が禮を言はれるなら、それは六百分の一だけでよい筈であります。私共は、或る一人二人に對して特別の親切を盡したのでないから、一人二人から特別御叮嚀な禮狀をいたゞく道理は無いのであります。

けれども、六百人に對して仕向けた私共の親切を、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

さながら自分一人で受けたかの如く感じて感謝してゐられる此の人々の心の、純眞を、美はしさ、貴さに、私共は敬意を表さねばならぬと思ひます。

太陽はあまねく世界を照らして、あらゆる生物に必要な光と熱とを與へ、決して或る者に厚く、或る者に薄くといふやうな不公平はありますん。自分といふ人間が此の世に居ようが居まいが、太陽は依然として照つてゐるでせう。けれども、其の太陽なしに自分は生きて行かれないことを思ふ時、そして自分の目を喜ばせ耳を樂しましめるすべてのものが、やはり太陽の惠みによつて生きてゐるのであることを考へる時、私共は太陽に對して感謝しないではゐられません。太陽が自分一人のための存在でないとしても、それは我々が考へるべき範圍でありません。私共は、自分が受けた所の惠みに對して感謝すればよいのです。神に對し、佛に對する『有難い』といふ感じも、やはり是と同じでせう。そして、多く感謝する人はそれだけ多く有難味を感じてゐるのですから、それだけ惠まれた生活の人といはなければなりません。

近い譬へが、知らない土地で道を尋ねた時、親切に敎へてくれると、誰でも『有難う』と禮をいひますが、しかしその有難さを感ずる程度は、人々によつてちがひます。或る人は『本當に有難い、おかげで迷兒にならないですんだ』と、心から感謝しませうし、或る人は何とも思はず『あゝさうですか』位に輕く聞いて、形式的に口先だけの『有難う』を發するでせう。この場合、あゝ嬉しい、有難いと感謝する人と、何とも思はずに聞き流してしまふ人と、どちらの方が幸福の人かといへば、いふまでもなく前者であります。ナゼなら、前者の方が歡びが多く、後者の方は嬉しいとか有難いとか思ふ場合が少ないからであります。

私は、私共が六百人の講習會員に盡した親切を、唯一人で惠まれたかの如く感じて、心から感謝せられた數人の方の幸福を羨まずにはゐられません。恐らくこの人々は、生涯歡喜と感謝とに充たされた樂しい生活を營まれるでせう。そして私は、人間の幸不幸といふものが外界にあるものでなく、感謝し得る心持になるとならないとにあるのだと考へます。

不平不滿のある處女達、此の世を面白くないと感じてゐられる方々は、その原因を外に求めずして御自分の心に求められるやう希望いたします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

歐米視察夜話

（その一）

本會理事　下村壽一

西洋婦人の裾の長短

此頃歐米では婦人の裾が大變短かくなつて來まして甚だしいのになると、脛から下が靴下のみで、まる出しといふ有樣で、之が單に一時的の流行ばかりでなくだん〱と廣く行はれて行く傾きがあります。殊に佛蘭西や米國邊で此の傾向を多く見受けました。

それで婦女の指導者の位置にある識者の間には此の事柄についていろ〱の議論さへ起つて來たのであります。その一二を擧げて見ますと、ローマ法皇の如きは、其ために殊更に敎書を發し、「婦人の裾の短いのはいけない、さやうな近代式の輕薄な樣子を婦人があるのは好ましくない事であるから、キャソリック教の信徒たる婦人は、なるべくそれを愼しんでもらひ度い」といふ意味の事を申しました。

又、アメリカでは、ニューヨークの商業會議所の會頭が商店工場等の女事務員に向つて短裾を禁止する意味の警告を出すなどいたしました。

又一方には奇拔な贊成論を唱へた人もありまして、その理由の一つとして、婦人の裾が短かくなると、市街の交通整理上に宜しい卽ち電車、地下鐵道のやうな乘物の、乘降が其爲に早くなるといふのと、今一つ面白い反對論は、一國の婦人の裾が一吋長くなると全國で生產する反物の長さがそれ丈け多く入る、從つて織

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

物業に從事する職工が餘計入るといふ事になり、不景氣のため失業して居る者の救濟になるといふのであります。又先日亡くなつたイギリスの新聞王ノースクリフは日本の事などを彼方に隨分惡く云ふ頭曲の方でしたが是は又世人の意表に出つると云ふ爲でもありましやうが短裾贊成運動を初めて居ました。

かくの如くいろ／＼の意見があります中に、アメリカの駐佛大使はこれについて、穩やかな説を唱へ「婦人の裾は丁度食卓演説のやうなもので、長からず短からず程よくするがよい」とうまいこと申して居りました私の話もあまり長くなつては御退窟にありましやうし餘り短かくても要領を得ませぬから繁簡宜しきを得た處で本號より視察談を試みませう。

婦人問題の大觀

獨り婦人問題ばかりでなく、社會各般の因襲、制度を如何にして改造して新時代の要求を適座させるかと云ふことはヨーロッパ、アメリカを問はず、世界各國を通しての煩悶の種であります、婦人問題に就いても細目にわたつてお話をすれば、際限もありませんから極々大要を摑つまんで述べて見ますると、第一に婦人參政權の問題でありますが、イギリスでは或制限の中にこれを認め、ドイツは無制限、アメリカも同じく無制限で之を認め、フランスやイタリーは少しも認めて居りません、

參政權を得る前にあれ程大騷をした英國ですらも、國會には私の倫敦に居りました頃にはタッタ一人の婦人が議會に列して居るのみでありました、アメリカでも合衆國議會には同じく一人、ドイツでは獨逸國議會にもプロイセンやザクセンの議會にも相當の數の婦人議員が出て居りましたイタリー、フランスでは之に關する多少の運動はあつたやうでしたが、格別目に立つ程の事はなかつたやうでありました要するに、婦人參政權の問題は數年前とは餘程異つた有樣で歐米に於ては一先づ落ついた形であると申しても差支がありますまい。ところが此處に見のがしてならぬ各國共通の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

婦人に關する大きな問題は、或る同種の仕事に從事する男女は双方同樣の報酬を得たいといふ均等報酬の主張であります。是れに就ては歐米到る處女教員、女事務員。女商店員等の職業婦人の多くの團體は之を其の主義とし集合の度毎に之を主張し、言論其他の機關に訴へてこれを貫徹しやうとつとめてゐます。之に對する一般社會の態度はどうかと申しますと婦人には身體上の關係、家族扶養の關係其他特殊の事情があるから男子と同樣の報酬を與へる事は出來ないであらうといふ論が多かつた樣で現に英吉利では教員の俸給を定める爲に設けられた議會の特別委員會でも此の趣旨の決定を致しましたけれども公平な立場から此問題を批判する人は、之は畢竟能率の問題であつて、婦人と雖も或仕事に從事して、男子と同樣の成績を擧ぐるならば、男子と同等の報酬を拂つてもよいではないかといふ意見でありましてアメリカの或市などでは此の說を實行して居りました私は是が正しい立派な意見であると思ひます。

次にヨーロッパに於ける婦人過剩問題といふのは、よほど重大な問題であると思ひます。例へばイギリスに於ては、二百萬人位婦人の數が男子の數よりも多く婚期に達した婦人が結婚する事も出來ないといふ結婚難の有樣です。これは婦人個人としても、由々しき問題で、又國家社會にとつても非常に重大な關係を持つて居ますから、イギリスの上下この事柄に就いて頗る憂慮を致してゐました、丁度私がロンドン滯在中、婦人の少い加奈陀とか濠洲とかのイギリスの殖民地に送り出し、政府はこれに向つて、相當な補助をなすべきであるといふ議案が現れましたが、これは如何にも婦人の人格を蔑視して、恰も經濟上の貨物の如く取り扱ふ怪しからぬ事であると云ふ反對の論が起つて成立しなかつたやうに記憶してゐます。ドイツではやはり二百萬以上女が男よりも多いのですが、ドイツは一切の殖民地を失ひ、國が疲弊して居る場合ですから、一層この事が重大に取扱はれ風紀問題、道德問題、いろいろな色彩を帶びた重要な社會問題となり、如何にして

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

これを解決じやうかといふ事に苦心して居ます。現に獨乙に於ける最大の婦人問題は婦人が如何にして結婚すへきかであると同國の識者は話して居りました。又フランス、イタリーに於ても、ドイツに於ける程甚だしくありませんが、やはりこの問題については同様に頭を悩まして、居ります畢竟此の婦人過剰問題は歐洲大戰と云ふ大きな出來事に依つて醸成され又は其勢を助長された誠に厄介な社會現象と申すべきでありましやう。

産兒制限

日本では最近サンガー夫人が來られたりして、多少其意見に共鳴する人もあるやうですが、ヨーロッパでもいくらかこれに類する様なとがありました。例へばドイツあたりでは今日の獨逸の國情では到底多産を許さぬされば産兒制限と同樣な或る手段を刑法上の罪にせぬ樣とすると云ふ意見が議會の問題になりましたがこれは主として婦人議員の反對論によつて、丸でつぶされました。イギリスあたりでも産兒制限はまことに評判の悪い意見で、識者と言はるべき人は皆反對でありました、サンガー夫人の生地たるアメリカに於てすらも、其運動は常に警察官權の嚴重な取締りをうけ、其意見を書いた文書は、或は發賣を禁止されるといふやうな有樣であります。サンガー夫人の意見は一應は成り立つ意見のやうでありますが、よく考へて見ると、人道上の見地からも、宗教上の見地からも、社會上の見地からも、到底成立しかねる事のやうに思ひます。詳しい議論は暫く措きこの事を假に我國に適應するとしたら、私はこれは國家的自殺論だと思ひます。我國は國土狹く、人口増殖率が大き

萩のつゆ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いと言ひますけれど、之を他に收容する餘地がないかとふに、必ずしもさうでありません。日本より文化の程度の低い處で、我國人の行つて開拓するのを待つて居る處が決して乏しくありません。これは何も侵掠主義を皷吹するのでなく、文化の高い國民が、文化の低い國民の處に行つて、之を啓發するといふことは決して惡い事ではありませんかくて世界の文化が普通になり人類協同の福祉が増進せらるゝ譯であります。更に我國の經濟事情を考へて見ますと、富をつくる基は、自然（之は主に土地）と資本と人とで、この三拍子揃ふ事が必要でありますのに、我國の此の三つのものを他の先進諸國に比べて見ますと迚も〳〵其の脚下にも及びません本當にお恥しい位です即ち自然に於ても、資本に於ても、統計を見れば一見して如何に我國が列國に劣つて居るかがわかります。只我國に強味があるとすれば、人口が比較的多いといふ一事のみで、この經濟上の長所を矯めて、人數を減らすといふ結果を見るのは、即ち經濟上の亡國論即國家の自殺論であります。況んや我國の人の體質は、到底歐米人の體質に及ばないので、例へば軍艦や汽船の乘組員の如き、彼の二人の分を日本人は三人かゝつてやるといふ有樣でありますから、日本の人口が多いといつても、その頭數だけで多いと言へるかどうか頗る疑問であります。

強いて若しこれを實行するとすれば、これは例へば軍縮のやうに世界の各國が共同してやれば或は出來ぬ事はないかも知れぬが、軍縮など〻異ひ、國と國との申合せで、人間の結婚生活から當然生じて來る結果を左右する事は、絶對に不可能の事であります。成る程狹い國土に多くの人間が棲息しては、お互に苦しい計りで碌々子供の敎育も出來ぬとか各人滿足に衣食を營むことが出來ぬとか多産をすれば母體を痛めるとか其の他各般の說明も有る樣ですが畢竟一寸俗耳に入り易い計りで眞に個人の幸福祉を希い國家社會乃至人類全體の幸福祉を増進する高所大局より考へますればサンガー夫人の意見の如きは到底首肯の出來ぬ僻說であると思ひます。これに就てイタリヤのナポリの大學敎授で、さきに同國の總理大臣になつたニツチ氏がアメリカの雜誌記者か「どうして歐洲大戰の爲に手痛く疲弊したイタリーの國を恢復をするか」との問に對し、「イタリーは人間を多數つくつて、方々の國に出す事によつて、國家の財政を富まし、國力の恢復を期する」と答へたのは、すこぶる味ふべき言葉と思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

大正の少女は黒味ある赤色たれ

本會評議員　岸邊福雄

○

私は、本誌の讀者の方々に、只たの一度も御挨拶をいたした事がありませんけれども、可なり重い役員の一人を承つて居ますものでありますから、讀者の方々の幸福と、本誌の發展については、心ばかりは盡くして居るのであります。それは云ひわけばかりではありません。

殊に先頃亡くなられました、田所楠猪先生を思ひ出しますと、此の雑誌を有益にしてしかも趣味の多いものに作るには、如何にせばいいかと云ふ相談會を開かれました時に、私も其の評議に與つたのでありましたが、私の意見は慥にかうでありましたと覺えてゐます女子は都會と地方とを問はず、女子は矢張り女子である。女子は赤色である、此の雑誌も、矢張りその女子の心理を吸み取つて、赤色を帯びるやうにと、おすゝめいたしたのでありました處が、田所先生も天野藤男先生も、其説を非常に賛成されて、其次からは、雑誌の内容にも體裁にも、赤色氣分を用ひられた事でありました。

○

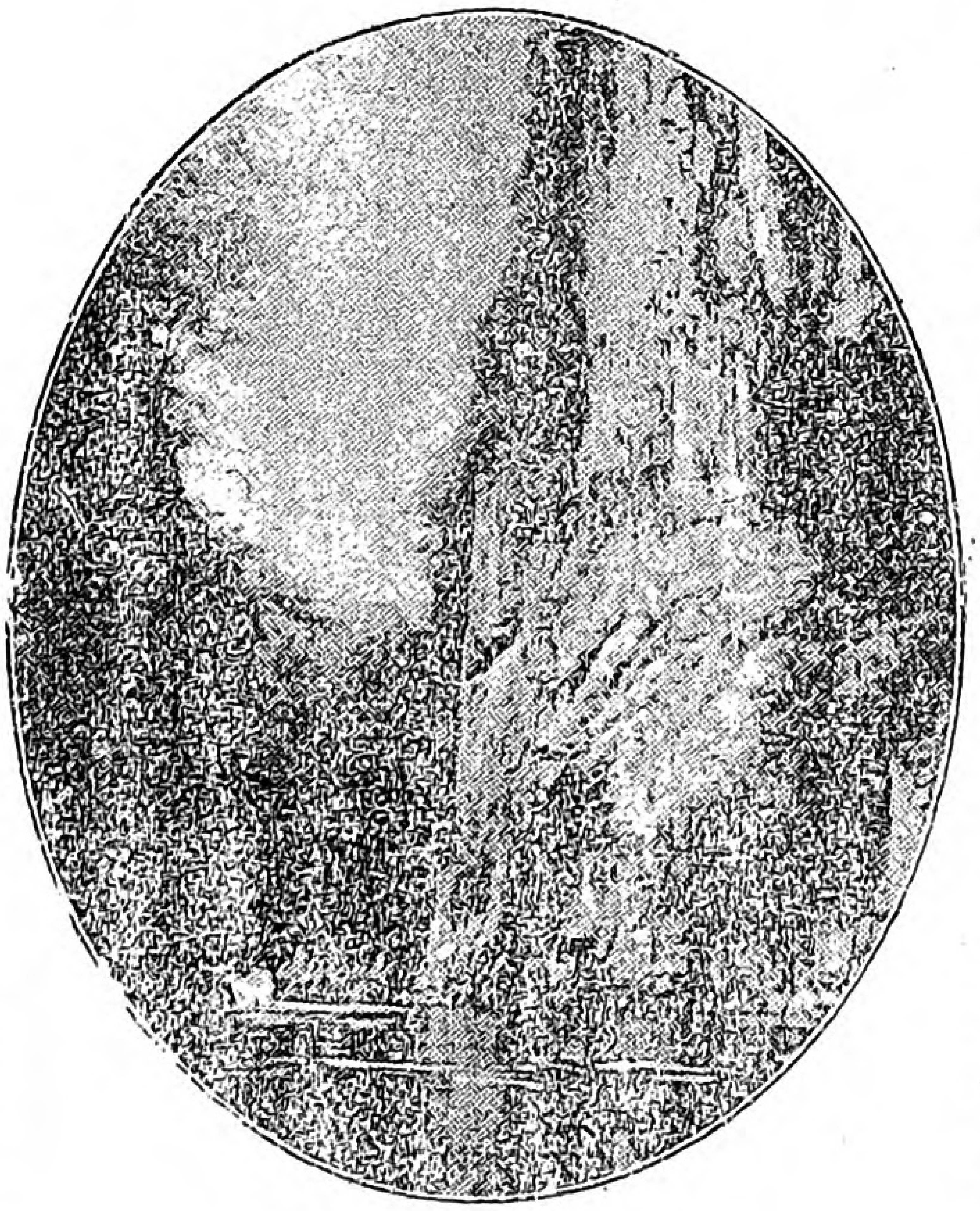
それから後、或る工場に田所先生と一所に講演に往つた事がありましたが、其のお禮だと云ふて、福島だか山形だかの柿を持つて來て下さつた事がありました私は、其の報酬位嬉しかつた事はありません。今でも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

柿を食べますと、田所先生がポタ〳〵した眞赤にうれた柿を、籠に入れて持つて來て下さつた事を思ひ出します。先生は其時只だお禮の代はりばかりではない。君が女子の心理を赤色だと敎へてくれた事を感謝する爲に、此赤い柿を贈るのだと云ふて笑つて話されたのでありました。夫れから後私も旅行などを續けて居た時に、ツイ先生にお目にかゝりませんでしたが、其旅行から歸へりますと、亡くなられました事を聞いて、心から淋しく感じたのであります。

○

女子を赤色に例へましたのは、男女の區別を置かない乳呑みの可愛らしい時代を、赤坊と云ひます。赤いおべべと云へば、可愛らしい女の子を思ひ浮べ、緋縮緬、あかね襷、いづれも女子の標語で、赤いてがらと云へば若いお嫁さんの事で、紫の羽織と云へばすぐ女子を連想しますが、紫は赤と靑と黑との混合色であり、えび茶袴と云ひますと、そりや女學生に限りますが、是亦、赤と黑との配合であります。



陸中猊鼻溪

斯樣に並べて見ますと、女子の心理を赤色と較べます事は無理でないと思ふのであります。

○

隨つて女子が、衣物を欲しがりますのは其赤色氣分の働きで無理のない事で、それを只だ買ふな拵えるなと云ふても、そりや滿足の出來ない高壓的の敎示だと思ひます。衣物の欲しい事は、それのみならず決して女子ばかりではありません、男子でも同樣であります。只だ男子は、衣物の外に欲しいものがあれこれと澤山あります爲に、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

欲しがつて衣物ばかり買ふ譯にまゐりません。それですから女子は衣物を欲しがり、其拵えた衣物を被飾つて自慢さうにして居ると云ふ定評は、女子に限つて居る樣でありますけれども、其實、買ひたがり拵えたがり、其新調の品々を人に誇り顏に見せたがるのは、或は女子よりも男子の方が盛んであるかも知れません。何人にしても、衣裝なり家具になり新調する事の嫌ひな譯がありませんから、お金を持ちましたら、新調したがるのは男女を問はず人間の趣味性で、本能であります。それ故に之を嫌ひがる樣にせよと云ふても、そりや無理の事で到底行はれる事ではありません。只だいい位の所で、本能の趣味性を制御してくれよと云ふのであります。

○

さうしますと、何故に本能の趣味性を制限せよと云ふかと云ふ問題が出て來る譯であります。これが面白いのであります。そして、それには議論がある所であります。

が、あまりに理窟を云ふ事は止めて、趣味と云ふ事は、衣物や指輪や櫛や簪ばかりではありません、あなた方が年が進むに隨つて、其趣味の變はり行くと同時に、自然に復雜になつて行くのでありますが、いや、それも、遠い所の話は、今日の場合緣遠い問題として遠慮して置きませうが、女子にしろ男子にしろ、趣味の廣い程仕合せが多いのでありまして、尙其廣い趣味が、いづれも高尙である丈け、其人は上品な人格者でありますから、御同樣に學ばなければならぬ事は趣味の涵養と云ふ事であります。

少女時代で、一般に注意を要します事は、其趣味が低いと、或は食物を浪費し、或は衣物に奢り、やがては、上品な人格を養ふ事を忘れる場合があります。

○

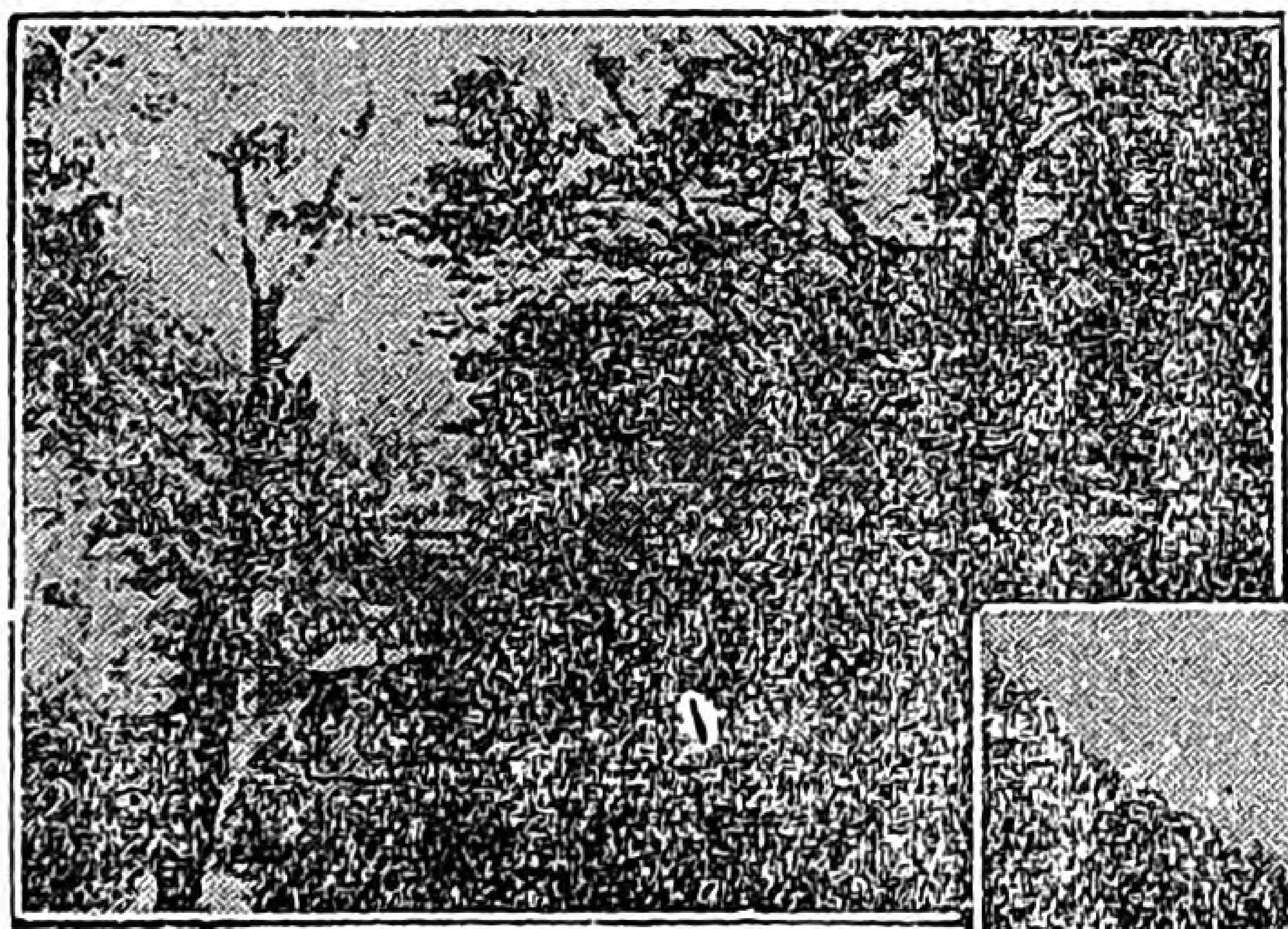
日頃、東京で儉約デーの宣傳が努められて居ますが華美に流れるな、質素にせよと云ふ事は、先づ衣食に贅澤をするなと云ふ敎へであります、實際から云ひますと、私は、好い衣物が着たいのであります、おいし

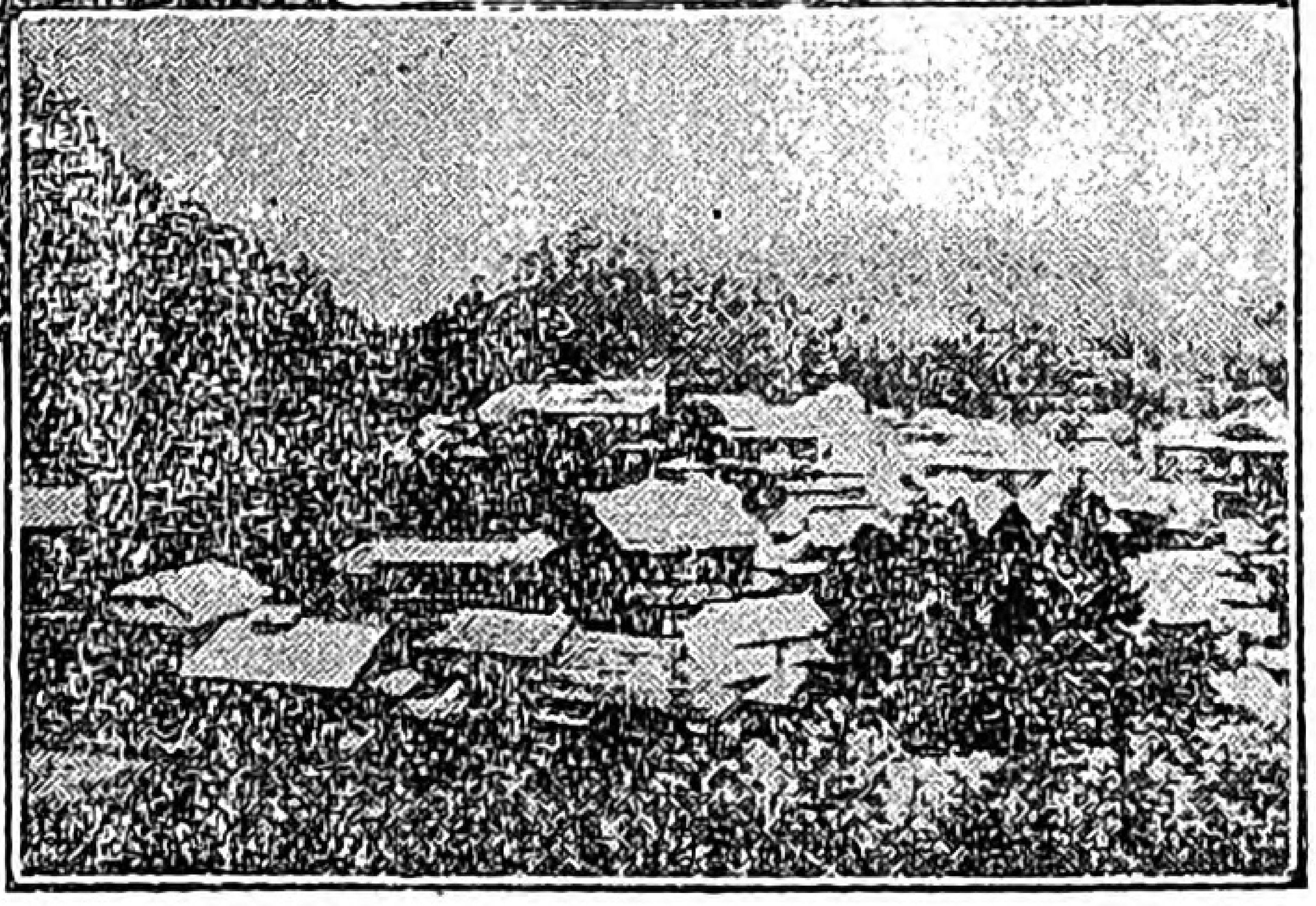
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いご馳走が食べたいのであります又面白い芝居や音樂に遊びたいのでありますから、あなた方に着だふれにならないやうにとか、食ひだふれにならない樣にとお話しをする資格を持たないやうであります、けれども、只だ私は、其の望みを達するには、平素無駄な生活をしないやうにしなければ、希望通りの趣味に富んだ日を迎へる事が出來ないと信じて居る事丈けが御相談を申す唯一の資格かと存じますが如何でせうか。

米國のカーネーギー翁、あの幾十億圓の大富豪が、少年時代に百圓の貯金をして居る青年ならば、證文なしに千圓の資本金を貸してもよいと云ふて居ます、少年と少

山口縣大津郡俵山村は温泉場としてまことによいところです。





上は附近の景色で下は温泉町の景です。

女道理は少しも違ひありません。男子の成功も半分は女子の內助によると云の話は噓詐りでありませんが、少女時代に貯金をして居る人は、必ず男子を助けて成功させて呉れる有り難い婦人であります

貯金をおすゝめする事は、お耳がタコのやうになつてゐますでせうが、さりとて、私も其儀をおすゝめいたしたいのであります。

今日の日本の婦人の衣物なり髮飾なり、尚お金の使ひ方の派手なのは世界一でありませう。フランスのパリーと云へば、流行の本場を派手づくめと、合點なさいませう。私も左樣に信じてまゐりました處が何がさて、質素であります衣物は黑い色が多くあります、食

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

物ば簡單であります。私の女の子供達が、お土産に傘を一本宛買つて來て呉れよと頼みましたから、長い間の留守番のご褒美に、傘一本位はよからうと思つて、パリーで買ひ廻はりましたが、實は日本の少女用の傘の方が、はるかにハイカラに出來て居る事を知つて、只だの一本も買つて來なかつたと云ふ笑ひ話もあります、近頃流行してゐます。日本の女子用の淡色に散らし模樣のあります絹薄羽織の如きは、全く世界的に見ますと、狂人じみて居ます。それは只だ派手と云ふばかりでなく、衣物との調和を缺いてゐます點に於ても、狂ひじみてゐます。是れらも矢張り趣味の低級な爲めであります。呉服屋のおもちやにおなりなさらないやうにご注意申すのであります。

派手とは赤色式であります。此の雜誌に赤色氣分を加味する事をおすゝめしました私が、今日こゝに地味なお話をします事は、昨と今と相違して居るやうでありますけれども、いいエ左樣ではありません。女子は女子として赤色なれ、併し其赤色に黑味を加へてほしい。さうしますと、同じ赤色でも落付いた、重味のある、深味のある强味のある高尚無類な色合になりますこれを人として見ますならば、愛着の念の深い懷かしい女子で、しかもいづれかに堅い强い、犯す事の出來ない立派な性格を有つ方であるのであります。

處女會の數へ歌

岐阜縣　砂場錦野

一ツとや　廣き社會に只一つ　我等指導の處女會ぞ
二ツとや　古き惡風皆捨てゝ自覺のもとに進むべし
三ツとや　身分高低論ぜずに盡せよ／＼本會に
四ツとや　世の進運を扶持するは是こそ君等の胸の裡
五ツとや　いつも目出度此の會は　意義ある處女の集なり
六ツとや　無我に走るな　若人よ供に修養勵むべし
七ツとや　名を擧げ國を富すのも愛と汗との結晶ぞ
八ツとや　やがて主婦たる處女諸姉よ磨け醒た家庭訓
九ツとや　個人々々が意志固く盡せ本會隆盛に
十ヲとや　飛立つ樣な元氣にて努めよ自己の向上に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女に誘はれて北陸へ岩代へ

本會理事　増子懷求

颱風の餘波をうけながら

颱風襲來の警報に人心を恟々せしめたのも、中國より日本海に外れて、關東地方は其災厄を免れるだらうといふ夕刊の新聞を眺めながらにも、猶一面暗澹たる空を望み見ては、何とはなしに前途の危まれつゝ、八月二十三日夜東京驛を發した。乘客も少く窓外の風至て涼しければ快き眠りに入りしと思ふ間に、列車の屢〻止まりがちなるに、ふと眼をさませば、箱根はいつしか越えしと思しく、風雨頻りに至りて窓をうち車を洗ふに、汽車は警戒を深くして進み行くことが分つた。豐橋に到る頃ほひ夜も全く明け離れ、雨もやみてうすどんよりした空を仰ぐ樣になつた。一時間ほど延着したので米原驛豫定の乘り替へに遅れて、敦賀に港灣の形勢を察し、氣比、金崎兩宮に詣づべき望を擲つの止むなきに至つた。

禪林の大本山を訪ねて

汽車より觀たる敦賀は、灣内深く大にして、對露交通の良港たるを認むるが、其多くは隧道のために遮られて、眺望をほしいまゝにすることができなかつた。福井に車をすてて三丁、越前電氣鐵道に入れば、半時にして永平寺驛に至る。驛より南へ一里半稻田萬頃の間、道狹きに自動車を走らせるうち山漸く迫り來り半刻にして、永平寺の門前に達す。これなん曹洞宗の大本山として、道元禪師の開き給ひしところ。老杉巨

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

松うち見るからの古刹であり、踏む一歩にも苔の香ゆかしく覺える。夕五時總受付を叩けば直に案内せられ石階を上ること幾折、傘松閣十二疊の客殿に請ぜられる。入浴後慇懃なる晩餐の接待に、嘗て紀伊の高野山を音づれし當時の事ども何とはなしに思ひ出さる。靜寂なる夜の氣に折りしも降りしきる白雨一層の淋しさを誘へば、禪林の枯淡なる生活いとゞ味はれつゝ、快き眠に入つた。翌曉三時といふに、僧堂に誘はれて坐禪の修行を觀る。僧侶數十名監院の法話を聽きつゝ三昧に入る。私も亦暫し同座させていたゞいた。四時過ぐる頃更に佛殿に於ける看經に參した。普門品の讀誦に思はず合掌し、塵外の勤修をほしいまゝにするとができた。六時案内につれて七堂伽藍の儼然たるを隈なく仰いで後、精進の朝食をいたゞき、七時見返りがちに諸堂を拜しつゝ、山門を辭した。

兩宮一名園

自動車を馳せ、電車に移りて福井市に着きしは二十五日午前十時までであつた。城壘外濠の殘存せるを眺めながら徒歩十數丁、藤島神社に詣る。磴道を登ること幾百級、時恰も例祭に會し奉幣使參向の折なれば、神威いやちこに拜せられた。義貞公戰死の址は遠ければ弔はん暇なく、殿後の高丘に上りて繼體天皇の石像を仰ぐ。天皇未だ皇子にましましゝ時、泥海を埋めて沃土となし、越前國を拓き石山を發見し給ひしより、石工等今に至るまで遺德を頌して、此像を刻みしといふ全市双眸の内にあつまり遙に三國港を望みて眞に景勝の地である。時刻迫れば道を急ぎて驛に至り、車上の人となる。午後一時まへ金澤に下り、先づ尾山神社に參る。百萬石の領土を創めし前田利家公を奉齋して、其餘惠を德とするもの日夕こゝに額く。祠前の樓門は明治六年蘭人の設計による洋式の結構人の目を引いてゐる。町を巡りて兼六公園に遊ぶ、文政元年前田齋廣の經營に成り幽邃、蒼古、水泉、眺望、人力、宏大の六勝を兼有するのでかくは命名し、樹木欝蒼、小丘、池沼、瀑布、泉石、何れも人工の妙を極めぬものとてはないが、聞きしに勝るほどの感は得られず、寧ろ金

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

城靈澤の滾々として湧き出づる樣に古を忍んだ。幾度か園をめぐりて具さに雅趣を掬し、五時といふに電車にのり、汽車に入り、六時半高岡市に著して、梅松閣の客となつた。

高岡、富山兩市の處女のために。

二十六日夙起、高岡市役所を訪ふ、轉して富山縣廳に赴きて、打合せを了したる後、高岡公園に遊びて射水神社を拜す。櫻馬場を過ぎて花季の盛觀を察し、城址に風景を賞した。午後七時佐伯市社會課長に迎へられて高岡市坂下小學校に到る。開會時刻の厲行は先づ快く覺え、同課長紹介の辭に續いて壇上に立ち、眞美なる犧牲的精神に發露する婦女子の自覺を說いた。聽衆三百、主婦あり處女あり折ふしの蒸暑さに堪へて九時に至るまで耳を傾けられたのは何よりも嬉しく感じた。

二十七日午後一時富山市總回輪小學校に赴く。石井市社會主事に迎へられ、私の望を容れて、先づ廣貫堂を訪ふた。此所は市に於ける製藥會社の元祖とて設備整然、明治四十二年十月東宮殿下行啓、就業狀況を台覽あらせられし名譽を擔ふて今なほ御座所を拜することができる。丸粒製劑の妙手に驚嘆し、表裝の迅速なるに眼をそばだゝしめ、且つは包紙の印刷まで自營する周到さに感じつゝ一巡を終へた。午後四時、小學校講堂に於て講話を試み、國民的覺醒の根源を尋ねて婦女子の改造に說き及ぼした。廣らかに淸らかなる講堂は殘暑を凌ぎて心すが〳〵しく、つゝましやかに席につかれた百名近き婦人がたの淸聽を煩はしたことを頗る幸に思ふた。二時間に垂んとして、校を辭し、石井主事の心をこめたる歡待に晩餐をいたゞき、七時汽車に上り親不知子不知の險も夜暗に探らんやうもなく十時前新潟縣糸魚川驛に著し、木原郡長の出迎を辱つた。

三日五箇所の舌苦行

木原郡長は私の舊學友である。朋あり遠方より來るを悅びて神職會のために、敎育會のために、在鄕軍人のために、將又青年處女のために、あらゆる機會と便

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

宜とを與へて下さつた。第一日は下早川村に、第二日は磯部村に、大和川村に、第三日は名立村に名立町に於て、晝に夕に私の所信を盡して郷人諸氏に問ふことを得しめられたのを德とする。聽衆多きは五百に達し少きも百名を下らず、或は神社の拜殿に、或は欝蒼たる神苑の樹蔭に、又は學校に、寺院に、到るところを開放し、心からなる厚遇を寄せられ私をして倦まざる努力を續けしめるやうに計らうて下さつた。三日五箇所にわたる講演中、暑さに汗をしぼつたことは幾度かあつたが心安らかに舌苦行に堪へたのは、全く郡長の配慮によるのである。

安息の二日

木原郡長が郡市長會議に列するため新潟市に赴くのと同道して、天長節の朝九時半汽車に上り、正午過ぎ同君に別れて、ひとり柏崎驛に下車した。日蓮上人の遺蹟を弔はんためである。處女會員の長谷川さんが嫣然として驛頭に迎へられた。私の旅行を傳へ聞き、特に貴い時間を割いて、私のために東道の役をつとめようとの御好意である。車を聯ねて先づ妙行寺に賽す。日蓮上人が當地より程近き下宿の浦に著き給ひ、岩石に休憩せられた時の聖容を刻める尊像を拜したいと思ふたが、住職不在にて其意を得なかつた。轉じて二十餘丁、番神ゲ鼻に到る。日蓮聖人が文永三年赦されて、初春の海を光明に輝きながら、佐渡より渡り著き給ひし故址に三十番神を勸請せしもの、今岬角の上に巍然たる堂宇を仰ぐべく、裏參道から石階を拾ふて登り、佛前に稽首し、顧みて遙に佐渡を望むに雲烟深く鎖して髣髴するさへ難くあつたが、寺泊に歸航さるべき豫定が、風波のため思はずも此地に漂著された古跡であることを思へば、上人が佐渡の氷雪に鎖さるゝこと三年感慨無量再び幕府諫曉を試みる機を得べく本土を踏まれた時の喜びは、脚下に見ゆる兒童等が海水浴に嬉々たる其よりも幾千萬倍であつたであらう。

海陸の眺めをほしいまゝにして後、復た車を馳せて柏崎の海岸なる天屋旅館に入つた。吹き來る涼風に汗も消えて、徐に長谷川さんと語つた。長谷川さんは薄命

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

の人、病める兩親を奉じ、弱き姉妹を養ふて、かよわき腕一本に苦節幾年、懊惱煩悶を重ねて自らも亦今はいたづきの身を僅に支へてゐる。しかもこれを人生の試練と考へ、生活に脅されつゝ、倒るゝまでも働いて、此宿命を解決せんとする理智に滿ちたかたである談は人間苦、人生の醜き半面などに及んだ。味深き話にいつしか日は暮れ、漁火の點々たるを眺めながら波靜かなる濱邊に下り立つて、折しも照り曇りする月の光を浴びながら、更に話し續けた。解け難き問題を胸に殘しながらにも、餘りに時の移ればとて惜しき別を告げた。天は自ら助くるものを助くとか、信念深き君の前途にいかで幸の降らぬことがあらうぞ、冀はくば健かにゐませとのみ祈るのである。

九月一日早朝、佐渡に渡らんと志して新潟に向ふ、十時室長旅館に入れば電光一閃、大雨沛然として降り、雷鳴天地に轟けば、孤島に身まかり給ひし順徳天皇の御跡を弔ひ、日蓮上人配流の昔を忍ばんとした期待もあだとなつて、空しく二百十日の過ごし難きを歎きながら、せめては昨日別れし木原郡長との再會を喜びつゝ、半日餘を盜つた。

處女會旗を仰がんとて

木原郡長との歡談に夜を更し、曉目覺むれば空は曇勝ちに霽れた。別を友に告げて復た旅途に上り、福島縣喜多方町に志した。町の處女會は堅實なる進歩を辿りつゝ向上の氣に充ち滿ちてゐるので、其會旗も燦然たる光に包まれてゐるといふのを聞いて、私は是非一度親しく其を觀たいと思ふたためなのである。正午過同地の舊友今井中學校長の家に入る。處女會長として且つは實踐女學校長たる田口亮男氏が訪問せられ、會の近況を物語られる中にも、會員一同が良家の家庭見學を試みられるのを會心の擧と感じた三日朝、今井中學校長に誘はれて新聞社の催にかゝる會津雄辯大會に臨んだ。町の女子小學校の講堂に詰めかけた聽衆三百を越え、九時より午後五時まで壇に上る青少年三十名にも及んで倦む所を知らず、中にも伊賀えつ子さんの夫婦藝術論は一同驚異の眼をみはつてこれを迎へたが、紅一點の氣焔は殘りなく吐き盡され、十二三の少年が唯獨り大人の中に交つて、臆する所なく一場の御話をすませたのと共に少からず私の心を留めた。夜は今井校長の祕藏なる名笛の吹奏を唯一人心ゆくだけ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

聽いた。君と交ること既に二十年に近いが、梁の塵も落ちんばかりの妙技は始めて知る處ひたすら嘆稱するより外なかつた。四日朝、今井校長に案内せられて中學校に赴き、新興の設備を觀、特に東宮殿下御渡歐記念に成れる鳴鐘の見事なるに感じた。午前十時田口校長に導かれて、女子小學校講堂に到り、先づ會旗を拜見する。八月號の本誌口繪に載せられた通りであるが、さて親しくこれに接すると、鹽瀬紫紺の無双地に平和の象徴たる鳩を白く描き松の枝葉を以てこれを抱き合せてある。處女の操をあらはした好ましいほどに美はしい旗とて、數ある處女會旗の中でも白眉として推すべきものと感じた。十時半請はるゝまゝに演壇に立てば、田口校長の薫陶は明に現はれて、二百餘名の女學校生徒肅然として席に列り「とらはれない自覺」といふ題下に私の所説を傾聽して下さつた。訓練ある處女の態度に思はずも時を過ごし正午近くなつたので、暇を乞へば、手厚き晝餐を女學校にて饗せられた、そこ〳〵にいたゞき、深く兩校長に謝し、車を急がせて停車場に向つた。

午後二時半、汽車を豬苗代にすてゝ湖畔に到り、綠なせる漣に風光を賞した。仰ぎ觀る磐梯山は、私の幼年時代世の心膽を寒からしめた隨一のものとして、そゞろ當時の樣を想像して見たが、聳え立てる雄姿にはもはや一條の噴烟すら認められぬのである。

天機奉伺

夜行の汽車は宇都宮に明けて五日日光に赴く。東照宮は屢々拜したり、輪王寺は幾度か詣でた。志ざす所は別にあり。一路田母澤の御用邸に參趨し、本會を代表して兩陛下の天機を奉伺し、終つて大森皇后宮大夫に面して厚き思召を承り、光榮身に餘りて退出し、わき目もふらず直に歸京の途に就いた。

半ヶ月の遍歷到る所の山河悦んで私を迎へてくれ、厄日の免れ難かりし外は連日の好晴、旅途滯りなく進んだ上に、翕然たる同情は吾會の事業に集まつて、行く先き〳〵何れも好感を以て懇待せられたことは、私に取つて實に豫期以上の幸福で、深く地方官民諸氏の厚意を多謝する次第である。將來、吾會の事業に本誌の發展に著しい効果があがるならば其は皆此等熱誠なるかた〳〵の賜として永くこれを記念したいと思ふ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

國際勞働會議

編輯子

國際勞働會議といふのは、歐洲大戰後のベルサイユ平和會議に基きたる、國際聯盟各國の正式勞働會議である。國際勞働會議の先驅であり、且起原であつたのは、十九世紀の後半英國勞働組合を中心として生じたる國際勞働者協會即勞働者インターナショナル運動で、爾後所謂第一、第二、第三インターナショナル運動を起して、今世紀にはいつたのである。

今世紀に於ては、一方には英、佛、獨、伊を中心とし他の國を加入せる、民主主義、組合主義を以てし且社會主義を、立憲的、合法的、進化的にする目的を以てする第二インターナショナル運動を繼續し、一方には露國即今の勞働共和國のソビエットを中心としたる、新インターナショナル運動を含み、革命派無政府主義共產主義の結合を欲する運動を主とする第三インターナショナル運動繼續の二派に分れてゐる。

又此の會議の前身と見るべきものに二つある。一は一九〇〇年巴里の國際勞働保護立法大會の結果として生じ歐洲大戰前三回に涉つて行はれたる瑞西ベルンの國際會議である。他の一は、瑞西聯邦政府に依つて計畫され、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

未だ實行に到らずして、獨乙政府に於て社會民主黨がビスマークをして招集せしめた一八九〇年の伯林國際會議である。

此の國際會議云ひ換へれば國際勞働總會は、各國の政府、資本家と勞働者との代表者から成り、勞働、資本、兩代表の選任には、その國に於ける代表的勞資團體の同意を要する事になつてをる。而して會議の目的は國際勞働條約の根本精神、即勞働商品の思想を打破し、賃銀の奴隷狀態から勞働者を解放する事である。

最近歐洲大戰後の平和條約に基いて、第一回を米國ワシントンに、第二回を伊太利ジエノアに、第三回を瑞西ジネバに開會したる國際勞働會議は其第四回を、本年十月同じく瑞西ジネバに開催せられるのである。然しながら複雜せる歷史を持つ勞主會議を尊重せず、輕々しく取扱ふ樣な事があれば、此の運動は忽ち社會主義運動に墮する虞がある。況や未だ四五萬の組合員しか有してゐない、我國勞働組合は、たとひ各國共た財界不況の原因、或はそれに籍口して在來の國際勞働會議にて決議せられた、十六の條約案と十八の勸告案とを實現もなかつたにせよ、又政府に無責任あるにもせよ徒に我國政府の態度に絶望し剩へ「國際會議を否認せよ」といふ如き決議をなし、第四回の代表者選定に組合所屬の勞働者を始め其他投票を棄權した者が少くないといふ事は、將來發展すべき我國勞働組合の進步を阻止するもので、且勞働者の利害を顧ざるものである。

今後勞働組合を發展させ勞働會議の決議を實現せしむるには、政府の誠意を求むるは勿論、野に在つては、從來の我國資本家對勞働者の犬猿の態度では共に進步は出來ぬのであるから、互に讓步して偉大なる勞働團體を作り、勞資協調して政府と策應せねばならぬのである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

政府物價引下げの施設

一、在外正貨を兌換準備より除外すること

日本銀行所有の在外正貨を正貨準備に充當するは多少兌換券の增發を容易ならしむるものといふを得べく從てこの際一時的の處置としてこれを除外するは多少其の膨脹を抑制する結果となるべきにより現在保有の在外正貨は全部これを正貨準備より除外すること

二、小額紙幣を回收すること

現在の小額紙幣は約一億九千萬圓位にして戰時の變態に屬するものにして而も其流通速度大にして不知不識の間に濫用を助長する傾向あるを以て其の回收を促進するの要あるを認め既に漸々これを實行しあり今明兩年度に亘り其の全部を回收する計畫なり

三、煙草定價を引下ぐること

煙草の生産費は戰前に比し著しく增加し從て現時の生産費對差益步合は戰前に比し著しく減退せりと雖も現下の情勢に鑑み消費の方面を考慮し口付紙卷煙草にありては「カメリヤ」以下兩切紙卷煙草にありては「リリー」以下刻煙草にありては「はぎ」以下の低級品につき値下を爲すこととし十月一日よりこれを實行する計畫なり

四、郵便据置貯金の利上を爲し其の他貯蓄奬勵の方法を講ずること

利子引上其の他の方法を以て貯蓄を奬勵するは現下の狀勢上必要を認むと雖も一般郵便貯金の利子は金融上並に財政上なほ考慮を要するものに依り据置貯金の利子に限り二厘四毛の增率を爲し同時に講演其他の方法により適切なる奬勵方法をとる所あらんとす

五、日用必需品に對する鐵道運賃を輕減すること

貨物の價格に對する鐵道運賃の影響は概して些少なりと雖も現下運賃の輕減は一般の囑望する所なるを以て從來一割乃至三割の低減を行ひ來れる米外十數品に對し其の割引率を增加し二割乃至四割とし且つ新に雜穀、乾物等十數品に對し一割乃至二割を低減せんとす

六、日常必需品に對し一層輸送上の便宜を圖ること

日常必需品の輸送に對し可及的輸送時間を短縮し且つ適當なる時刻に市場に達せしむる模列車の新設または改善を行ひつゝありと雖も産地または市場關係者の努力により其の必要を生ずるに至らば何時にても更に輸送上の便宜を圖らんとす

七、冷藏車の數を一層增加すること

冷藏輸送は食糧品特に生物輸送上必要にして近時其の利用益々增加の趨勢にあるを以て鐵道省の現在所有冷衛車五百四十三輛に對し本年百四十八輛を製作し明年は更に二百廿五輛を製作せんとす

八、主要都市に於ける小運送賃の低下を圖ること

都市に於ける小運送賃の割高なる現狀に鑑み差し當り全國五千七千の鐵道公認運送業者をして能ふ限り小運送賃其他附帶の諸料金の低減を行はしむるやう當局より勸告をなさんとす

九、主要都市に於ける電車に夜間貨物運送の設備を爲さしむること

主要都市に於ける小運送の運賃が頗る高價なるを以てこれが輕減の一方法として夜間閑散の時を利用して貨物運送の設備を爲さしめ野菜、鮮魚等の日用必需の運搬を便にせんとす已に東京市に對し速にこれを實見せしむるやう當局より協議する所ありたり

十、出荷組合の設置を奬勵すること

各地に於ける主要生物特に日常必需品の出廻を容易にし其の價格を低

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

廉ならしむる爲め一層地方農會、産業組合等をして出荷組合を設置せしむる樣それぞれ獎勵せんとす

十一、消費組合の性質を有する購買組合を獎勵普及せしむること

中間商人の介在を可成減少し併せて消費者としての團結を鞏固にする爲この際一層この種組合の改善普及を獎勵する所あらんとす

十二、出荷組合消費組合公設市場等の取扱貨物の輸送に便宜を與ふること

低廉なる運賃は物價に好影響を與ふること勿論なりと雖も一方貨車配給を正確ならしめ市場への供給を潤澤ならしむることは運賃政策に劣らざる緊要のことゝすよつて出荷組合、消費組合、公設市場等の取扱ふ貨物に對し貨車の優先配給を行ひ以て運賃政策と相まつてこれが目的を達せんとす

十三、物資配給機關の整備完全を圖ること

物資配給機關の整備完全を期する爲め主要都市に中央卸賣市場を設置し以て生産物の出荷を助成すると同時に公設市場の機能を益々發揮せしめ一般小賣者に對し便宜を與へ且公正なる卸賣相場及小賣相場の實現を容易ならしむるの必要あるを以て政府は豫算の翻議と相まつてこれが實現につとむる豫定なり

十四、公設市場の改善增設を爲すこと

公設市場については其の利用程度及設備經營につき尙ほ遺憾の點少からざるを以てこの際出來得る限り低利資金の供給を洪澤にし主要都市に其の增設を獎勵しまた既設のものに對しても改善の標準を示し以て市場經營團體の施措を促さんとす

十五、日常必需品の價格を調査してこれを公示すること

一般消費者が日常必需品の公正なる價格を知悉するは消費經濟上最も必要なるを以て先づ公設市場に於て其の取扱ふ日常必需品の價格を市內適當の場所に公示せしむる外事情の許す限り相當調査の方法を講じ以て一般にこれを周知せしめんことを期す

十六、公共團體住宅組合等に對し國有林の木材薪炭を一層便利且低價に供結すること十七消費節約を宣傳すること

從來公共團、體住宅組等の所要木材薪炭に對し國有生産物を低價に供給せるも將來尙一層能ふ限り便利に且つ廉價にこれを供給せんとす

十七、消費節約を宣傳すること

講習講話其の他の方法により全國に對しこの際極力消費節約勸儉貯蓄の宣傳を爲さんとす

十八、取引所並に場外の投機取引を嚴重に取締ること

取引所に於ける取引はやゝもすれば放漫に流れんとし場外に於ける投機取引また根絕に至らずかくの如きは民心に投機射倖の念を增長せしむる虞あるのみならず價格を不自然に攪亂するの弊ある爲本年取引所法改正せられたるを以てこれが實施と共に尙一層嚴重に取締を勵行する處あらんとす

十九、銀行業者に對し投機資金融通を愼むべき樣注意すること

銀行業者が投機的の行爲に對し放資するが如きことなき樣從來注意を與へ來りたりと雖も尙ほ遺憾の點少なからざるを認むるを以て今回更に各府縣に對し取締監督上右につき愼重なる注意を加へしむべく且つ必要なる生産事業に對してはこれが金融につとむべき旨を通牒し同時に特殊銀行に對しても同樣の主旨を注意せり

以　上

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

指導者講習會講習員諸氏に望む

「處女の友」は吾處女會中央部の機關雜誌として比年經營し來つたことは、既に周知の事ですが、今や平和質實の氣、天地に漲れる時、一層從來の方針を擴充し、理事者協力の下に一面處女の啓發に盡すと共に一面讀者の領地を豐にし、先づ以て指導者諸氏の寄稿を仰ぎて、愛讀者との親しみを深くしたいと思ひますから、何卒御同情に依り此事業を聲援せられ、少くとも、各地處女會に於ては團體として本誌を購讀せらるゝ樣、勸奬せられんことを偏に希望いたします。

處女會中央部と地方との連絡

一、講習講演の委囑に應ずること

一、處女會の創立に助力すること

一、處女會員の選奬に盡すこと

一、處女會指導者の寄稿を懇請すること

一、處女會の通信及寫眞の寄贈を歡迎すること

一、愛讀者の身の上相談に應ずること。

處女會中央部だより

本會理事甫守ふみ女史は八月十九日千葉縣女子師範學校に開かれたる千葉郡聯合處女會に、同月二十九日埼玉縣秩父郡國神小學校に催されたる同村處女會に何れも出張講演されました。

本會理事増子文學士は八月二十六日高岡市同二十七日富山市に於て、又同月二十八日より三日間新潟縣西頸城郡内に於て、更に九月四日福島縣喜多方町に於て講話せられ、何れも處女のために自覺を說がれました。

そして九月五日旅裝を改めて日光御用邸に拜趨し、本會を代表して兩陛下の天機を奉伺せられました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

故田所楠猪君建碑金募集に關して

家族制度の冊型模範の家庭として訪ふ人毎に稱嘆する睦ましき美はしき家の柱石たりし吾人の友田所楠猪君は本年五月二十七日を以て白玉樓上の人となりぬ、君資性恬澹、情に篤く、然諾を重んず、若し夫れ盃を擧げ興湧くに當りては高談雄論四隣を動すの概あり、常に教育社會の先達者を以て任じ敢て人に讓らず、然かも血あり涙あり温情の掬すべきものありて一たび親交を結ぶに於ては情緒纒綿人情の限りを盡すの人にして眞に當代得難きの士なりしなり矣、君は新潟縣、石川縣より愛知、京都等に歷任し福島縣郡山を最後として教育界を退かれたるも最近十年間は全く福島縣の教育界を背景として活動せられだるを以て恰も福島縣人たるの風おり之れ福島縣に知已朋友の最も多き所以なりとす、

本縣教育會の出版にかゝる女子補習讀本、公民教科書補習算術書、農業教科書等皆同君の盡力に成れるもの若し夫れ處女會中央部の設立に關しては渾身の力を盡し自邸を其の事務我に宛て機關雜誌處女の友を發刊し第第一回の全國指導員講習會を昨秋東京に開かれたるは皆人の知悉する所にして着々理想の實現を見んとするの時遽焉として逝去せられたるは全く國家の損失にして吾人の痛惋措く能はざる所なりとす、爰に於て吾人福島縣人にして君と交際ある同士相謀り福島縣人而巳にて氏の墓石を建て以て君の靈を慰めんとす希くは知已各位此の擧を賛せられ速に實現せしめられんことを　敬白

大正十一年八月日

發起人

半谷　眞雄　渡部　庄平　甲斐保之吉　田庄　太郎　田邊　當毅
永山芳之助　佐藤　一　門馬　貞藏　背田　初雄　曾我　直治
天野　助治　渡邊　文彌　苅宿　諭　武川　敎義　根本　貞治
大波　廣吉　標葉　長治　宗形　二郎　山内　昇

一、寄附〆切は九月三十日限りのこと
一、可成同君知已御探索の上御勸め下さること（郡山には澤山の知己ある筈）
一、可成寄附は壹圓以上に御願致度こと
一、寄附金は河沼郡役所山内昇宛御送金を願ふこと
一、碑石は東京染井に於て調製建立のこと、其の寸法文字等は發起人に一任せられたきこと
一、碑石建立に付餘金を生じたるときは遺族に贈呈のこと
一、碑石建立後、直ちに決算報告をなすこと

以上

（處女の女は君の靈魂の宿れるもの是非本縣内各處女會員に御勸め下あい之れ君の靈を慰むる唯一の方法であります）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

懸賞
募集

私の苦心談

眼の病にて

岐阜縣　鍛冶谷せい子

私は長い間眼病に苦心至しました、一昨年の一月末に少し目がかすみましたので、專醫に診察して戴きましたら、カクマクだとか申されまして、入院して居ること一月餘日、通ひましたのが三月餘り、よう〳〵全快至しましたので喜こんで居りました。

其の頃母は心臓病になやんで居ましたが、私の全快するやすぐに町の親戚へ出養生に行かれました故、それより後私はお勝手の手傳や子守り等をして居ましたがどうした事か又目が起りかへしたのでございます。それが藥をやめてからわづか五日目の事です、忘れもせぬ五月二十四日雨の降る日の事でした町から母の危篤と知らせがあつて、母樣は迎へに行つた澤山の人に擔はれて來られました。見れば何もお別りにならない御重體の樣子、一時の落膽に良くなり勝ちであつた目も惡くなるばかり、此上母もなくなつたり私の目も見えなくなつたりしたならば如何せようかと心もくるふばかりでございました、そして其月の二十六日にはお蠶が出ることになつて居ましたけれ共、母の重體に私の眼病再發と出ましたので、止得ず眞黒に出た種を人にたのんで流してもらふ樣な始末、其の中に聞き傳へた人々は、ぞろ〳〵見舞に來て下さいましたが、皆無心の母よりも落ちた御飯粒さへひろいかねる私を不便に思つて下さる樣でした、或人が或る所に大變目に良いと云ふ醫者のあるを敎へて下さいました、其の時家人も非常にすゝめましたけれども今日やも明日やも知れぬ重體の母を置いて、他へ行くことは私としてはど

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

うなつても出來なかつたのです、二三日にて母は少しづゝ快くなつて行く樣でしたし、家の人々も口を揃へてせき立てましたので、それではと心ならずも客馬車の人となつて見知らぬ方の不安さに、あちらに聞きこちらにきゝやう〳〵尋ねあて、診察を乞へば快く迎へてくれ、前患者も澤山居られました、そうして私の目を見てこれは大變だす、このまゝては失眼だと云ふのです、それで醫者の申さるゝまゝにまかせて、二三日養生をして戴いて居ますと、今まで餘程うすかつた目も次第に見える樣になり、又家の方からも何と云ふ知らせもありませんでしたから、不安ながらも氣丈夫に十日程養生をして戴きましたら、餘程良くなりましたので、一度家へかへり見れば母は大變に良くなつて居られました、四五日家にやすみ又前の醫者へ行きかくて九月頃までには七八回も行きました、其の中に目もすつかり良くなつて、母の看護にもさしつかへなく、一生懸命に保養至して居ましたが、九月下旬どつと床につかれしよりは、頭も上らず御慈愛深き遺言のかず〳〵のこされて、十月の十五日には母は枯れ行く木の葉と共に淋しい〳〵煙となつてしまわれたのでございます。其時は私氣も失せんなげき悲しみました、けれ共至しかたなくあゝこれも皆前世の約束とあきらめまして、それより後は淋しいながらもやさしい〳〵兄妹になぐさめられつゝ一生懸命に出來る丈仕事のお手傳をして居ましたが、目は段々良くなるばかり、これならばもう大丈夫であらふと、十二月はじめにお裁縫に、通ひました、すると又惡くなり出したので、今度は細江村の方へも行かず、自分養生もせず、一心にお不動樣を信心至しまして、雨が降つても雪が降つても日參至した者で御座居ます。其利益あつてか翌年四月頃には大變快くなり、同じ年には越中の大岩山へも參詣して來ました。其の後は又農事に勤めて居ましたが、どうしても私には病まなければならない因緣があつたと見えまして、春蠶が出ると云ふのに又復惡くなり出したのです、少し仕事をすれば早や惡くなるんですものどうしても家に居てはだめであらうと氣の長い

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

兄さんや姉さんは云ふて下さいましたので、町の伯母の所へ行き、專醫にかゝつて居るかたはらお不動樣を信仰至してひたすら、全快を祈りつゝ悲しい〳〵自分の身をなげいては、伯母に幾度しかられた事かわかりません。かうした日々を過して居る中に、いつしか世の無情を感じ、暇さへあればお寺へ參り佛の御敎を信じさして戴く樣になりましてよりは、さしもの眼病も苦にならず、かうして病んで居ても長くて五十年だあゝ早くお參りが至したい、早く戀しい母樣のそばへ行きたいと、死の國までも慕ふ樣になり、寺參りばつかりして居る中になやみを忘れたからでせうか、眼病はめき〳〵快くなつて、八月下旬には全快の色も見えましたので、子守でもと思ひ家にかへりました、其のちは來る日も〳〵大方遊んでばかり居た位ですけれ共、それでも兄さんや姉さんは少しもいやな顏もお見せにならず、眼は段々と快くなつて秋の收穫等には夜おそくまでお手傳至しました、けれ共良くなるばかり、十一月末から今年の三月頃までもお裁縫に通ひました、けれ共少しも惡くならず、農事に忙しくなりましてよりは、惡くなるといけないからと云ふて外へも出ずにかばつて居ながら夜の更くるも知らず讀書して、父や兄に大變しかられた事もありますけれど、好むことゝてやめることが出來ず、人の寢靜まるを待ちこつそり拔け出ては本を讀むでは居たのです、すると申澤もない樣な去る五月はじめに又眼が惡くなりまして、どうすることも出來ず日一日と見惡くなるばかりしかたなく醫者に診察していたゞきましたら讀書によつて出た眼ではなく傳染したトラホームだと申されましたので、ほつと安心は至しましたものゝ、なるほど內には一人も患者が居ないのですが、きつと床屋の手ぬぐいからでも傳染したのであらうと思ふより他はありません。全く手ふきなくて床屋へ入つたのが手ぬかりで、又大はじな事だつたのでございます、家人はきつと〳〵それ見たかと思つて居らつしやるではらを思へば、立つても居ても居られない位どうかして早くなほる藥がほしいものと思つて居る中に長野縣上田市に靈藥のある

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

を聞き出し、それを取りよせて指す樣になつてからは、わずかの日數で良くなり今ではを蠶の手傳も出來れば裁縫にもなしつかへなくなつて出來得る丈けはお手傳をする心でやつて居ます。

貧しい家計に

長野縣　鹽澤みつほ

毎日いやな蒸し暑い日が毎日も續きます御地はさだめしな御暑と存じます私の家は少く許りの祖先以來の財産をもつて、十二歳迄は何の不自由も知らず、老たる父母の長女として生れた私は、隨分甘い生活で暮せました、世の波風を露程も知らず、此れ迄居た私にも、今迄の甘い生活も出來ず、其の頃として餘りな苦しみに苦しめられました第一はかけかえの無い父の家出、財産の破滅と、苦しみは日事に增しました、當時八十七の祖父母はいつも心弱かに病まされ、弟は六歲に三歲一歲、父の家出に付ての母の苦しみ歎きを知る丈でも、當時の私には隨分苦しく感ぜずには居られなかつたので御座います、年にまかせて言ふ祖父のやぼと言つたらありません總ての不都合不足を病む母のかぶせては苦しめます。好な勉强の出來なかつた事と、父の在所の知れんのが、當時の本當の苦痛で御座いました、しばらくして母も快方におもむき、母をせめ立てる祖父の勢も日をおふにしたがつて漸次にさめました其の時の嬉しさと言つたらありません。けれど其の喜でも瞬間で、又一年にも餘つたかなり永く、財政の問題に守一守として讀み書も出來ない母を相手として苦しみました。財産を失つた悲しみの中にも、一年餘りもかゝつた問題の片付いた時は、ほつと重荷のおりた樣な身輕さを感じました。同じは慕はしい學び家と別れればならん時と、月日は進んだので御座います豐かな生活から急に淋しい生活へとうつり變つた當時では、高等科へ進む勇氣も無く退學致しました。嗚呼どんなに淋しい生活とは言へ父さへ居て下さつたら勉强も出來樣たとへ一時間宛でも行き度く卒業間ぎは受持先生からよく申された今迄の勉强丈で捨てゝ仕舞ふ人は後世屹度悲しまればならん時が來る、彼の時もつとやればよかつたと悔まればならん時が來る忘れるなと、固く〲言つて下さつた、けれど進學する勇氣は無く先生は算術と修身讀本の三冊を買つて與て下さつた、級進の出來た人達は朝夕嬉しそうな顏で通學する、見る度に自分は涙ぐんだ當時は三册の教科書にすがつて居ましたそうは言へ、慾の少なかつた當時には、一人の淋しい勉强も續け切れず、教科書も終えぬのに力はつきました、慾は消えました、其の時せめても今の熱を持ちたかつたと思つて、當時の情け無き心を思ふとたまらなくなります。月日は進んで同級の方は立派な修業書を手にして卒業されました。當時は學校に補習科もなく母は苦しい中からも月謝と縫物の苦心して、卒業の翌年から年毎に三箇月、あるひは四箇月、間位は裁縫塾に通はせて吳れました、學問の出來ない悲しみの中にも、それ丈は嬉しさで御座いました、三年四年と年月の進むにつれて、貧しい家計を見馴れて居る私には、たとへ如何なる職業にしろ、母の心配を離れて自己の力から母も安心させ弟も養ひ度くこうした心の燃え出したのは卒業後四年目、十七歲の頃からで御座いました、燃え立つ心を止め切れず、何うしても進んで見やう習つて見度いと母の知らん參十圓許りの貯金のあつたを幸ひ十八歲の時三箇月間の蠶種檢査吏員の講習に行く事に決心致しました、御金さへいられれば暇はやるとすなほに言つて下さつた母の心を嬉しく思ひ乍ら、高等科卒業生の中へ入り込んで、三箇月の勉强も無事に終り、修業書を得た時の嬉しさ有難さと言つたらありません、今に其の印象は忘れません、一職業は得られた物の又悲しみました、職務期間の短かな事と、日給の少ない事で御座います、俸給はよしとしても期間の短かな事には本當に悲しく思ひました、一箇年と言ふ中僅か五箇月間ある無いで御座います、そんな短かな職を一職として甘んじる事は、どうしても出來ません、自分の淺はかさを初めてしみ〲悔みました、出勤時間の短い事を守に六十三錢の日給に、それでも一箇年(四月半)は奉職致しましたけれどもどうしても滿足しては居られませず、御金の無いのと無能さを悲しみ乍ら、樣々にま

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

よいました、尊い神はへぼい〳〵私を幸福な道へと心配して下さいます自分が尋常科二年の時三ヶ月教を受けた師の尊い情けを戴いた事で御座います、何でも貴女が職業、言ふのなら御やりなさいうんと心一ばい眞劍に、幾らでも貴女に必要な丈金は心配します一心にやりなさい。かうした嬰な詞を戴いたのは、今年三月の始で御座います、暖い詞に接してからは職について先生にも心配して戴き、自分でもかなりに苦しみました、尋常科卒業より他に學力の無い私がどうしても教員として進み度くどんなに苦しくてもやつて見度いと思ひ立ちました、先生は快く承知して下さいました、學資は済んで出します、心の儘にこんどやつて下さいと力付けて下さいます。自分の心はしかと定まりました、次に母に願ふに付て昔氣の母はどうしてもそれは許して呉れません、御金の無い事と年の大きな事をもとにして居ます、御金を心配して下さる方のある事をさん〳〵にときました、けれど母は許しません、二十歳にもなる者が學校へ行く年であるか考へるがよい、「金を出すに行け」よくも人の子にいらん口をきく人があつたものだ、母はかう申しました母の口に付て自分はさんざん苦しみました、物事に理解ある伯父にも頼んで、ある時は母に願つても戴きました、母の心はなか〳〵動きません、苦しい生活の中からも、はなやかな服装で結婚でもさせ度く母にはより以上の望はありません、それに満足の出來た私は、母の子を思ふ切な心に對して、一そう苦しう御座います、母の意見を先生友人にも相談致しました、よい事があれば必ず半面には不自由 不足が付いて廻る今其の位置に立つて居るのだ、貴女の眞心のかなつた時は、屹度母も許して下さる時が來る、來なければならんはずだ、自分の心にしかと誓の出來た時はやり通すが一番だ御金の心配は要らんからやつて見よ、母も屹度いづれはそれを喜んで下さる時が來る、そうなる事に勤めてやれと力付けて下さいました、自分も固く決心して母にそむく事に致しきした、四月十五日から母にそむいてとう〳〵家出致しました。勉强期間は一箇年で准教員の資格の得られる可きで御座います、高等小學以上補習一年二年勉强した等と言ふ人達にまじつて自分の無能さを知つたらたまらなくなりました、それでも四月以來早や一學期は終りまして、一昨日から暑中休暇になりました、一昨年の修業期間もこうした中に終ると思ふと、不勉强で居る事が本當に悲しくなります、先生は喜んで御金は心配するから思ふまゝに言つて呉れ、思ふさま勉强もして呉れ等、度々言つて下さいます、其の御心に對しても生みの母に幾分の一なりとも教育の必要を感じて下さつたらと思ふと、本當に悲しくなります、情けなくなります、先生は御金の事は申して下さるものゝ、一文無しの私には、幾らでも自己の力を生して行き度く、かうした望の中に亦神は救つて下さいました、女中と言ふ口のあつた事で御座います、學校よりは廿丁餘り離れた御家では御座います、けれどとても信仰心のある本當に尊い奥様で御座います、(樋口代議士の姉様)廿圓近い下宿料を月々拂つて行く方達に比べて、朝夕の僅な時間に、其の心配(下宿)なく置いて戴ける事がどんなにか嬉しう御座います、本當にへぼい私をめぐんで下さる神様の様な先生や奥様そして本當によい御友達の澤山ある事が本當に嬉しくあります。神様に感謝して居ます、幸福を與えられて居る私がそれにむくゆる力の無い事が本當に悲しう御座います、現在のかうした位置に立つた私の悲しみとして、母から理解され無い事、世にある父の行く先不明である事が私は思ひ出してもたまりません、よく父戀し母戀し等と昔し物語等思ひ出した時、本當に胸ははり裂ける様に思はれます、世にある父に逢ふ事の出來ぬ私達母子の悲しみを御察し下さいませ、末の弟等父の顔さへ知りません、それであるのに操を正しくして居て下さる母の固い心には本當に嬉しくあります、せめて父さへあつたならどの道に進むにしても、母も許して下さる本當に父があつたならと、思ふ丈でも胸は一ぱいでたまりません、神様の様な深い信仰のある奥様につかえ乍ら、せめて自分に今少し勉强の余裕があつたら此の無能な私で、せめて今少し豫習も出來たら復習もやれたら、惡い事だと思ひ乍ら立場(女中で居る事)を忘れて居ふと、下宿に居る人等を思ひ起してなりません、近きにおいては母の許しを得度い事、たとへ五年十年の後でも母に逢ふ度此の二つは胸から離れません、そして一年の勉强の終る事とを一心に祈りますいくら細い御金にしても母の生活をたすける事の出來る時は母も屹度許して下さる事には思えます、けれど如何で御座いませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

旅の空で

山口縣 四松初枝

私の家の近所にそれは〳〵人の好い そして幼い時から私を妹のやうに可愛がつて下さる方がありました、その姉上と慕つてゐた方は、私が十七歳の時或家へ嫁がるゝことになり、結婚の後御夫婦は支那へ行かるゝやうになつてゐました、睦じく暮してゐた二人には、別るゝ事が何より悲しう御座いました、愈々御出發と言ふ前日になつて、意外な事を耳にしました、それは私も一所にと云ふことでした、そこで旅の用意を整へ三人はなつかしい故郷を後に大正七年四月の末頃出發致しました、私には初めての旅の事とて、嬉しいうちにも、一方寂しい氣が致しました、故郷を出て五日振りに無事に支那へ着きました、上陸して見ると內地と違つてゐて總てが物珍らしう御座いました、直ちに〇〇と云ふ所へ家を求めて、一家(三人)は樂しい月日を送つてゐました。半年は何事もなかつたのでありますが、十月の末頃三人は流感に罹り病床に臥す身となりました。其の內に御夫婦は床に就かれて十日と經たぬ間に急性肺炎のために、私一人を殘されてあの世の人となられました、生き殘つた私は只々悲しむのみでありました、しばらくは途方に暮れてゐました、近所の人達は私を不憫に思つて慰めて下さいますけれど、私には反つて悲しみの種でした、一時も早く歸國したいと思つてはゐましても、まだ病氣も不快其の上遺骨も二ツあるし荷物も三人のですから相當にありますし、すぐに歸ることも出來ませんので、內地から迎ひに來らるゝまで待つより外に道はありませんでした。

そこで遺骨は東本願寺の別院にお預し、荷物を片付けて內地から人の來るまで或知人の家の厄介になることになりました、他人の家の世話になるのは病む身の私にとつては、誠に心苦しう御座いましたが、生死の場合そんな我まゝも云へませんでした。

便りにして來た御夫婦に逝かれてからは、異鄕の空でどんなに寂しい思ひをしたか知れません、御夫婦の死後の悲しかつた事、寂しかつた事はとても筆紙に表すことは出來ません、私の病氣も快方に趣く頃廿日許りも經つて內地から人が來ましたので、遺骨の御伴をし歸國致しました頃は十一月の末寒い風の身にしむ頃で御座いました。歸國してもはや五年になります今は田舍の幸を味いながら親のそばに暮して居ります。

伯父様の家で

島根縣 川角幸子

私は今年二十一歳であります、思ひ返せば七年前丁度私が十五歳の時の事でありました、十四歳の時に村の小學校を卒業したのであります、貧しい私の家では、同級の女生徒誰一人高等へ出る人はない、お前も止すがいゝといつて高等小學へも出してくれませんでした。私は毎日農園に働かねばならぬ身の上となりました、もとより讀書好きの事でございますからひまにはきつと本を讀んでそれを唯一のたのしみにしてゐたのでございます、農事にいそしみつゝ、讀書する私を、某村に居なさる御伯父樣が御覽になつて、學問ずきの子だから、今少し學校へ行かせるのがよからう、幸ひ私の村には實業補習もあるから是非とも來るがよからう、高等へなりと實業へなりとすきな處へ入學さしてやるといつて下さいました、その時の私の喜びは一通りではありませんでした、父母のお許しを受けて、十五歳の一月御伯父樣の家へ參りました、そして同年の四月一日に實業補習の一學年へ入學さして頂く事を得ました。御伯父樣は至つて嚴重なお方でありました、けれど又ほんとにおやさしい、そして理解のある人でありました。御伯父樣に引替へて御伯母樣は我家に人となつて、世の荒波にもまれなされた經驗の少しも無いお方でありました。人情なんかも御存じない、意地の惡い人でありました、何かにつけて意地惡くつらくあて散らしなさるのでありました、今頃のやうな心の私でしたら少しは氣もつきましたでせうけれど、其頃の私はほんの子供で無邪氣な、そして何も分らなかつたのでございます。他のお友達はいつも大人數集つて樂しそうに遊んでゐなさるのに私は唯一人家にゐて働らかねばならなかつたのであります。

御世話になつてゐる、そう思へば小さいながらも、小さなハートに心配

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

して朝はなるべく早やく起きて御伯母様の手傳ひをし、それがすんでから學校へ行くのでありました。

歸べると又何なりと自分の手で出來る仕事はするつもりでなるべく休まぬ樣につとめてゐました、月日の立つにつれてますく〳〵つらくおなりになりました、私がいつも「御伯母樣、何か致しませうか」とおたづねいたすと「い丶や」とお答へなさるばかりであります、ある時は朝起きて、掃園をしまふ、と思つて押入へ行こうとすると「入れなくともい丶」といつて御邪魔をなさる事もありました。そんな時にはきつと私の目には涙の露が宿つてゐたのでありました。學校へ行く嬉さにどんな苦痛もとはん、若い時は二度來ない、そう思つて、苦痛と戰つてゐたのでございました、嗚々運命の神は不幸にも亦學びの園から私を引さらふのでありました。

そは生家の父が病氣だから歸つて來いといふ知らせでありました、僅か數箇月で二學期の末には故鄕へ歸りました、其後二度と學の道にはつかず、今では老いた父と病弱な母の手助をして、未だに生家にゐるのでございます、私がいたらないばかりとは首へ弱い私に十五歳の年が一番つらかつたのでございました。

初奉公の苦心

香川縣　瀨尾津彌

私には小さい妹があつた爲、上の學校に進む事が出來ませんでした。そして先生や友達に會ふのが恥づかしくて、毎日暗い部屋や押入の中にかくれて泣くばかりでした。之ではつまらないと思つて、知人に賴んで、吳市へ見習奉公に行きました、それは海軍少佐のお家で、お二人の子供がありました。子守の暇々に、習字、作文、ミシン、長唄等敎へて戴いて、學校へも行つて居りました。夢の間に十ヶ月も暮れて、御主人の英國洋航に付、上京致す事になりました。上京當時は毎日名所見物を致しましたが、十二月一日に、主人は御出立なさいました。それより一家は亂れ、遂に病氣にか丶りました。私には看護がむづかしいから、同家の御隱居樣に仕へました。

衆議院議員の夫人で有り乍ら、全く吝な嚴しい方でした。朝は一番に起き、臺所をし乍ら、幾十枚かの戶を明け、間數多き部屋を掃除し、西洋館まで終ると其間に早十二時、それとて朝飯を頂く暇もなく、しきりにお客樣で、お使やら、電話やら、茶や菓子、早く早くとせき立てらる丶、目も廻る計り急がしいのでした。其内午後四時、五時になります、夕飯の支度にお掃除、戶締り、もう十二時近くなります。一日中御飯を頂かずに働いて、お湯に行く時間もないのでした。用が濟むのは午前二時で、それから夜具も敷かず着物のま丶、そつと身體を休めて、眞夜中に我一人故鄕の兩親や兄弟の事を思ひ、自分の不憫さを思つて、す丶り泣きし、手紙の一つも書きませうと思つて、書き出しますと、奧樣に見付けられて引破られる、家から來た手紙は皆破られて、私は何やら一つも分らず、もう夢中になつて、往來の電柱にくつついて端書を書きました、すると近所の人が見て、それを奧樣に言ひつけますと、ヒステリー性の奧樣は、力まかせに私の頭を打ちました。

しばらくたつてこつそりと、藏の裏に行つて泣けるだけ泣いて後、西に向つて、氏神や金刀比羅宮に「私を病氣にして下さい」と祈りました。又或夜は十二時すぎて、電車道に出て、身を投げやうとしましたが、人通りが多いので、それも出來ず、とう〳〵雪の夜外で一夜を明しました。そこへ彼の奧樣と書生が來て漸くと同時に、ひどい目にやられました。そうして寒い冬の四ヶ月、食べることも眠ることも忘れて、苦勞を致しました。それで居てお給金は一厘もなかつたのです。少し貯へてあつた金も書生の酒代となり、その禮にげんこつをもらひました。其内病氣にか丶り、すぐ家に歸りました。重い病氣も四五日の間に全快しました。神樣の惠みだと喜んでゐます。田舍に居て親達の側に居る程結構な事はありません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

地方婦人の自覺と煩悶

藏田清子

田舍だとて馬鹿にならぬ電氣も點いた。汽車も通じた。自動車も走る。從つて新らしい思想や流行も以前よりは早く浸感して來た。何時迄も井蛙の誹に甘んじてゐられぬ。新進の地方婦女子の最近の自覺は目覺ましいほどだと云つてもよい。一ッ屋根の下に兩親、娘と水入らずで住んでゐても娘の心はいつ知らず、現代の新らしい思想を理解し新時代の天地に逍遙してゐる。兩親に於ては、はや老朽の境に達してさしたる進歩もない。若い者の樣に內的に激しい成長がないだけに動搖もない。よく云へば、安定、惡く云へば、平凡である。從つてその娘達の內面にどんな革命が起つてゐるやら、そよ風ほども感じてゐない。只外面から見た娘の成長をもつて幾分心持を大人らしく取扱ふ迄で、やはり親といふ優越權に依つて、只管に我が思ふ型に嵌めやうとしてゐる。

無論

　親の言葉は茄子の花よ千に一つの仇がない。

とか

　老婆心は眞理の結晶

だとかいふこともあるが、そうばかりでもない事が日常生活中には少くないのである。

智子とその父

一

紗の樣な雨が蕭條と降つてゐる。五月六日の夜であつた。智子が床に這入らうとするとき、次の部屋で智子の父は、今迄吸ひ續けてゐたらしい煙管をポンと火鉢の緣で叩いたと思つた時

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「智子、何だ親より先に寝る子があるか」
と険しい聲で呼びつけた。
「今夜に限つて何だ」
と思つたが、こういふ父の底意地のある言葉が出る時はきつと、何か苦情を云ひ出す前兆だと思つたので急に智子の胸は不快な雲行がはじまつた。
「今夜はちとお前に言ふとかねばならぬことがある」
智子は案の狀はじまつたと觀念して、兎に角羽織をひつかけて、床の上に跪いた。父は直ぐには口を切らない。智子は何か父の氣に觸れる樣なことをしたかしらと、こんなときにいつも思ふ樣に、自分の最近の行爲を顧みて見た。別に何も惡いと意識して行つた樣なことは想起されない。智子の卒直な性質として惡いと識つてするといふ事は出來ないけれども、徹底的に稽へて、間違つてゐないと思つたことはあたりの風習とが、他人からの外見とかいふ事には無頓着で、殆んど超越してすば／＼と行ふ事がある。

その性質を自分でも朧げながら自識つてゐる智子は、またそんなことで叱られるのかと不快な豫感はあつたが、惡事を働いた樣な心持ではないから、ビク／＼はしてゐない。
「何でございますか」
凜然とした聲は父の沈默を破つた。再び烟管を叩いて當方を向いた父の顏は電光に依つて嚴格な中に險しい色を讀むことが出來た。突然
「お前は一體どこの娘だと思つてゐるのだ。」
「…………」
いつも家名とか、地位とかを重大視してゐる父の云ひそうなことだ。智子の頭には、勞資關係だの、共產主義だの、デモクラチックの社會觀だの、更に自分の家が郡下一の地主なるが故に地主對小作關係、最近の小作人の子弟、使用人の精神的變遷などを頭に描きながら、
何だか父の言葉が虛空に響く空砲の樣な氣がしていつ迄そんなに家名とか、檀那とかいふ形式觀念を離れる事が出來ないのだらうと、自分の年齡に三倍もするほどの父の顏を偸見した。然し、永い間の習慣に依つて養はれた、父對子としての謙讓な態度と、自分の一面に於て感謝すべき恩惠を感じてゐる尊親の念とは彼女の頭を垂れさせてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

「こらッお前は誰れの娘だと思つてゐるのだ」
また空砲がはじまつた。然し智子は速答はしなかつた。
暫くしてから落ちついて
「何かこの家の娘として、父様の面目に傷つける様なことをいたしましたのでございますか」
父の怒を和げ、早く話の内譯を聞くためにはこういふより外はなかつた。
「いたしましたか、どうだかよく考へて見ろ。あれほど日頃注意して云つてゐるおれの氣持が理解らんこともあるまい。」
「別に意識つてゐて、そういふことをしたとも思ひませんですが。」
「識つてしたことはないとはお前の癖だ。逃げ口を云ふても世間が許さんぞ。」
世間が許さぬ様なことをしたかしら、どうも智子には氣付かれなかつた。
「何か世間の惡評を受ける様なことでもしたとおつしやるのですか。」
「親が知らずと思つてやつた事でもおれには鏡の様に寫るのだ。此頃お前は急に生意氣になつて來た。親に相談もしないで、勝手に野卑いものと、自分の部屋で對話といふことがあるものか、一度ならず、二度ならず、世間は何と見る。お前はそれでよいにしても、己の恥ぢやないか。」
いかゝはしいものとの談話、そう云はれてはじめて氣付いたのは、二三日前から訪れて來たあの人の事である。智子は案外な怒を受けるものと思はれた。然し考へて見れば、自分の注意の足りなかつたことも心落ちだといふ氣もした。
あの人と云ふのは、近所の青年團の副團長をしてゐる、自分より年も二つか三つか少い小學校を出たばかりの青年であつた。然し思想や實力に到つては遙かに敬意を表するにたるだけの人望を聚めてゐた。然し彼は小さな百姓家の息子といふ不利益な境遇に生れてゐた。「權さん〳〵」と云つて誰れもその人の深く藏してゐる才能や實質を理解してゐないらしく經薄に呼び流してゐた。
地方では、馬鹿でも財産家や、舊家に生れると、坊ちやん、若檀那である。親の威光が子に映じてゐる。智

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

子は權さんを氣の毒に思つてゐた。權さんが若し自分の樣な家に生れて、あれだけの器量と、賦能とを持つてゐたら、どれだけ尊敬を享けてゐるか分らない。そしてまた自分が、あの貧しい百姓家の娘であつたら、どれだけ矛盾や煩悶を感ずることであらふなどゝ考へて見ることもあつた。

そして身分や地位に於て遙かに優越してゐる自分、この大家の令孃として生れた自分等の樣なものが、これ等の青年と話をする事だに、罪惡の樣にさもなくば、大墮落の樣に思つてゐる世間の人達が腹立たしくもあり可愛想でもあると思つた。

或日權さんが自分の家へ鷄にやる糠を持つて來てくれた時、懷の中に中央公論が食み出してゐたので、高級な雜誌を讀んでゐる權さんは豪いもんだと思つたので

「權さん、それは何月號です。」

と聞いて見た。するとニコリとして粗末な法被の懷から出しながら、

「先月の增刊を平山君から貰つたので讀んでるのです」

と云つた。そして頁を操りながら、

「婦人問題についても有力な記事が出てゐますよ」

「そう、でも私には、その本は難かし過ぎますよ」

「戲談云つちやいけません、孃さん讀んでごらんなさい、もう僕はすつかり讀みましたから」

そう云つて、その雜誌を置いて行つたのが權さんと話のはじまる動機になつて、その後ちよく〳〵用事で來る時に一口づゝでも

「この間のはどうでした」

とか

「どうお思ひですか」

とか、智子の方でも

「今度賀川豐彥氏の中卷を買つたから、借してあげ樣か」

とか

「西田天香さんの講演に對してどういふ氣持が起つた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

でしたか」

とか云ふ様なことを、自然の中に話す事があり、またこんな思想上の問題は、兎角込入り勝ちで、何とか、かとか云つてゐるうちに思ひかけず對話の時が移ると云ふ様なことにもなる。そこへ持つて來て、智子は嚴格過ぎる家庭にあるものだから、いくらか反動的に内に於ける時の無口は、外に出ると喋り過ぎる様な傾向も持つてゐる。そんなことで權さんと話したことが二三度あつた。別に自分の部屋へ連れ込んだといふ理ではないが、何も無邪氣な、空けつぽ的性質だものだから、本を持つて來たり、借してやつたりする時に、その部屋を訪れたこともあつた。永い間家を離れて、自由な寄宿舍生活や、下宿住をしてゐた智子の學生時代の癖でもあつた。上流の家庭の令夫人たるべき素養を望んで、教育された、智子は却つて反對に平凡に見える娘となつて來たのを父母は非常に心配して、どうか、も少し、重々しく令孃らしく構へてゐて貰ひたいといふ念願が智子自身にもよく解つてゐた。然しどうしても、それは自分の本心を曲げる様な氣がして出來なかつた。手紙を出すでも、買物に行くでも、どし／＼自分で出掛けた。僅かの用事に女中や、小間使の手を患らはすのは氣の毒でもあり、面倒でもあつた。然し父母は

「そのための使用人ぢやないか。この土地で、上流階級に屬する家の娘で、お前の様に、ちよい／＼とした輕卒な娘がどこにゐる」

と云つて叱るのであつた。こゝに智子の自覺と同時に煩悶があつた。そうして今度の事も、父母から云へば輕卒から招いた墮落だと云ふことになるのであつた。

二

「お父様、あの權さんとの事ですか」

「さんといふことがあるか、あんな者とゝやかくいふ噂を立てられることに對して恥とは思はんか」

「…………」

「自分の身分を考へろ、人もあらうに、權の様なものを捕へてやくざな話をするなんて、第一己の恥ぢや

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ないか」

「………」

「己は晝間は毎日出てゐるからちつとも知らなんだが、お前は世間からとやかく云はれても平氣でゐられるのか」

父の憤怒は嵩じて來る

「世間は何と申してゐるんです。そんなことは知りませんでした」

「女中なんかゝいろんなことを云つてゐる。又母さんに他から聞かせた人もある。」

曾子は何か權さんと、怪しい關係でもあるかの樣に思はれてゐる事が解ると、自分の純潔な貞操心を汚濁され、尙自分等の考へてゐる、男女道德といふ樣なものに對する理解の驚くほど、盲昧なことに對して慚愧に堪へなかつた。又、一面笑止千萬でもあると思つた。思ひもそめぬといつた顏で

「お父さん、そうですか、世間の人も人だが、それを眞受けにして心配する人も人だと思ひますね」

「何だ、心配する人も人だ、お前は俺を何と思つてゐる。生意氣なことを云ふと碌なことにはならんぞ」

「………」

「人間の根本となるべき孝道に逆き、親を蔑にする樣な人間が、えらそうなことを云つても教育を受けた甲斐はない。自分の目前の行爲が、世間の中傷の的になりながら、それでも自分の行つたことが正しいと思つてゐるのか、お前達はまだ若いのだ、自分の思想が一番豪いと思つてゐるだらうが、その一ッ一ッの行爲は間違ひだらけぢやないか抑々子供は親あつてのものだ、子供は親に對して絶對に服從すべきものだ、よく考へて見ろ、お前といふ一個の身體、その心、その衣服、調度、其他總てのものは何から生れてゐると思ふ、尙子供の行動は親の反映としか思つてゐない世間に對して、それに叛く行爲をして、親に孝だと思つてゐるのか、如何なる偉人も、世に尊崇される程の人にして一人として、至孝ならざりし人があるかこの道を外れた言論には塵ほどの權威もない」

「………」

「明日でも權の奴來たら、追つぽり返してやる。彼奴等は人間の部類に這入らんのだ、對手もあらうに!。最少しは教育の甲斐があるかと思つたが、全く今の學校教育は駄目だ。寧ろ、藤浦の娘の樣に小學校きりで家庭的に教育した人の方がよつぽど世間は見上げてゐる。若い男と話一つするぢやなし、芝居だ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

活動だと騒ぎ立てるぢやなし、外出でも一人で出る様なことはない、實におとなしい上品な娘だと世間の褒め者になつてゐる。俺は羨ましいと思ふ。それに何だ、お前は。いゝいゝ、おきやんで、ちよこさいで人に輕蔑され、碌でもない噂を立てられて、藤浦などよりもよつぽど、こちらが身分は上でありながら、娘の評判は反對ぢやないか」

智子はもず〳〵しながらも、どうしても父の言葉に心服することは出來なかつた。と云つて反抗する事も無益にして憤怒をかふばかりだと思つたので、ひとり沈默を續けながら、いろ〳〵の事を想はずにゐられなかつた。權さんと話を毎日しやうと、自分には何の野心もないことだ。こちらが若い娘で、あちらが若い男といふ點から考へれば世間が疑惑するのもまんざら不思議なことでもないが、自分がこういふ人間と醜關係を醸す様な、薄弱な、不徹底な心だと思はれてゐるのかと考へると、不思議で堪らなかつた。

男女七才にして席を同じうせずとは、昔云つた言葉だ。今日では、諸大學で、男女の共學が平氣で行はれてゐる時代だ。そして靑年團處女會の提携とか、男女交際倶樂部といふ様な機關は平氣で行はれてゐる。そして、そこに指彈される様な理由はあり得べきでない。あまりに垣を深うして兩性を遠隔してゐた事が却つて見苦しい盲動を生ずる様なものだ。

何十年前も今日も同じ様な、男女觀を持つてゐる、この地方なり父なりが智子には救ひ難い頑迷者の様にも思つた。自分が權さんを贔負にするのも、出入の、下女達をいたわるのも心持に於ては同じである。獨り、權さんに對してのみならず、その勉學に同情し、才能に敬意を表するのは幾百の人の前にも同樣である。自分が身分よく生れたのは、自分の果報で、これは努力に依つて贏ち得たものでない。自分の價値は、親の威光や、家門の令孃たる地位で定價られるものではない。父は藤浦の坊さんと話したのなら何とも云はないに違ひない。また世間も笑はないだらう。然し、赤裸々に權さんと坊さんとを比較したら、その人格に於ては權さんの方が上かも知れぬ。

三

こんなことを思ひながら智子は父に向つて

「藤浦の坊さんなどゝ話すなら、いくら話しても世間は嘲笑しないでせうね」

「それならば、身分が對等だ、何の誹もない。また、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

前方は大學も出てゐるし、家庭もあるし、人格も上だから却つてそういふ人との話なら有益で相互のためにもなる」

「そうですかね」

智子はこれ以上、自分の思ふ事を發表する氣になれなかつた。到底云つても駄目だと思つたから。然し一寸父の反省を促すために一口濡した。

「人格の高下は財產と門拔ばかりにも依りますまい。使ふ人が仕へる人より偉いとのみ斷言も出來ない樣に思ひますが」

すると父は青條を立てゝ

「智、お前はまだ、あの奴の肩を持たうとするのか」

異外の言葉に智子は驚きもしたが

「あの人はどうですか。萬人に及ぼしてその通りだと思はれますが」

云ひ過ぎたと思つたが云つてしまつた後は仕方がなかつた。

「生意氣を云ふな。なぜ、すみませんでした。以後愼みますといふ謝罪が出來んのだ。」

「ハイ、どうも惡うムいました。」

智子の瞼には涙が一杯になつた。時計が十一時を打つた。父はそれを聞くと、襖を占めて、ぷいと寢室の方へ出て行つた。智子は寢られぬ儘に稽へた。五月雨はまだ降つてゐた。雨音が靜かに胸に浸みて來ると、止めどなく涙が湧いた。

「親あつての子」との言葉も思出された。「子は親に絕對服從すべきもの新らしい思想がどんなに變遷してゆかうとも、絕對服從は孝道で、親の權利、思想の圈內より子供は出ることは出來ない」と。こうして父の頑堅な思想、新聞、雜誌、小說、を讀むことのきらひな父の思想はいつ迄立つてもこの通りかと思ふと堪らさくなつた。父なるが故に云ふべき事も云ひ得ない子としての煩悶を抱いたまゝ、自分は、やはり、自分の自信ある新らしい道に進まずにゐられない性格を悲しむだ。そして近く自分の身の上にも來るべき、結婚問題に想到するとき戰慄した。のがれがたい棚中に閉込られた、父のための小さい動物を憐れますにはゐられなかつた。然し智子は本當の正しい天地に進まうとしてゐる人々の努力に依つて新らしい社會が來ることを疑はなかつた。それ迄はやはり、自分は習慣に捉はれながら、漸進的に進むより外ないと思つた。涙を拭いて厠への廊下に出た時、朧月は小庭の上に昇つてゐた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

模範女工手表彰（其ノ二）

富士瓦斯紡績株式會社小山工場

表彰狀

熊本縣上益城郡七瀧村

倉本ハル

年少ニシテ病父ニ仕ヘ母ヲ失ヒ家運頓ニ傾ク而モ其困難ニ屈セズ獨身ヲ以テ富士瓦斯紡績株式會社ニ入リ自ラ持スル事極メテ儉約ニ弟ニ學資ヲ給シテ中等教員ノ資格ヲ得セシム其犠牲的精神ハ親ト雖モ尚且ツ及ハサル所ニシテ洵ニ衆人の模範タルニ足ル仍テ本町善行者表彰規程ニ依リ金壹封ヲ贈呈シ茲ニ之ヲ表彰ス

大正十一年八月一日

靜岡縣駿東郡小山町長正八位　室伏完　印

芙蓉の峰の下、鮎澤川の清流に沿ふて一萬に近い男女工手さん達を抱擁して聳え立つ大工場がある。これは誰れでも東海道列車に乘られた人が氣の付かるゝ一偉彩であつて申迄もなく富士瓦斯紡績株式會社小山工場であります。此所の町は二十年許り前までは本當の一寒村であつたのが工場の發展に伴ふて日進月歩てふ勢で開發され今日は立派な大きな町となりました。

それで去八月一日此所の町の町制實施十週年紀念日に縁深い町から特に模範女工手として榮譽ある二人が此工場から選ばれて公く表彰されました。當日午前十時式場に當てられた閑雅の地、成美小學校の大講堂で本郡郡長以下代議士附近町村の名譽職や會社重役諸氏を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

始め一般有志の方々四百餘名の列座の場所で倉本ハル子さんと五十嵐キヨシさん（五十嵐さんは次號で御紹介致します）とのお二人が月桂冠を得られたのです。當町有史以來始めて此盛大な此榮ある席上で町長さんからお兩人の來歷や表彰の次第をお話になられた時は滿堂闃として聲無く水をうつた樣な緊張裡に感激に滿ちた歔欷の聲すら此所彼所から湧いて來ました、實に倉本、五十嵐兩女さんの名譽のみならず富士紡否紡績會社の大なる榮譽とする所であります。以下倉本さんから概要御紹介致しません。

（一）入社の動機

孝女白菊の可憐な古事で御承知の彼の阿蘇山を仰いで銀杏城下に程遠からぬ上益城の七瀧村に於て孤々の聲をあげたのが明治二十三年櫻咲く四月の初めつ方、幼少の頃は酒販賣や下宿營業等で兩親の下に何不自由無く育まれて來たのが月に叢雲花に風の例に漏れず遂に浮世の浪風はハル子さんの身の上にも訪れて漸く物心付いた六、七才の頃から父は病褥に親しむ樣になり重ねて慈母は歸らぬ旅に先立たれ兎や角と不幸續きに家運も次第に傾いたのです。そこで健氣な怜悧なハル子さんは奮然起つて孱弱な腕に一家の生計の事から幼い弟妹の世話、病父の孝養等實に目覺しい活動をされました。長兄も家計を助くべく遠く潮路を越えて布哇に出稼しましたが尚ほ債鬼は益々家を襲ふに寸斷ないので遂に家の爲同胞の爲決然として大正六年師走の暮つ方住み馴れた故郷を後に懷かしい同胞と別れて山川幾百里離れた小山工場に來られたのです。

（二）入社後の活動振

月日の經つは速いもので最早五箇年の星霜を當工場の寄宿舍に暦されたのです。去ぬる九年の十月庭紅葉と等しくハル子さんも純眞な心に錦着て一室長となられました。同室の娘子さん達の身の園から出勤の事まで何暮れとなく世話され常に自らが實踐躬行され範を他に示して居られました、それで此部屋の方には缺勤

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なんぞ全く稀で殆んど無いと申しても宜ろしい程です。お部屋の整頓から禮儀作法まで目に映る總てが衆の模範とならないものはありません其位ですから同室の若い女工手さん達のお仲間でも一人として浮いた樣な噂の立つものもありません、ハル子さんが卒先して勤儉貯蓄の美風を奬勵されますので同室十五名の方のお國の親達までが其德に服して居ると申すのに徵しても性格の大體が窺知されます、外出の時でも決して美服を纏ふ樣なことは無く一瞥して感心てふ辭を漏らさしめる程のお心掛です、作業中忠實に服務さるゝことは勿論で今更諜々茲に申上げずとも諸彥の御賢察に委せば充分と存じます。

（三）奮闘の結晶

斯くして一年一日の如く孜々として勤勉され月々多大の送金で弟義貞さんを鄕里の中學校を首席で卒業せしめ更に進んで廣島高等師範學校を優等で今春四月卒業せしめました、尙次弟義明さんをも鄕里熊本で中學校を優等の成績で卒へしめ同地師範二部をも卒業させられました。

姉ハル子さんの學資給與と（布哇在長兄よりの送金もありませうが）鞭撻とに依つて目下義貞さんは福岡縣立嘉穗中學校敎諭として敎鞭を取られ、次弟義明さんは鄕里小學校に之亦敎鞭を取られ共に熱心に第二國民の敎養に盡されて居られます、實に美談として傳ふるに貧ならない次第であります。ハル子さんの受持舍監さんは筆者に此那談をされました。

『ハル子さんの奮闘家には實に感心と謂ふの他、言辭がありません、送金(學資)に追はるゝ時などは終日の勞務に服されて後でも深夜一、二時頃までお友達の縫物をして自分のお小遣から送金の補として居られました』

洵に何と云ふ感心なものでせう寧ろ其奮闘振には悲壯を極めたものと申し度い位です、此の一例を以ても萬般に通ずる決心の程が察知せられます。病父も今日成功せる子女の前途を夢見つゝ老後を安らけし過ごして居られます。尙一妹友江さんをも看護婦として立派に活動させて居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

家に殉せんか道に盡さんかに答ふ（上）

本誌主筆

おなつかしい先生。お慕しい先生といくら申上げても限りないのでありますが、其でも何でもおなつかしく、お慕はしう存じます。先生の慈愛に富ませ給ふ御心より常に惱める處女を御指導下さる御親切にすがり若し天なる神樣が私に翼を與へて下さるならば、一走り走つて、先生の御膝もとに伏し、泣いて／＼泣き明し、私の悶える胸中をうちあけて聞いていたゞきたいほどでございます。私は至つて感情に走り易い女子ですから、熱狂のあまり、申上げることも前後が立たないだらうと存じますが、どうぞおゆるし下さいまして、私のため、廣くは世のために、先生の御徳を敬慕して、自覺する人々の續出するやう御導き下さいませ。

ありし昔

私の家はもと相當な資産がありました。土地でも一二を爭ふほど裕福であつたさうですが、父の代になりまして、あゝ今は野分の風の吹きすさぶ時ですが、思ひ出も恐ろしい秋の颱風に襲はれまして、暴雨大水一時に臻り、川添ひに延びてゐた吾家の田畑は、一夜の中に影も形もなく沒し去つて、呆然として立てる我父よりも粒々辛苦し來つた祖父の落膽失望はいかばかりてしたらう。今も祖父の昔物語には常に此天譴を繰返さぬことはありません。父は思はぬ災厄にもさすがは男一貫奮て家運を挽回しようとしましたが、馴れぬ商賣に忽ち失敗し、郷土に居るのも面目なしとて、祖父母及妻子を殘して唯一人旅から旅へとさすらひ出でました。其後年若い母は稚き小兒を擁し、嚴格なる祖父母に仕へたのですが、子供心にも母上が人知れず涙ぐまれる御姿を拜しては、幾度忍び泣に泣いたか知れません。何といふ傷ましいことでせう。どうぞ御察

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

し下さいませ。固より幸に衣食には不自由しませんでしたが、父無き家は非常に淋しく、何かにつけ、かにつけて父在さばと想ひ起さぬことはありませんでした。かくして私は父ありながら、殆んど父の愛といふものを知りません。何といふ不幸でせう。何の罪あつてかかくばかり天の咎は深いのでせう。そのうち私たち兄妹も母にはぐくまれて日々に成長し、何れも他郷遊學の身となつて、家を出でました。其間幾多の曲折はありましたが、私もどうやら好成績に某校を卒へ、師の君の勸め給まふゝに、尙ふみ止つて研究に從事してゐましたが、母上の吾子いとしさに待ち給へる御心もだし難く、やがて修學に惜しき念を斷つて鄕里に歸り、其所に職を奉ずることゝなりました。

呪はれたるえにし

過ぎ行く月日に關守なく、振分髮の齡はいつしか去り、夫を迎ふべき頃となりました。私は母の手を離れる厭はしさに、吾が不學を補ひたい一心に結婚などは念頭にもありませんでしたが、父も漸く他所に定住を得て年に二三回は歸省するやうになりました處から、吾子の前途を慮り上下より囑目されてゐる少壯官吏を見立てゝ嫁入りさせんと思ひつき、環境の事情も誠に好都合に、話はずん〲進んで、何等考慮の要もないほどに、數年前盛大な式さへあげていたゞいて私は始めて斐たるべく運命づけられました。

理想的新家庭!!新婚の樂は當然私に賦與せられながら、春宵一夜の夢と消え、高砂の謠に祝はれてから未だ一箇月も過ぎざる或日、夫はふとしたる發熱がもとで床に就き、病勢は思ひもよらず進み行くばかりに、愛ある夫は私の身を案じて、「病名の判然せぬうち鄕里に引きとりくれよ、自分は入院してゞも最後を遂げよう」。と男泣きに泣きました。けれども私はどうして病夫を後にすご〲吾家に歸られませう。氣の毒がる夫をいろ〲に慰め、一日も早く氣色の勝れんやうにと祈りしかひもなく、おゝ思ひ出しても息は絕えんばかり、醫師は終に不治の病てふ宣告を下しました。あゝ前には天災にかゝり、今は人生の悲慘に泣く。病める夫に歎きを見せじとしても、自然にはふり落つる涙は止めもあへず、神も佛もなき世かと悶えは重るばかり、此上は人事のかぎりを盡さうと決心し、私は夫及び夫の兩親に對し、たとひ私の身はどうなりませうとも、斃れるまで看護しますと誓ひ、曉の星をいたゞいて神詣でに、晝は國手の許に趨り、夜は介抱につとめ、故山の父母に傳へなば、きつと迎へ取るにちがひなしと察して、病名ばかりは沙汰せずに置きました。

私の兩親は吾子の苦境を慰めんとて、はる〲見舞に來られ、はては病氣を感づかれ、父は唯うら若き吾娘の可愛さに、すぐさま連れ歸るとて、私がいくら御願しても聽いては下さいません。幾度かすがりついて私の志を述べ盡しました。あゝ其時父と夫との間に立つた私の苦衷をどうぞ先生御察し下さい。私は最後の覺悟を定めて父に殺して下さいとまで迫りました結

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

果、漸くに續いての看護を許され、手を合さんばかりに喜ぶ夫をみとつてゐましたが、天はどこまでも私を試みよう、苦しませようとするのでせうか。夫の發病と月こそ變れ同じ日に突然惡寒を覺ゆると同時に、恐ろしい胸痛をさへ感じ、直に醫師の手を煩しましたところ、胸膜炎との診斷でした。其時の驚き悲しみ、いつそ二人で死出の旅路を急がうとまで窃にしめし合はせましたが、後々の事を考へるとそんな無分別もならず、悶え明かし歎き暮し、心ならずも運を天に任せんと、其まゝ二人づれで病院に入りました。これを知つた父の心配、遠路馳け來つて私を連れ戻らうとしましたが、病勢險惡の最中とて、動かすことも禁ぜられてあるまゝに、とう／＼二ケ月ばかり苦しみぬきましたが、一向よくなりませんので、父は醫者を變へるといふて、泣ぎくづれる我々二人の間を心強くも引き裂いて、私はとう／＼故山に歸ることになりました。

あゝ何といふ愛の結末でせう？ 別れて後も、御互に日々の便りには、全快の上でと末を約しつゝ慰め合ひましたが、私は幸か不幸か段々快方に赴き行くのに、夫は益々重るばかり、遂に媒介者より星が惡いとの口實に、果敢なき離緣の憂き目を見るに至りました。私は其から半歲の後、再びもとの健康な身となりましたが、夫は今なほわづらひの床に浮きつ沈みつしてゐるさうです。

こんな徑路をたどり來つた身が、たとひ人らしく世に立つても、何で心の痛手が除き去られませう。爾來數年を過ぎながら、今なほ當時を思ひ出すと、身の毛もよだたんばかり、「瀨をはやみ岩にせかるゝ瀧川の」の一首を口すさみつゝ別れを告げました比、當時の光景、胸もはりさくばかりです。いまだに惱める先夫に、知らぬがほの吾身の境涯は、いかにつれなく其心に響くでせう。私は眞心に對して苦しくて／＼なりません。

先生。世の中はかくあるものと知りながら、餘りといへばあきらぬかねる薄命ではありますまいか。しかも私の惱ましい思は啻にこれに止りません。先生此上お聞き苦しいことでございませうが、どうか更に私の遣る瀨ない境遇を物語るのをお許し遊ばして、悶ゆる女子を永久に御救ひ下さい。（次號完結）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

質の良い
三越の品

型のよい三越でなくてはない樣にいゝ品が澤山着しました、二圓五十錢より五圓位で各種あります……三階

短靴は黒皮ゝ赤皮ゝありますが丈夫に出來てゐて評判の品です二圓七十錢以上五圓六十錢まで……三階

實用向きの流行品が澤山に取揃へて御座います十二圓五十錢より二十五六圓まで…三階

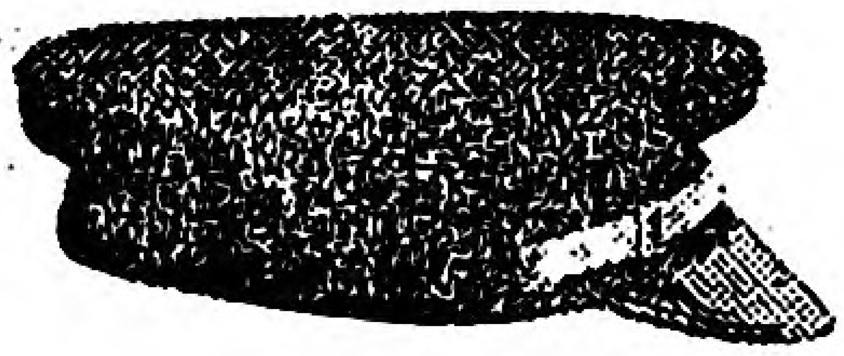
◆三越のマーケット……五階の奥にあります、呉服雜貨その他の品を非常に安く賣つて居ります、社會奉仕の爲に開きました

定休日
九月廿五日
十月十日
十月廿五日

東京

三越呉服店
◆◆◆

價の安い
三越の品



三越の帽子は型のよいのゝ値の廉いのゝ丈夫に出來てゐるので定評があります、三圓より五圓まで……三階

靴は丈夫に出來てゐて、皮がまた非常によいのを使用してあります編上三圓卅五錢より五圓まで……三階

舶來品も澤山あります、出來合品も澤山あります、十五六圓内外……三階

衣服改良 裁縫講習録

子供洋服 婦人男子洋服 佛蘭西編物 實物の型紙により

家庭獨習生徒募集（入學の好時機）

これからの時代には洋服が家庭で出來るやうにならねばなりません。本會では和服よりも洋服の裁縫を家庭に座ながら、だれにでも自由に出來るやうに專門知名の顧問講師が講習録によりて親切に講義されております。既に内地全國は申す迄もなく朝鮮、臺灣、滿洲、支那、米國等にも多數の會員がありますが中でも參萬七千人の本會の獨習生は既に專門家を凌ぐ程の技術を得られ、多數の禮狀を寄せられ非常のお悦びです。これがため各地の新聞雜誌は筆を揃へて本會獨特の教授法を賞讃し、毎日の入會申込者は多數なので中には主婦や教師は勿論、洋服裁縫の專門家もあります。就きましては本會講習録が斯くまで社會改善上皆様に有益であるとの世評に奮激しまして、この機會に御入會の方には、實物型紙壹萬組を限り無代で差上げることに致しました僅か六ケ月間に御家庭で樂々と、急所や奥の手を御會得することが出來ますし、わからぬところは手紙で御質問にお答へしますから此際すぐに本會の入學規則書内容見本を御請求なされ御入會の上實益を得られんことを希望します。（見本規則書はハガキにて住所姓名をハッキリ書いてお申込になれば無代進呈します）

顧問

東京女子高等師範學校教授 文部省教科書調査會委員 北澤種一
和洋裁縫女學校々長 堀越千代子
山脇高等女學校々長 山脇房子
東京府立第一高等女學校長 市川源三
成女高等女學校長 宮田修
東京女子高等師範學校教授 神田順子
東京府立第三高等女學校長 小林盈
東京府立第五中學校長 伊藤長七

東京市京橋區本湊町廿九番地 衣服改良 大日本研究會出版部 電話京橋一五九六番 振替東京五七一〇九番

高等裁縫通信學校

處女會中央部理事文學士 増子懷永作歌
前廣島高等師範學校教授 吉田信太作曲

府縣唱歌

一冊 送料共 定價金七錢

此唱歌は文部省の檢定濟で曲譜も附いて廣く全國の學校で歌へる樣になつてゐます全篇五十節から成り立つて其一節毎に必ず各府縣の名が讀み込まれて記憶の材料となり或は歴史に或は地理に或は殖産に或は興業に其地方に於ける各種の事柄が謳つてありますからだれでもこれを一唱すれば郷土を愛する念が油然として起ります卷頭には全國の略圖を描いて參考に資してあります

中央大學教授文學士 増子懷永
成蹊學園長文學士 中村春二 合著

かながきものがたり

一、山の幸、海の幸
二、賢い兎
合本一冊 送料共金拾七錢

此物語は全部悉くひらがなばかりで書いてありますからどんな子供にでも皆よめますそして御話の材料としては此上ないものを集めてありますから眞に御伽話を味ひたいかた又は實際に兒童の美育につとめたいかたは必ず座右に備ふべき冊子です

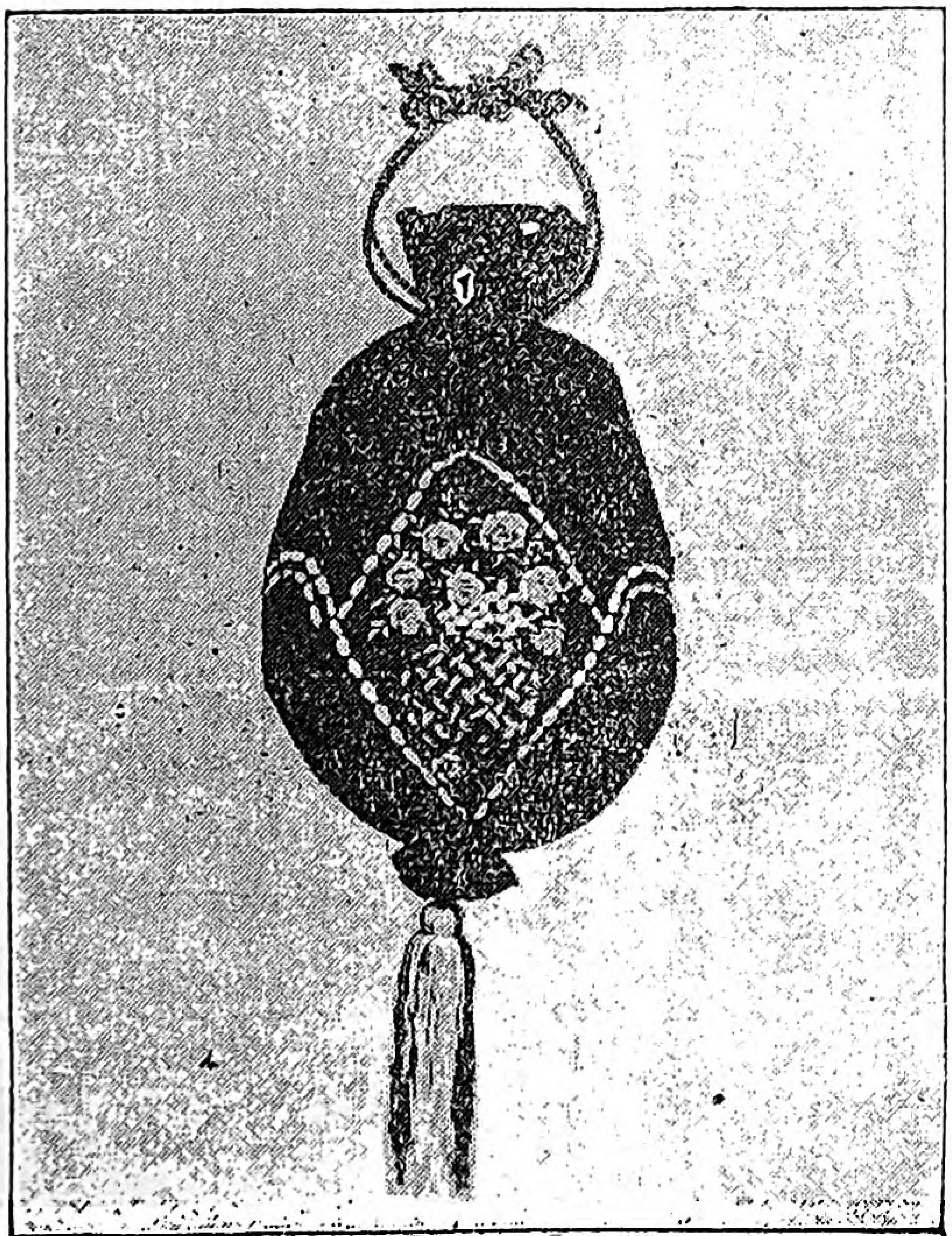
右の兩書は廉價なる良書と認めて當部で取次ぎますから御望みの方は必ず振替貯金(東京六壹九〇番)にて郵便局に御拂込下されば御申込の拾日後に發送します

東京市本郷區元町二丁目六十六番地
處女會中央部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

愛讀者開悟の悦び（九月號所載妹のために犧牲たらんかの本人より）

先生、私は妹の犧牲にならうと申上げました。又自身もなれるものだと思つてゐました。けれども先生の仰せの如くに、私には「人として立ちたい希望」があるのです。それがどうしても棄てられないのです。あゝした事を申上げた事を切に恥かしう存じますと同時に、先生の御言葉をどんなにか有りがたく拜見した事でせう。本當に身が二つあつたらばと思はれます。どうしても自己を自己として生かす望の絶えない子は先生の御教導に復して、やつぱり此幸多き郷土に立派に自己を生かさうと思ひかへしました。又妹も御言葉のやうに自己の責任として彼に苦學する道を與へた方が、一時はつらくともつらい所を越せば最後に大なる勝利を得、彼自身にも幸福だと思はれまして、これも先生の御言葉に從ふ事にしました。先生、私は先生が意義あるものと仰つて下さつた現位置に、あの御教を確りと心に見つめて自己をあやまらずに、運はたゞ神にまかせて、そして斃れるまで辿らうと思ひます。あの御教を胸に抱いて……先生誠にありがたうございました。此深い御恩は永久に忘れませぬ。理解ある父母の許に……かう思返せば今まで黑雲に包まれてゐた吾が眞心を吾ながら漸くに見る事ができました。先生有りがたうございました。いつまでも御教は忘れませぬ。謹んで御禮を申上げます。



手提袋仕上げ圖

リボン刺繍の手提袋

色彩と模樣の表現に豊かな趣味のある
誰にも出來る家庭手藝製作法

高橋たみ子
齋藤しげる補

ロボン刺繍と申しますと一分位ひの巾で種々の色に染められましたリボンを、日本刺繍の釜糸と同じに用布へ刺して參る物で、まだリボン刺繍と云ふ名が直ちに模樣をリボンへ刺繍すると云ふお考への方があるやうですから最初一寸お斷り申し上げて置きます。

近代手藝の急速な進歩と流行は和洋種々な新手藝が、次へ次へと發表紹介されて、現代の婦人子供洋服の流行は外國の手藝を我が國にもどしどし取入れて參る樣になりました、仲々近代の婦人手藝界も多忙であり、研究にはそれだけ面白味もあり容易でなくなつたわけです。此のリボン刺繍も元は外國が出發點となつて居る樣で、伊太利、佛國あたりが流行のもとである樣です、製作品を見ますと、寶石箱の裝飾、電燈の裝飾、壁掛、クション、テーブルクロスなどに廣く應用されて居りますが、露國の農民の衣服の裝飾などにも藝術味のある作品が見られます、又印度、サイアム、あたりの刺繍によく見ます薄い鐵板、金銀の板などを或程度の巾を利用して應用してあるのも、質と方法の相違はありますけれど、効果は此のリボンの行方と同一と見られます、我が國でも大分以前に女學生さん方が、ショールなどに應用して居た時代もあります、其當時はまだ巾の廣い普通リボンを用ひて居て、現今の樣なリボン刺繍專用糸とか針とか云ふ物が紹介されぬ時代でありましたが、相等な作品を見たものであります。

リボンの不自由で行く模樣の面白さ、色彩の强いどことなく荒い技巧よぎなく、微細な技巧を捨てた面白さは人の心をひきつけるに充分な力をもつてゐます、刺繍の一針で葉の一枚を表現し花を表現し得る事は、時間的にも滿足を得られます、まして現在の樣に刺繍專用のリボンが出來、針が用意され、色も種々必要に應じて揃つた上はさう不自由を感ぜずに種々な作品に相當な効果を見る事が出來るのであります。

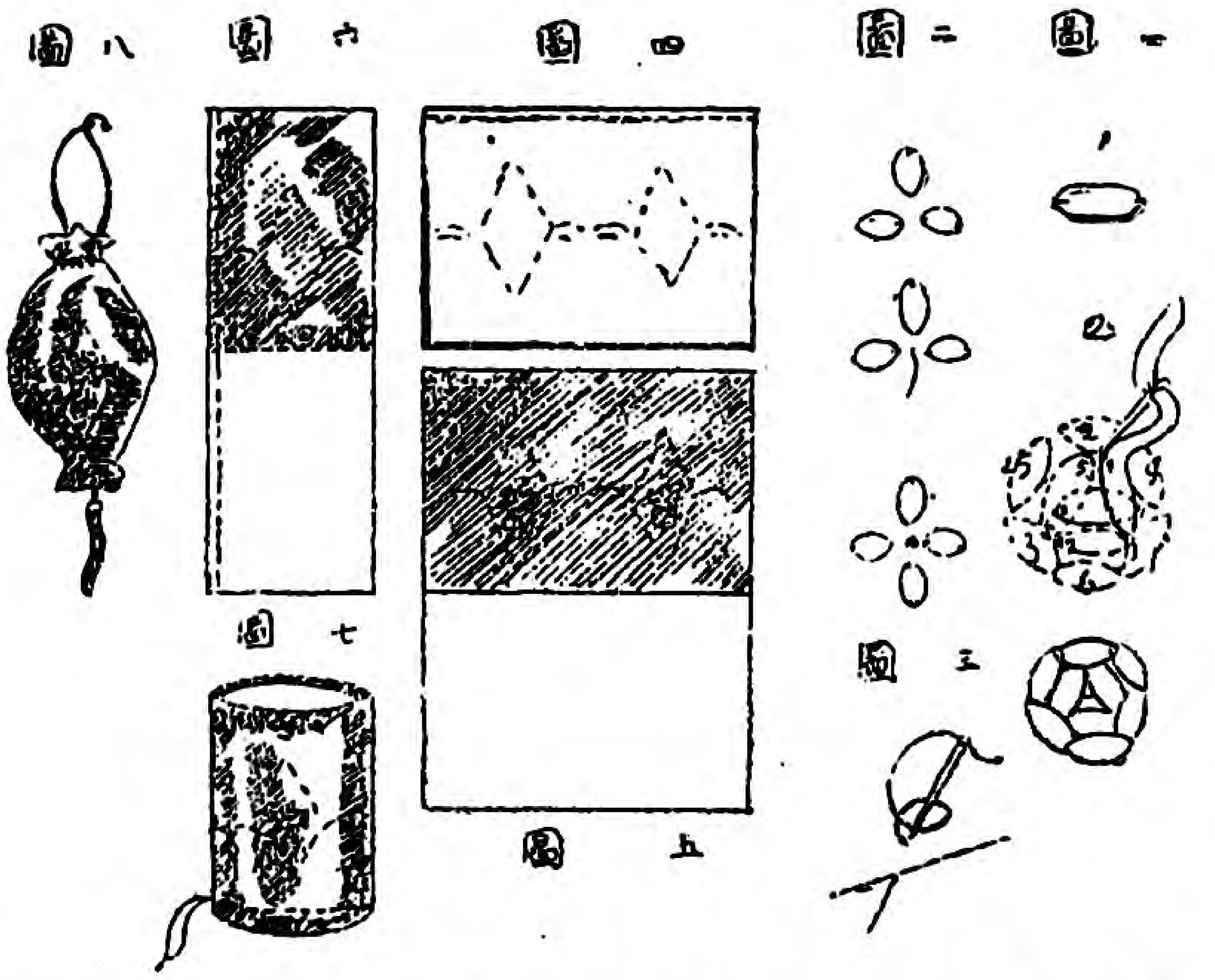
本誌のお求めで近時大變な勢力を手藝界にもつて參りました此のリボン刺繍をどなたにも出來る樣に、と同時に一個の愛らしい手提袋が出來上る樣に、說明を致しまして、益々廣く深く此の手藝の研究をお互ひがして、リボン刺繍と云ふ異國情調の先入感念から脫した、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

立派な日本のものにした製作品を得たいと存じます。

説明は、圖面にある薔薇の花とわすれな草の盛籠模様を黒の琥珀に表現した、仕上法も拙く容易な手提袋と致しませう。

材料、表用布の黒琥珀幅曲尺て一尺一寸、長九寸、裏用布輸出羽二重の白色、寸法表用布と同尺、手提紐としてエンジ色（インデアンレッド）の絹打紐一組、飾房黒と白のまじり一本、リボンは濃草ぼかし（サップグリン）桃色ぼかし（ローズマダー）水色ぼかし（薄いウルトラ）黒のぼかし、刺繍用針、（之れは普通刺繍用の針と違つて目がリボンの幅になつて居るもの）葉の茎に使用するミドリ色の絹糸又は釜糸少く、張枠（この持合せのない方は丸枠で結構です）以上で總てが揃つたわけでありますが之れは私が使用した材料なので、用布は琥珀でなくとも好みの品でよいわけですが、なる可くは横糸の太いしつかりしたものゝ方が出來上りがよくゆきます色も黒でなくとも、以上のリボンの色で桃色でもクリームでも宜しいのです、揃ひましたら製作に移りませう。



製作の順序と下繪の描法、挿圖にあります圖柄を大體用布と同じ大きさの紙に描いて置きます、此の引のばしの方法は用布の寸法が一尺一寸の九寸ですから、一尺一寸の中心點から縱に線を引きます、そう致しますと五寸五分に九寸のものが二枚連續して出來るわけで、それをお互ひに又眞中から線を縱に引きます、この線が菱形の輪廓が行く中心線となります、圖の通り菱形をやゝ底の方に下げた位置、それは口廻りから約二寸五分の所が菱形の頂點がくる位に描きまして宜しいのです、此の菱形の大さは菱形の縱の對角線が四寸、横が二寸五分位ひの菱形です、そしてその兩端に出ました餘白に波形を入れます、菱形の中の盛籠に花は任意におやりを願ひます、只薔薇の花の大きさは經が約四分と三分とで行きます、私のは落花とも薔薇が八個、わすれな草が四個です、以上の下繪をなる可く濃く描きましたら、仕用布を上にして鉛筆で寫します、黒地の時だけはそのまゝガラスを通じて寫して戴きますれば充分寫す事が出來ます、こうして下繪が出來仕用布に寫せましたら繪のゆがまぬ様に枠に張りまして刺繍に取りかゝりませう。

刺繍方法、最初薔薇の花から始めます、先づ桃色ぼか

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しのリボンを一尺に切つて下さい、それを針に通し反對のリボンの終端に結び玉をこしらへ花の中心になるところより少し左で、用布の裏から表へ針を出し、之からよく圖柄と形に注意し作らはじめます、けつして仕上りを急がず美術家の心持でゆつくりして藏きます針を出し上へリボンを引拔きましたら次は一分五厘位の右横に眞直な目にして針を表から裏へ出して引拔く之が一圖の一の形になり、順序は一圖の2の1と2て出來たものであります、この時リボンに皺が出來ましたり、よれ／＼になりますから、一々縫ふに隨ひリボンを常に正しく平らになほして行かねばなりません。花の中心が一針縫へましたなら次はこの周圍を同じ方法で三角に取卷きますと一圖の2になります順序は3が裏から表に拔き4の表から裏に拔いて目を作り、5の裏から拔き6の表から裏へ拔いて目を作り、7の裏から表へ拔き元の3の表から裏へ拔いて目を作ります次は其の周圍の1234の順序で取り卷くリボンの數を縫つて參りますと丁度薔薇の特徴そのまゝに、可愛らしい花となつて表現されるのです、たゞ、漸次目數を増して取りまく時下の生地(用布)が見えないやうに幾分か前のリボンの上に次のリボンを重ねかける氣持で縫ひます、最後は普通糸を止めると同じく玉を作り裏でリボンを切り離します、(兩面縫の時はその端を刺繡されたリボンの下へ押込むて隱します、これて薔薇の花が出來上つたわけで次は葉に移りませう。

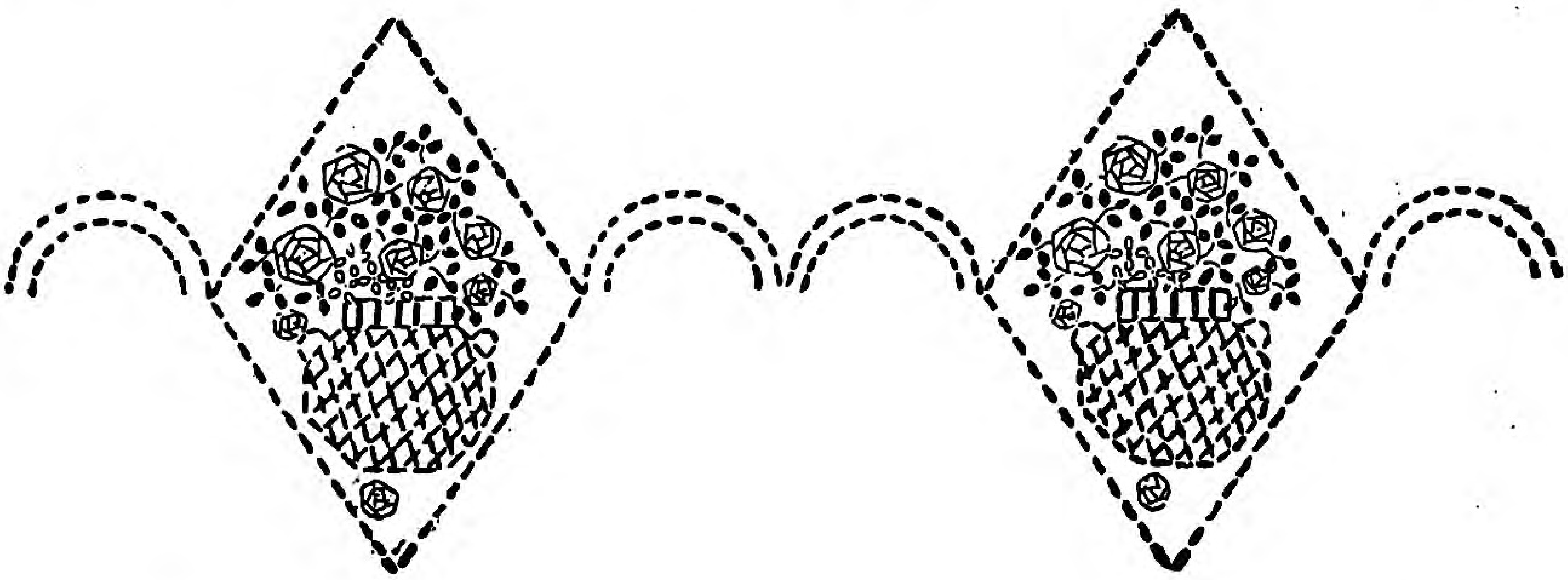
葉の刺し方も花と手法は同じですがこれは一針づゝで一枚を作り圖の如く三枚作りますと一組の葉の感じが出ます、葉の莖は日本刺繡でやりますつまり縫でやるのでリボンを使用せずあな糸なり釜糸でやりますのですが、莖の部分がほんの一二分ですから只一針さして參れば結構です次はわすれな草の花にかゝります、これも葉の縫方と同じに小色ばかしで一針づゝで一分五厘位ひの花瓣を四枚十文字に作ります、そして中心を普通の糸でサガラ縫三圖の手法で出します、この花を下繪の樣に四五個感じよく盛籠と薔薇の間に埋めるのです、最後に花籠を刺し輪廓の菱形を縫ひ波形を刺すのですが圖面通りリボンを二分位ひの長さに出し、一分飛んで又二分出す樣に總てを點線で現はします。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

色は籠の全體を黒色ぼかし、菱形と波形の上部を水色ぼかし下部を桃色で現はしますと刺繍が終つたわけであります、布を枠からはづしまして一寸裏鏝をかけまして袋の仕立にかゝります。

袋の仕立方。刺繍された表用布の表の中にしまして裏用布を重れます、そして口廻りになる部分を二分位ひの深さで四圖の如くに白絹糸で縫ひ、縫へましたら縫目を裏へかへして廣げますと五圖になります、次は刺繍された部分を中にして六圖の如く二つに折り二分の深さで小口を縫ひます、縫ひ終りましたなら、折を折つて表用布をかへします、この時裏をづらしますそして底をやはり少しづらして表と絎け合します、これで第七圖の形になりますからそれに圖の如く紐通しを約口廻りから一寸位下の時に、口廻りの十等分の位置に全部で十個付けます、長さは四五分で宜しいのでこれはカンヌキ留の付け方でも宜しいのです。

次に底の部分から四五分の上を横一文字にブツ縫に縫ひそれを堅く引締めその糸のあまりをせた堅く結んで止めます、これが八圖の底の形で、それから底のくゝれの中心へ飾房を付け絹打紐を普通巾着の紐と同じに二本互ひ違ひに通しますとリボン刺繍應用の手提が出來上りました



かうして皆さんがお作りになつた時、其作品は優美に可愛らしく製作者の眼を喜ばせます事でせう、之から秋の夜長を一つ利用して作つて戴きます、私も本誌の紙面の許す限り追々理想的なリボン刺繍の深みへと進み、種々な新手藝の御紹介をしたいと存じます、以上の材料は琥珀用布の黑、クリーム、桃色の三種を御希望者に頒つため、それに必要なリボンと針、飾房、打紐、裏羽二重、原寸圖面、縫方を附した組合せ袋を御便利のため東京本郷弓町二丁目婦人技藝材料店倉持精市本店に揃へさせて見ましたから御希望者は本誌代理部なり倉持へなり御申越し下さいまし、定價は壹圓七拾錢で至極便利であらうと存じます、尚リボンは特に染めさした他にない色も揃つて居ります、もし製作上其他不良解の場合又は新らしい圖案でおやりになる場合必要な質問をどしどしお待ち申して居ります、私の參考であり最もよい勉强法でもあります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

手足のないお母さん

婦人記者

慶應病院の産科婦人科の勝野講師に案内されて病室を訪ねたのは暑い夏の日盛りてありました。

この病院に入院中の釜鳴久子さんは、四歳の時に、脱疽病のため四肢とも關節下から腐つて落ちて生れもつかぬ不具の身となつてから廿餘年の間、不運の境遇にあつて、昨年末から姙娠して、慶應病院に入院して八月の初めに男兒を分娩したのであります。

勝野講師と共に記者がベットの側に行きますと、釜鳴さんは不自由な身を起して快くおむかへ下さいました。

生後日も淺い赤ちやんはお母さんの側ですや／＼と氣持よさゝうに眠つてお出でした。

久子さんは初對面の記者をも舊知の如く慣れ慣れしく、然もしとやかに過去半生の身上話をして下さいました。

「私は四才の時から不自由な身で、父には七才でわかれまして、繼父に育てられ、家も豊かでありませんから、家庭教師を入れる事も出來ず、學校に行く事も出來ませんでしたが、幼い時から大變讀書が好きて、暇を見ては讀書をして居ました。それから縫物がすきで幼い時から裁縫や呂ざしなどを好んでいたしました、(久子さんは裁縫や讀書がお好きで又筆跡もなか／＼見事で口に筆をくわへておかきになつた筆跡が此處に示してある通りです)

郷里は七年前に出ましたきり、北海道や、山形など諸々を歩きまわりました。一昨年は私の大きな不幸に出遇つた年で、又一面には精神的に蘇つた年であります。私に一人の弟がありましたが、それは四つの時に他にやられ、横濱の西洋洗濯屋に居ましたが一昨年の五月亡くなりました、それは二十年も會ひませんので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二人とも弟である姉であると申しても顔も忘れてまつてわかりませんが、さすがに血の流れは爭はれぬもので、死際に姉であると意識して、最後まで全快すると信じて、姉の側に居る事を安心して死にました。長い間別れて居ても弟です、せめて精進をしやうと長い汽車の間、辨當を買はずに行きました。ところが間もなく八月に母が亡くなりまして、歸りは又母のために精進をして歸りました。わづか三ケ月の間に母と弟を失つた事は私にとつて最も悲しい事でしたが、弟と母の死が自分を精神的に生かしてくれました。

私が婦女界に身上話を投書しました處、八方から同情が集つて、物質的にも精神的にも惠まれました。

社長の都河さんからは賞金の外に、義足を作つて下さるといふので、昨年大學病院で診察をうけて、義足を作つてもらひましたので、大變樂になりました。

ほんとに私はこんな不仕合せな者ですが、自分は常に何かしら生きがひのある生涯を終り度いと思ひます

手足の無い久子さんが口で書いた和歌

物質的には惠まれずとも、精神的に幸福であり度い、自分の心で幸福を生み出さうと思つてゐます。

私共は神様に授かつたこの貴い生命を何か社會のために有益につかはなければならないと思ひますので、これから、この不自由な體を生きた方面に使つて、自分の惠まれた使命を果し度いと思ひます。

今の若い方々の中には少しばかりの事を苦にして自殺したりして、世を捨てる人が多うございますが決して貴い生命を輕々しく捨てるものではありません。私共が生きて居るといふ事は何かなさねばならぬ使命がそれぞれにあるのですから、むざむざと捨てゝは神樣に對してすまないわけです。」

久子さんはかうしてうち解けた話をして、丁度眼がさめてお乳を欲しがる赤ちやんを引きよせて、アルコールにしめしたガーゼを口にくわへて乳首をぬぐひ、赤ちやんにお乳をのませました。記者は處女會の事をお話して處女の友を一部さし上げてお別れしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

好い女悪い女

ひろの

此の家で生れた内儀まけて居ず

「怒れやふくれる、たゝきや泣く、殺しや夜中にばけて出る」女のあつかひにくひ事は、昔支那の孔子様さへも「女子と小人は養ひ難し」と嘆息された世の中、その女の中でも家附の娘は殊に我儘が甚だしいとしたものです、女天下の多くはこの家附で主人にさからひ、主人を尻の下にしき、中々主人にまけて居ず、主人が少し強い事を言ひ出すと、持前の女の武器を出して、泣いたりふくれたりして、主人を困らせます。これが家附の娘としての定評です。

けれども大正の教育を受けた婦人には、高尚な智育徳育により、良人を敬する心、良人を愛する心が胸に燃えて居る筈です。それだけに家附であらうとも、角目だつて良人に口答へしたり、良人を尻にしくやうな事はない筈です。

さうして處女會員の皆さんは

女房の襷は家はしめくくり

と大いに襷がけで働く女房となつて欲しいと思ひます。襷をかけて炊事、洗濯、ふき掃除、快く働いて、きれいさつぱりと家の中を片づけて置きますと、求めずして家庭の平和は築かれます。さつぱりと洗つたものを着て、さつぱりと片づいた家で妻の心をこめて支度した夕飯の膳に向つた時、どんな怒りッぽい主人でも腹立たしいやうな顔はすまいと思ひます。主人がにこ／＼すれば自然子供も笑顔をして無邪氣になつて行く、さうした笑顔と笑顔の集つた家は、食膳がいかに淋しくとも賑

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

やかに食事をする事が出來て、消化もよく、家族が丈夫になります。

叱らずにとなりの嫁を譽めて置き

眞綿に針をつゝんだやうなとは、かういふ姑をいふのでせう嫁が臺所の片づけが不行屆であると

「まあ隣の嫁さんは實に綺麗ずきで、鍋でも釜でも光つて居る」

と賞めては嫁の洗ひやうの惡い事を當こすり

「隣の嫁さんはよく氣のつく人で、毎晩お姑さんの按摩をなさるさうだ、お姑さんもさぞよからう」

と我家の嫁の氣のつかぬ事を遠まわしに責め、其外裁縫が上手だとか、料理が巧みだとか、隣の嫁を賞めそやして一方に我家の嫁の不滿を語る姑さんがなか〳〵たくさんさんあります。

さういふ姑さんが多いために又一方では嫁の方も何かにつけて邪推が先に立ち、何氣なく姑が言つた事でも當てつけに言つたとばかりとつて、今度は嫁の方からひがみが出て來ます。さうして當てこすりとひがみが集まつて、一日に一度の不愉快も年には三百六十五回、それが二年三年とつもりつもつて、終には嫁姑の間の溝はだん〳〵と大きく擴がつて、越すに越されぬ仲となります。血肉の貴い愛の楔はなくとも、互ひに胸に情の一字さへ燃えて居ます

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

れば、血より肉より貴い愛の糸は結びつけられますものを、人の弱さは實に情ないものです。それで私共は常日頃面白く、美しいものとなる事を信じ、それは個人個人の修養、殊に女の力の出來るのではあるまいかと思はれます。

よく寢れば寢るとてのぞく枕蚊帳

といふやうに、母が幼子に對する程の貴い愛の力を何人にも注ぐといふ心掛で欲しいと思ひます。

眠らせた子をそつとのぞいて見る時の母の心は、實に至高の人情で、何が美しいといつてもこんな美しいものは外にあるまいと思ひます。

子の前には馬鹿にもなり盲目にもなり、全く無我の境に入つて、唯その子をのみみつめ、その子のためにすべてをなげ出す愛の力が嫁と姑の間や他人との間にも充ちて居ますれば、家も社會も國家も世界も樂しく

自他一體觀

「雪の日やあれも人の子たるひろひ」自分が寒ければ人も寒いに定つて居ます。ふりつむ雪の中にわらぢばきで御得意先をまわる酒屋の小僧もやつぱり人の子、それを思つてあゝ氣の毒だ、自分の子供があゝして奉公でもしなければならなかつたらさぞつらからうとその子や親を氣の毒に思ふのは同情です。同情は人の苦しみを我身に引くらべて考るから起るので、この自他一體の美しい心こそすべての婦人に望ましい事です。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女對話

或る朝

常春

こゝは村社の華表前。

夏は涼しい蔭を作つてゆく人を憩はせた銀杏の葉が、黄金の雨のやうに秋の日に照らされて散る。その銀杏の梢に百舌鳥か高鳴く朝、バッタリ花子と百合子が行き逢つた。どちらも農村の處女會員にふさはしい扮裝。年齢は兩人ともに十七歳。

「あらッ百合子さん」

「おやッ花子さん」二人は顔見合せてニッコリする。

「百合子さん、何處へ行くの、ほんとにしばらくお目にかゝらなかつたわねー、妾し什麼に逢ひたかつたでせう、そう〳〵あの田植の歸り、螢がチラホラ〳〵飛ぶ田圃道で逢つたつきりでしたわねー、權爺が鈴振るやうな聲で音頭をとりながら植えた田がもう黄金波打やうになつたのですもの、ほんとにしばらくですわねー、ア、嬉しい」と花子は百合子の手を握る。

折柄銀杏の葉が二三片ヒラ〳〵と舞ひ落ちる。

「オヤ」と百合子は空を仰ぐ、そして稍々感傷的に

「花子さん、あなたとこゝでお目にかゝつたのが、妾も嬉しいわ、だけれどもねー、風もないのにヒラ〳〵と銀杏の葉が散るやうに、二人もやがて別れねばならぬのかと思ふて妾何だか悲しくなつて――」と百合子の語尾は顫へてゐる。そして一層強く花子の手を握つた。

花子はニッコリ笑つて、

「まあいやな百合子さん、何でそんなに悲觀したやうな事をいふの、生ある者は必ず死がある、合つたものは離れるのが道理だと、此の前の處女會の講話會のとき校長先生が、何も運命だ、約束事だ、あきらめが大事だと話したぢやないの、百合子さん、そんなに悲觀しないで快活におなりよ」と百合子の顔を覗き込む、少しの間無言。銀杏の葉が頻りに散る。やゝしばらくして百合子は、

「花子さん、あなたが快活になれと云ひますけれどもどうしても妾には快活になれないわ、殊に秋はねえ、御覧なさい、此の銀杏の葉の散るのを、此の間まで青々と生え茂つて旅人を喜ばせたのに――ア、妾の處女の誇りし花子さん、考へるとどうしても泣きたくなるわ。」

思はず花子もつり込まれて涙ぐましい氣分になる、

遠くかすかに馬子の唄

小田の歸り路月かげふんで
ひろふ落穂も國の爲め

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

涼しい唄尻に耳を澄した二人は唄ふ消えると同時に吾れに返つて手を離した。

『百合子さん』

『花子さん』と二人は顏見合せて

『ほんとに強く生きませうねえ』と晴々しい顏になる。

『もう別れませうか』と花子が云へば

『もう少し話しませうよ』と百合子は華表の敷石の上に腰を下した。花子は立つたまゝ語りつゞける。

『百合子さん、考へると小學校時代が一番樂しかつたわねえ、無邪氣に胡蝶のやうに遊び廻つて、飛び歩るいて』

『さう〳〵何時だつたでせう、麗らかな春の日がポカ〳〵と暖かく照る日の學校へ行く途中、二人して紫雲英畑に這入り込んで花束を幾つも幾つも造る面白さに學校へ行く時間を忘れて了つてとう〳〵晝になつて了つて、先生が大變心配して見付けに來られ、さん〴〵叱られましたつけ、オホヽ、考へると隨分罪が無かつたわねえ』と百合子も大分はしやいで來た。

『あの時の先生は頭の禿げた、高山先生でしたわねえ、よく蠅ツルー蠅ツルーつて蔭口をいひましたつけ、妾が蠅ツルーが來た來たと云つたのを聞きつけて、花子さん一寸いらつしやいと妾を職員室に連れて行つて、花子さん、蔭口などは云ふものでありませんよ、とポンと禿げた頭を一つ叩いてイヘンと咳拂ひをした時のお可笑かつたこと、そして、花子さん、あなた方は若い、人の蔭口を云つてゐるひまに勉强せねばなりませんうか〳〵してゐるうちに私しのやうな禿げる、と云はれたときは、自ら頭が下りましたわ、その時あの禿げた頭の神々しかつた事、今でもはつきり覺えて居りますわ』と花子は思ひ出の糸を手繰り出した。

『今高山先生は何邊にいらつしやるでせう』と百合子はじいつと眼を閉ぢて氣憶を辿る、

『さあ、何でも東京の方へ行つたといふ話しを聞きましたのも久しい前でしたわねえ』と花子は華表の中を通して神社の方を覗けば、朝の神苑は靜かである。

『東京へ』と百合子は眼を開く、花子は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『百合子さん、妾は東京と聞いたゞけでもぞつとするわ、東京は人間の掃き溜めだといふぢやないの、お隣りの吾作の頃ではないけれども「大根一本食ふにも金だそれは都ぢやわしや只ぢや」あの人情の輕薄な都會へ、大根一本食ふのにお金の出る都會へ、どうしてあこがれて行きたがるのでせう』と頸をかしげる。

「花子さん、都會病といふ新らしい傳染病が此の頃大分流行して來たそうですよ、新田のお咲さんも東京へ見習へに行くと言つてゐるし、丘のお園さんも看護婦になるので東京へ行くと言ふし、思へば可愛そうな人達ですわねえ」と百合子は同情を寄する如な表情をする。

「百合子さん、東京といへば、宿のお爲さんねえ、あの人が東京へ見習に行くと云つて行つたのは昨年の秋でしたわ、それがどうでせう、僅か一年たつやたゝぬに四五日前脚氣だといつて歸つて來たそうですわ、何でも近所の人の話しては脚氣といふのは嘘で、肺病だといふ噂をチラと聞きましたわ、昨日の朝青い顏をしてお醫者さんのところへ行く藥瓶を提げたお爲さんの淋びしい姿を見たとき思はずホロリといたしましたわ、」と花子もしんみりする。

『花子さん』と百合子は稍々つよく呼ぶ

『なに』と涼しい瞳で百合子を見るど

『花子さん、妾等はどんな事があつても田園は捨てますまい、ほんとうにねえ』と百合子は眞劍である。

『妾も田園は捨てませんわ、農業、何といふ尊い職業でせう、何といふ貴い生活でせう、妾は淺薄な見解のもとに農を棄てようとする現代の青年男女を悲しみますわ百合子さん、バーノン山下に悠々鍬を振ふ農夫、米國の父と慕はれた最初の大統領ワシントンの晩年を懷しくも尊く思ひますわ』と花子は大分熱して來た。

『花子さん、あなたは蘆花の「みゝづのたわごと」を讀んで、美的百姓だと自ら在じた蘆花先生は眞の農民としては不徹底なものであつたかも知れませぬ、併し農民の爲めにはどんな言葉も惜しみなくつかかつておりますわ、「土の上に生れ、土の生むものを食うて生き、而して死んで土になる、我儕は畢意土の化物である、土の化物に一番適當した仕事は、土に働くことであらねばならぬ、あらゆる生活の方法の中、尤もよきものを擇み得たものは農である、」と云つております、花子さん、妾等は徒らに都會にあこがれる事はせずに此の靜かな田園に眞實に理解し合つた友としてよりよく生きて行くべく努力しませう、」と百合子は大なる確信あるものゝ如くニッコリ笑つて花子を見上げた、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

又一頻り銀杏の葉が舞ふて落ちる。

「花子さん」

「百合子さん」二人は又手を握り合ふた。

「かうして、ヒラと銀杏の葉が舞ふて落ちるのも何だが自分等の前途を祝福するやうだわ」と百合子がいへば

「秋は徒らに悲しむ時でなくして、穀物豐穰、お祝ひをしなければならないシーズンですわ」と花子はよろこんだ。

「あらッ、お日様の高く上つたこと」と百合子はビックリした。眼をする、花子も

「ほんとうに長話しをいたしましたわれえ」と握つた手を離す、

「あなは何邊へお使ひに行くのでしたつけ」と花子は問へば百合子は

「姉様のところへ」と答へる、

「妾しも姉様のところへよ」と花子は嬉しそう、

「それでは二人で同じやうなお使ひね」と百合子も笑ふ。

『左様なら』

『左様なら』

と西と東へ裾を分つ。スーと吹く風がうら寒い、何もしらない宮守の爺が箒をかついで出て來て

『やれ〳〵又大分散つたな、』と口小言を云ひ乍ら銀杏の葉を掃きはじめる。

遠くの方で鷄の聲がする、今日も天氣らしい。

一粒米を無駄にするな

一粒の米でも粗末には出來ない、日本全國に亘つて計算すると非常な數量である。一人當り一日に三粒づゝ下水へ流すとすると一日に五斗九升七合が無駄になる。一箇月には十七石九斗一升、一年には二百十七石九斗五合卽ち一升四十錢の米として八千七百十六圓のお金が腐れて了ふ理だ。

これを日本全國に換算すると三十八萬九千六十圓の金が空しく泥の中に捨てられる理だ。

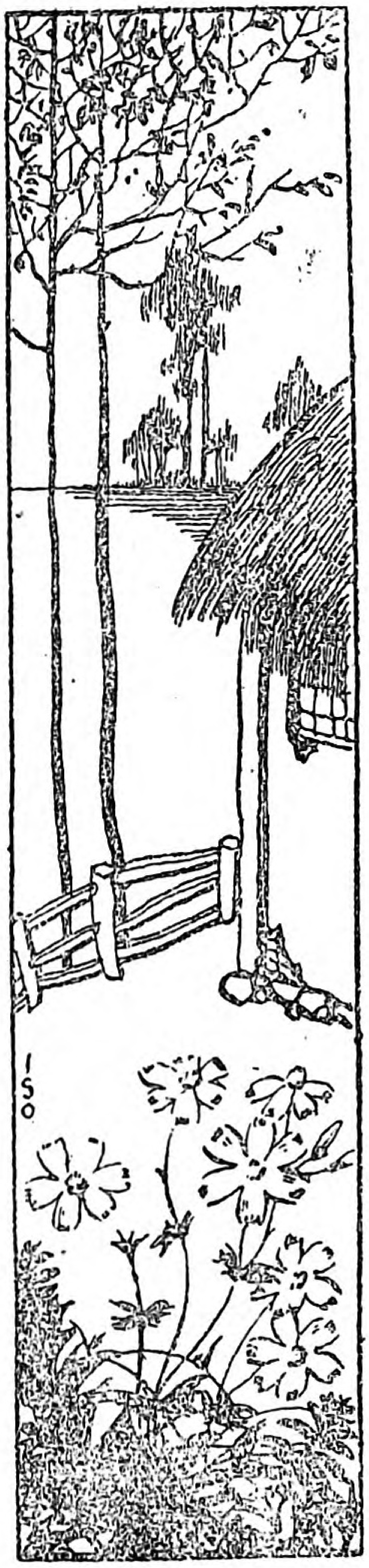
日本全國の消費者が一粒の米だからと言つて粗末にするとこんな大損害を國民全體が負ことになるのであるから我々は大いにこのことを世間に宣傳したい。

特に家庭の主婦、女中等に直接關係のあることだから、これ等の人々は四十萬圓を生み出す積りで一粒の米を大事にして貰ひたいものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

處女對話

過ぎにし時を惜しみて



里の秋

足立信子

登場人物

道　子……都の處女　┐
かね子……田舍の處女┘従姉妹
貞　子……嫁入し近所の若き婦人
及びかげうた　一人

場　所　宮の近所の木陰

時　祭日の午後

道子、かね子登場して、何か打ち沈んだ樣に蹲つて居る。

かげ歌「百木に花の笑ふ春、千草の露にむせぶ秋、心をかへぬ松の色、仰げ高峯とはに靑し」

道子「いつの間にやら早やこんなに紅葉したわね、ついこの間まで、桔梗、女郎花、花など野を飾つて居たのに、秋ですわねえ、晩秋になつてしまつたわねえ」

かね子「えゝ考へると早いものねえ」

道子「秋何だかこの秋と別れるのが悲しいやうな心持がするのよ」

かね子ため息をついて

「何とも言はないで頂戴思ふと悲しくつてよ」

道子「かねちやん思ふと私今までのこの長い〳〵十

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

六年もの月日をどうして過して來たんでせう、かねちやんがうらやましいわ」

かね子「道ちやんそんな事言つていやですわ、私こそ貴女がうらやましい、今までこの土くさい田舍に鍬を友に働いて居て何の樂しみが得られるでせう。私いつも〳〵思ふのよ、貴女の身を、私も都に出て勉强して見たいわ、今までどれだけそれを思つたんでせう。道ちやん貴女は幸福ね、私今まで無意味に送つた日がうらめしいわ、過ぎて行くこの大切の時間を思ふとじつとして居られませんわ」

道子悲しげに「さうほんと、私も悲しいわ」

とかね子の膝に泣き伏す。かね子もうつむいで涙をのむ。

かげ歌「五月雨暗うこゝに落ち、師走霜雪こゝに解く、されどにごらぬ池水の、心にならへ處女等も」

歌終りて顏をあげ

かね子「あの賑やかなお祭で皆樂しさうですわね」

道子「えゝ」

二人はうつむいて無言、其時新嫁の貞子登場二人のうつむいて居るのに驚いたやうに

貞子「道ちやんもかねちやんもこゝにいらつしたの何していらつしやるの」

二人はあはてゝ涙をかくし。

二人「あら貞姉さん」

道子「お宮參りに」かね子「お出かけ」

貞子「えゝさうよ、貴女方は何を心配さうにしてゐらつしやるの」

道子「今まで無意味な日を送つたのを悲しんで居るの」

かね子「この長い年月を無意味に終つたので」

貞子「あなた方はさう悲觀してはいやよ、まだ前途は廣いものよ、今の內が一生懸命勉强する時ですわ私のやうに嫁づいてから、色々と思つても皆無駄よ、時は金なりと申しますが、時は金にも代られぬ大切なものです。歲月人を待たずと言ふ通り、今が一番勉强の時です。この時をはづさないで勉强なされぱきつと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

將來の光明を見出します。この大切な時を無駄にせずに、都の人は都、田舍の人は田舍をまもつて行くのが、本分です。働いて少しの暇を見て勉强するのが一番よ」言ひ終ると歌

かげ歌「畑に田にと日を暮し、身をかへり見る時もなき、處女もはげめ、ひま／＼に、學びの道に身をみがけ」

貞子「今歌が聞えたでせう。あの歌のやうに勉强しなさいよ、何でも時があるのですから、その時をはづさないやうに、私の樣になつては後悔しても取りかへしがつきませんからね、道ちやん金ちやんわかつて」

うつむいて聞いて居た二人嬉しげに

二人「お姉さん有難う」

かね子「都の空想にふけつて居た私の胸もこれですが／＼しくなりました」

道子「かねちやん貞姉さんのお言葉を忘れない樣に目ざす望みにすゝみませう」

かね子「えゝさうよ、今まで無駄に送つた時が惜しいわ、これから強くやさしくまじめに働けの處女訓を守つて、淸く目ざめた新生活に入りませうよ」

貞子「私もこれでうれしいわ、かうしたたのしい思ひ出に、お宮參りに行きませう」

二人「えゝお供さして下さいね」

貞子「では三人揃つて行きませう」

三人揃ふて出かける時歌

かげ歌「松の心はおのが友、水の淸さは我がかゞみ朝夕に怠らではげめいそしめ身のために」

一同退場

懸賞募集

「私の村の雜煮」と題して募集いたします。皆さんの村では、雜煮の作り方が、それ／＼地方によつてちがつて居ませうから、御自分の村でする雜煮を知らせて下さい。その料理法も委しく知らして下さい。掲載の分は賞品をあげます。

〆切十一月廿日限り

宛名は　東京市本郷區元町二ノ六六　處女の友發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

學びの園（國文解釋）

空明生

日蓮上人（文學博士　高山林次郎）

（一）日蓮上人は獨り鎌倉時代のみならず、日本歷史上各時代を通じて類稀なる豪傑なり。實に上人は宇宙間第一の眞理なりと自ら確信せる法華經の大義を唱へて滿天下の衆生を救はんとの大願を起し、この大願の前には如何なる迫害を被るともびくともせずと覺悟し、「法華經のために此の臭き頭を刎ねられんは、沙に黃金を換へ、糞に米を代ふるなり。」と喝破し、眼中權勢もなく、威武もなき、眞に高天濶地獨立獨步の大豪傑なりき。

語釋

日蓮上人　承久の亂の翌年堀河天皇の貞應元年房州小湊のほとり東條の郷に生れ法華經の弘通に一生を捧げ弘安五年十月十三日武藏の池上にて寂せられた今を去ること六百四十年

鎌倉時代　源氏及北條氏が幕府を鎌倉に開いてゐた時代

豪傑　みなすぐれた人物

宇宙　天地四方

眞理　まことのことわり

法華經　既に說き去つた過去の佛敎と今說きつゝある現在の佛敎と當に說かうとする未來の佛敎と此三說を超越して佛敎の中心となるべき經文と稱せられてある

衆生　一般世間の人々

迫害　苦しめ惱ます

臭き頭　淸らかならぬ頭即ち俗人のくび

喝破　邪なることを推しのけて眞のことわりを說く

權勢　他人をして己れに服從せしむる力

威武　たけ〳〵しい勢

高天濶地　高き空と廣い地

通釋

日蓮上人は、たゞ上人の一生を送られた鎌倉時代

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ばかりでなく、吾國の歴史にあらはれてゐる何れもの時代にわたつて見ても、同じ並びの者の少ない勝れた人である。實際上人は天地の間に於て最上のまことなる理と自ら固く信じきつてゐた法華經の大なる筋道を說いて、天下中ありとあらゆる人々を助けようとの此上もない願を立て、此大願をしとげるためには、どんなに苦しく惱まされようとも、少しも恐れはしないと心を定めた所から「法華經を世の中に廣めるために、いろ〳〵とせめさいなまれて、吾が首を斬り落されるのは、丁度沙と黃金とをとりかへ、糞と米とをとりかへるやうなもので、自分の如きつまらぬ者が御役に立つて、有り難い御經のひろまる犧牲となるのは却て結構である。」と世間一般の間違つてる考を說き破り、自分を屈せしむる力も、自分以上のたけ〴〵しい勢も眼に止まらぬほどに、雄々しき心を奮ひ起して本當に高き空に届く限り、廣き土地の隅々までも、何をも恐れず自分の力に依て立ち自分の力に依て進んで行つた大偉人であつた。

(二)さりとて豪邁なる膽氣のみありて、溫柔なる人情に乏しかりしかといふに、大に然らず。上人が人情に篤く恩誼に深く、その情時としては禽獸の末にまでも及びしことは、後世の人をして感涙に咽ばしむるものあり。

語釋

豪邁　心がしつかりとすぐれてゐる
膽氣　きもたま
溫柔　すなほ
人情　人として一般に有する心
恩誼　めぐみよしみ
禽獸　とりとけもの
感涙　物事に感じて流す涙
咽ぶ　聲がのどにつかへる

通釋

さういふ氣強い性分の人だからとて、しつかりとすぐれたきもたまばかりあつて、やさしい人とし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ての心ばへが少かつたかといふのに、決してさうでない。日蓮上人が人としてのなつかしみ多く人としてのめぐみよしみの大きくて、其なさけ深いことが、どうかすると鳥や獸のやうな者の端までも行きとゞいたのは、實に後の世の人たちが、有りがた涙に息もつまるほど心に感じたわけであつた。

(四二)眞の豪傑は、人の爲し難きことを爲すと同時に、人情に篤く、恩愛に濃かなるものなり。能く人に忍び世に戻るをのみ偉人の業と心得るは、豪傑の半面を遺れたるものなり。この情愛なくばかの豪邁もあらじ、かの豪邁あらばこそこの情愛もあるなれ。二者表裏し融會して、こゝに豪傑の全人格を造るなり。かの美はしき薔薇の織物を見ずや、表に花と刺と別々に織成さるれども、その裏面を見れば、花を織る糸即ち刺を織る糸なるに非ずや。

語釋

濃か　ごく厚い
人に忍ぶ　できかねるほどの事を人に施す
世に戻る　世間にさからふ
情愛　なさけいつくしみ
融會　物事がしつくりと解け合ふ
全人格　人としての全體のもちまへ値うち

通釋

本當の英雄は他人のできにくい事をやりとげると共に人としてのなさけ多く、めぐみいつくしみに厚いものである。よくできかねることを人にしかけたり、又は世間にさからふばかりを、なみすぐれた人のしわざと思ふのは、豪傑の片面即ち其半分のねうちを忘れてゐるのである。一方になさけいつくしみが無ければ、一方に心のしつかりとすぐれた點もなく、片方にえらくまさつた處があればこそ、片方になつかしい親しみもあるのである。此の人よりもすぐれた強い氣象と、人情にあつい心とが表になり裏になつてしつくりと一つものにとけ合ふて、そこで始めて豪傑のすつかりの持ち

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

まへ、値うちを造るのである。あのきれいな薔薇を織り出した布を見てごらんなさい。きれのおもてには花と刺とが見別けがついて織り上げられてあるけれども、其裏を見ると、花を織る糸も刺を織り出す糸も皆一様であると同じく、日蓮上人の性格は表に剛と柔との兩方面があらはれてゐるけれども、心の底には其二つのものが融け合ふていかにも奥ゆかしく思はれる大豪傑であつた。

注意

世にいふ御會式とは主として十月十三日即ち日蓮上人入滅の當日を記念し高祖の冥福を修するために營む佛事である。今の日蓮主義といふのは日蓮上人の人格偉業を慕ふて此を末法の世に布き擴めようとするのである。

日蓮は旃陀羅が子なり
日蓮は日本第一の法華經の行者なり
日蓮は國の柱なり

魚類の骨や頭の利用

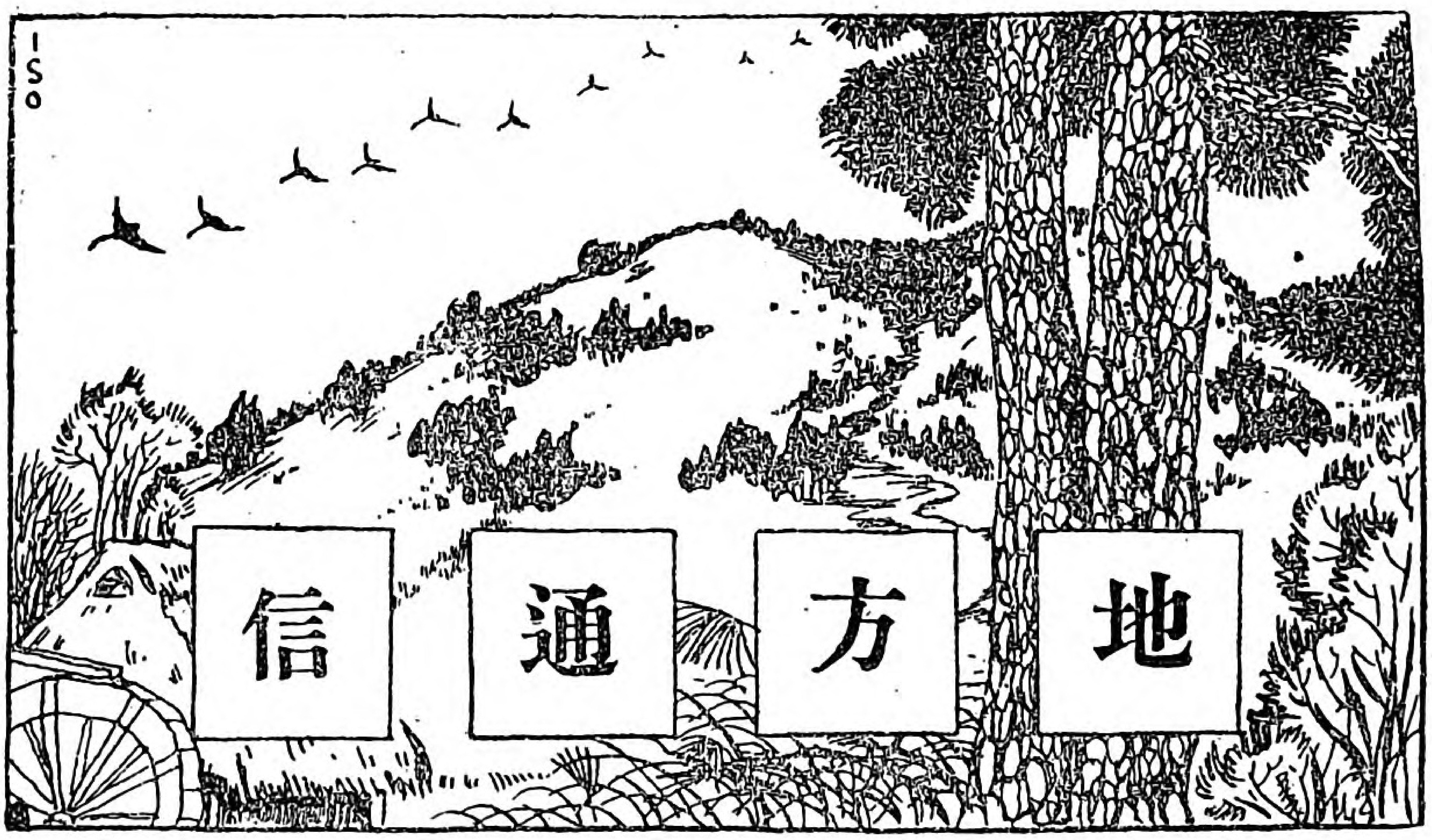
◆魚の頭や骨を煮出した汁は立派なスープとなるもので非帝に滋養になるし其の味も全く捨てたものではない殊に大根や其の他の野菜物の煮付けには此上もない

◆重寶なものである。第四に鹽鮭の頭を煮出して其の汁で野菜物を煮つけると味が非常によいばかりでなく鮭から出る鹽加減で醤油も半分ほどで濟み實に經濟である又之むを細かに切つて酢の中に漬けて置けば柔かになつて一寸風味もありお酒の肴などにはなかなか乙なものである第五にデンブにもなる先づ鯛の骨についてゐる肉を

◆銅貨か貝殻のやうなものでこそげ取り、砂糖と醤油を加へて汁のなくなるまで煮つめ布巾に包んで手で揉んで細かになつた時又鍋に移して汁氣のなくなるまで煮ると立派な鯛でんぶになる第六にこれは魚類ではないが烏賊の甲羅といはれてをる舟の形をして白色の骨であるがこれを

◆細かに砕き少し濕して毒蟲にさゝれた時とか、また切傷をした時などにその患部に貼りつけて置けば痛みや腫が減じ又血止めの效もある此外にまだ〳〵利用の道は澤山にあるが追々おしらせして生活改善の一助としたいと思ふ。(終)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



地方通信

處女會幹部講習會

市守先生御指導の下に

千葉縣千葉郡聯合處女會

◎女子の德操を進め、智能を啓發し、體力を增進し、以て其の自覺を促がし、時代に順應せる良妻賢母養成の目的を以て創立せられたる、我郡聯合處女會では、各町村の中堅處女養成の爲め、處女會幹部の講習會を開きました。

◎會員＝は現在處女會の中心人物か、又は將來處女會の中心人物となり、處女啓導の任に膺るべき地位に在る處女を、各町村二名乃至四名づゝを、町村長、小學校長の推選により八十六名を選出し、その中五十六名を寄宿舍に入れ共同生活をなさしめ、殘り三十名を通學にいたしました。集りました會員の年齡は十七歲から廿五歲までで、敎育の程度は高等女學校を卒業しました者が約四分の一で、之に準ずる者が之も同樣四分の一で、其の他の殘りの者は殆ど高等小學校卒業で、尋常小學卒業の者は僅か二名でした。

◎會期＝會場＝會期は八月八日から同十日迄で、會場は千葉縣女子師範學校の厚意により同校を借受けましたから、設備がよく完備して居るので、居室寢室、講堂、食堂は勿論割烹室、入浴場、洗面場、娛樂場、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

圖書室に至るまで何一つ不自由のものなく、不安危險の惧れなく、至極都合よく取運ばれました。

◎共同生活＝共同生活をなすことは、今回開催しました講習會の大なる目的の一でありますので、講師も、會員も同一宿舍に寢食を共にし、起居を同ふし、協同和樂の中に相互扶助の體驗を圖りました。五十六名の會員は一組八七名づゝ八組に分けて、八室に分宿し、各室に室長一名を置き自治的生活をなしました。炊事は家事實習の一部として各組でいたしましたので隨分と面白い中に、隨分とおいしいものが出來上りました。

◎講師＝講師として、處女會中央部の御周旋によりまして、同會理事をなされます甫守ふみ先生を、御賴み申すことが出來ましたので、會期の中日に於て先生の御出張を乞ひ御話を伺ひました。當日はその爲め臨時に一般處女會員の聽講をゆるしたので會衆は實に二百六十六名の多數に達しました。其の他の諸先生は左の通りでありました、何れも御熱心に有益な御話をなされましたので、會員は誰れも誰れも或る何物かを得ました。或る強き何物かを心の奥底に、深く深く根付けられました。そして何となく今迄通りではいけない、何か爲さねば、今すぐに……と云ふ感じが胸底から自然に湧出するのを覺えました。

女子の天職　千葉縣女子師範學校長　龍山義亮先生
處女の自覺　處女會中央部理事　甫守ふみ先生
婦人の覺醒　千葉縣社會教育主事　高橋正之先生
處女會の活動　千葉縣女子師範學校　吉成翁助先生
家事實習　同　武藤　保先生
裁縫作法　同　郡司せい子先生

◎日課＝每日午前五時に起床して、夜の九時に就寢する迄、一定の時間割を定めて作業致しました。少しの間も有効に利用して。

午前五時　起床
自午前五時 至同五時半　洗面、整容、掃除、期の挨拶
自午前五時半 至同六時半　炊事（料理實習）

自午前六時半 至同七時半 朝食並跡片付
自午前七時半 至同八時 自由時間
自午前八時 至同十時 講義
自午前十時 至同十時二十分 休憩
自午前十時二十分 至同十二時 講義
自午後〇時 至同一時 晝食並跡片付
自午後一時 至同三時 講義
自午後三時 至午後四時半 炊事(料理實習)
自午後四時半 至同五時 入浴
自午後五時 至同六時 夕食並跡片付
自午後六時 至同七時 散歩
自午後七時 至同八時半 懇談、協議
自午後八時半 至同九時 反省、日誌
自午後九時 至同ヵ時半 就寢準備、夜の挨拶
午後九時半 消燈

◎開會の期日が短かくありましたので、充分なる効果を得ることは、幾分遺憾の點がありましたやうですが寄宿舍に在りて共同生活をなした者には、非常なる深き深き印象を與へました。未だ嘗つて家庭より外に離れたとの少き、地方處女のことでありますから、それはそれは、豫想以外であつたやうでした。初め入舍の時は何となく寂しみを感じた者も、退舍の折には非常な元氣で歸りました。郡聯合處女會でも歸宅後講習中の所感を書いて報告するやう命じましたところ、之れは又意外にも意外にも立派なものがあつて一驚を喫しました。今後は此等會員を中心として大々的發展の方法を講じたいと思ひます。

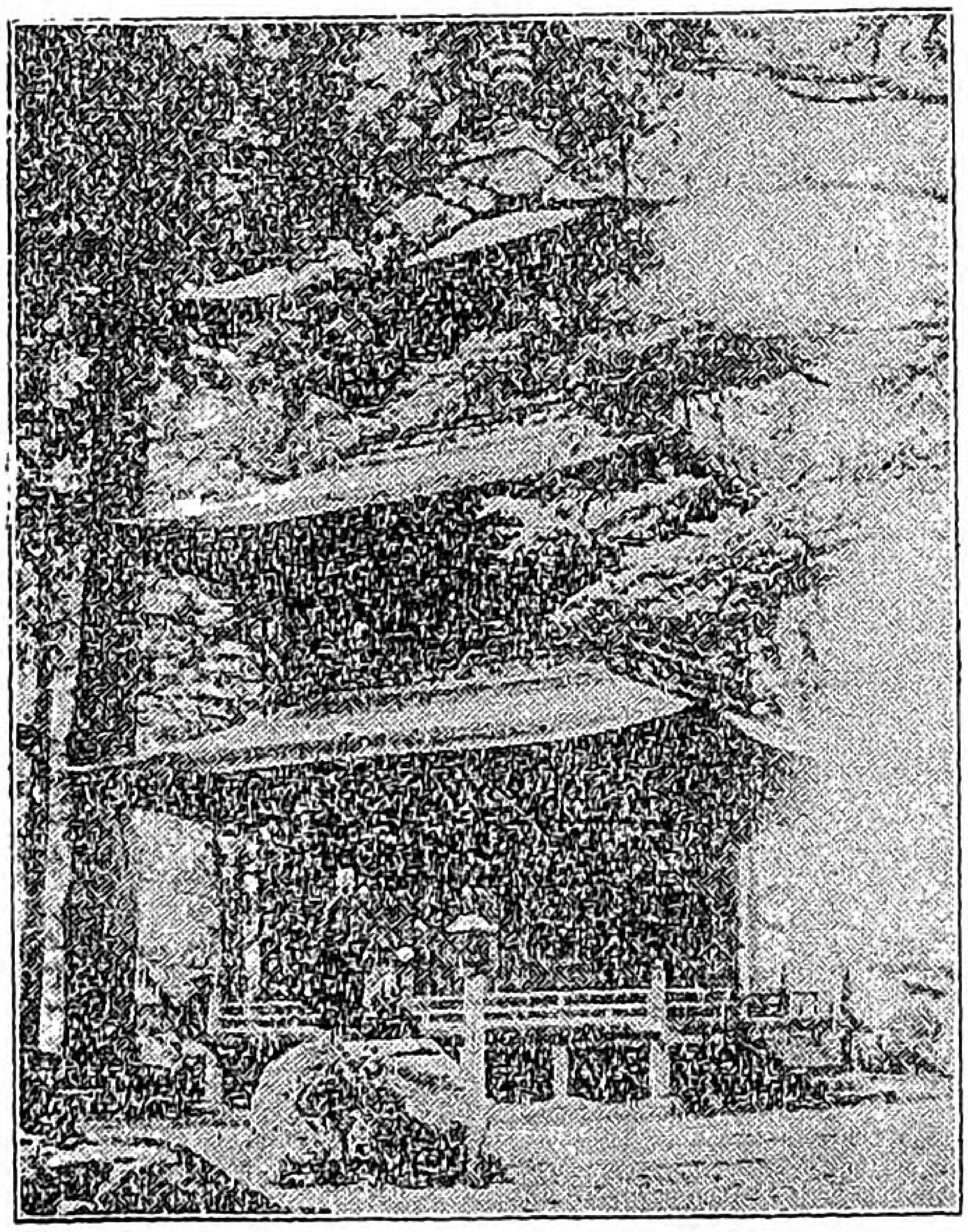
隱岐第一回處女會指導講習會便り

石川縣旅行先にて　山本瀧之助

隱岐には男子中等學校二つ、女子中等學校一つ、小學兒童の就學歩合も島根縣下優位であるとの事。さら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ばにや今回の處女會講習會も縣下各郡に先んじて企られたものでした。會期は八月一日より四日間會場は西郷町實科女學校内、會員は各町村に渉つて四十六名、内高等小學卒業者十名、其の他は孰れも女師、技藝等の出身者なのでした。講師講習員共全く寢食を一つにしまして毎日朝四時半起床から夜十時消燈迄、講義したり歌つたり作業したり遊んだりしまして一家族的に暮らしました。眞に罪のない清らかな生活をしましたので、會員一同も餘つ程嬉れしかつたものと見受けられました。島司は敎育家出身の河野好喜氏なのでして、講習會の肝煎としては石原視學と、宮田西郷町小學校長との兩氏がこれに充てられました、外に島内の倉並女史が作法料理の實地指導を與へられました。隱岐といへば後鳥羽上皇の昔を偲びます。後醍醐天皇の往事を懐ひます。由緒ある人々の血が屹度色々流れてゐるやうに思はれます、山紫水明は全く此處の謂ひ、境港からは四百噸の汽船が通つてゐます。(口繪參照)



德島縣那賀郡太龍寺は弘法大師の御修業場で四國靈場中最有名で、一丈に餘る杉樹が繁茂してゐます、

太龍寺三重塔　(德島　野々宮作江)

我が縣の處女

香川縣　高橋玉ノチ

我が香川縣にては處女會の發達著しく、縣聯合處女會も催され、この夏は休暇を利用して、各郡處女會の主催にて何れも中堅處女講習會を、五日間或は七日間、地方女學校にて開催いたしました。

七月卅一日には、午前十時より高松にて香川縣處女會發會式を擧行し、併せて指導者講習會を開催し、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

文部省宇都宮氏の御出を願ひ、處女會振興方法と題し、有益なる御講演がありました。次に食料品の科學的考察につき、女學校敎諭より御講話があり、マッサージにつき指導者講習會の時に、出席大いに宣傳せられし岩崎久馬吉氏の講話及實習があり、私共指導者講習に出席したる者三名の復命も有り、午後四時半閉會いたしました。

埼玉縣入間郡吾妻村處女會

山口萬櫻

吾妻村處女會創立は大正九年八月、郡としても澤山な處女會が出來て居たのでした。他に後れての創立なものですから役員も會員も共に盡瘁して會の發展に努力致しました。而し農村の古き人の誤解から隨分始めは種々な障害に遭遇して裏恥かしい處女が役員とし會員として可憐な小さき胸を騒がせた事は少なくはなかつた。今は漸く一般から理解され、淸い處女の力ある集ひとして事業も成績が克くなつてきました。

大正十年度本會の事業

一、智德修養方面

講話會　二回　第一回は文部省圖書官武笠先生の御講話　第二回は石田本會々長先生と山口副會長先生の御話を願ひました。

講　習　二回

普通禮法三日間　講師山口副會長先生

絞　染三日間　講師所澤實科女學校東海林先生

總　會

役員選擧　會務會計報告

講　話　所澤實科女學校長平野先生

見學旅行

平和博覽會見學

月刊雜誌の購讀

本會員二百名を地形と員數とに依り十五部とし處女の友十五部を毎月購讀

會報發行

第一回の投稿者百二十七名

二、體育及娯樂

運動會　小學校兒童と合同して

登山旅行　本會所在の地より八里東京府高尾山

遠足旅行　本會所在地より四里飯能町大寛山

三、矯風方面

本會々費及び本會の總ての費用　全部會員の勤勞と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

節約とによつて生ぜしむ。

綿服主義の實行　會員は全部旅行會合等總ての集合に綿服なること成績極めて善良

四、社會奉仕

敬老會　村內八十三人の老人(七十才以上)を招待し會員の運動を観覧に供し會員手製の料理を會員二百餘名は老人と一堂に會食しお噺を先生にお願し會員も招待者も腹をかゝへ、紀念品として老人に湯呑一個宛を贈呈した。

公德實行日　毎月十五、六、七の三日間小學校と聯絡し家庭衛生の實行。(口繪參照)

第二回の敬老會

靜岡縣富士郡　傳法村

七月十五日は私どもの處女會で村內七十一才以上の高齢者を御招待致しまして敬老會(第二回)を開きました會員は五月三日の淺間神社祭典の日に會員製作品の販賣をなし又土屋會長の宅の茶摘を致しまして會員の勞力より得たお金を基金としてこれが費用にあてたのであります。

當日は學校の都合も御座いましたので午後の一時より開會致しました。午前九時頃より役員の方々はお見えになられお花をいけたり會場の整理をなされるやらなにくれとなくよくお働き下さいました。晴天續きの事故大變に暑い日では御座いましたが皆にこ〳〵して可愛らしい孫の手やつえにすがりて大層元氣よくお出になりました、接待係が會場へ御案內申ますと昔のお友達とお會し、たのしそうにその昔を物語るのでした。開會の辭がありましてそれより高齢者順に茶菓及び紀念として湯呑一個を進上致しました。

茶菓をいたゞきつゝ無邪氣な孫達の唱歌や遊戯を如何にも心から愉快そうに喜の波を面にたゝへて熱心に御覧になりました會員の假裝行列の奇抜な事には皆腹をかゝへて笑ひきれませんでした。續いて講談桃川の「ならぬかんにんするがかんにん」は皆耳をそばだてゝ聞いて居りました其の他割烹遊戯も割合に見事の出來で御座いましたが副支部長の方々の御熱心に御練習下さいました。狐の嫁入りは實に見事の出來ばえで一同の喝采を博しました。最後の福引で本日の餘興は一だんと興をそへました。それより校庭に出て紀念の撮影をし午後の五時半解散致しました。

御出席の老人は七十四名で最高齢者は九十三才でありました。(口繪參照)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

處女俳壇

（賞）

一等

赤トンボにぼしの上や茄子の上　三重縣三重郡大矢知村　葛山静枝

二等

月影を掃きのこしたり夏座敷　福岡縣鞍手郡山口村山口　小方美津枝

（賞外）

軒になる風鈴の音や夕涼し　埼玉　荒井ろく子
沈默のつゞく寂しさ秋の宵　長野　飯島勝
とんぼつる頃は來にけり墓參り　山口　長尾もゝ代
月見草のつぼみ開けり夕の鐘　岡山　萩原長馨
草刈りや優しき小花髮にさし　福島　吉白園代
夢うつゝ蠅の邪魔する晝寢哉　岡山　島田ちかよ
里川の流れの清さや髮洗ふ　群馬　藤倉きん子
廢亭や忍ぶ昔の花の色　福島　齋藤桃代
鐘鳴るや淋しきこの日友の逝く　神奈川　霧生孤蝶
朝顏にこぼれてかゝる齒磨粉　埼玉　西川榮子
百合の香にめくらよりむく田舍道　岐阜　西野なか子
畑に行く孫を追ふ子や胡麻の花　埼玉　沼野惠子
蟬なきて晝の暑さや野良仕事　岐阜　足立信子
草取りも終へて嬉しき夕げ哉　福島　鈴木きよい
月冴えて虫鳴き出でぬ庭の松　島根　藤原朝枝
人形をなでる妹の愛らしさ　埼玉　新井はま子
影ぼうし小猫ぢやれ居る月の椽　岡山　忍草

處女歌壇

（賞）

天

落葉してしぐれる清き一流れ何處へ琴をあやつりて行く　東京府下西多摩郡成木村　藤野駒子

評　やさしくも又清らけきしらべかな落葉の下を行く水の音

地

一人居の靜けき夜半に柿の實の音して落つるも寂しかりけり　神奈川縣高座郡大澤村上九澤　笹野光江

評　虫さへも草葉にかくれ山里の秋の夜更けの靜けさ思ふ

人

今日もまた腦み去らんと畑に出で歌にまぎらす心淋しき　北海道余市郡仁木村字砥ノ川　遠藤八千代

評　幾度かなやみの坂を越えし後まことの幸を受けられよかし

（賞外）

○美の部○

白露をふみくだきつゝまぐさ刈る乙女のほゝ吹く風の涼しさ　山口縣　長尾桃代
摘菜して田舍路歸る乙女子の清き心に涼し風吹く　北海道　杉山早苗
尺八の音ゆるやかに流れきて池のみおもに遊ぶ宵月　山梨縣　長澤藤子
薄陽もる木立のもとの草中にほつり〳〵と芽出せし茸　福島縣　石原光子
汗の手に飲み盡したる土壜さげ野良歸る夕の足の重たさ　東京府　浦邊由美香
小麥ひく臼音漸くひゞくなりしづけき夜に川の明るし　鹿兒島縣　軒の雫
涯もなき天津旅路を唯ひとり高く澄みつゝ月は行く哉　神奈川縣　賀久百合子
淋しくも友思ひつゝ文讀めばポタンと音して青柿の落つ　埼玉縣　野口千代子
病床に夜明け待つ身の明くる間は常にも增して長く覺ゆる　岡山縣　島田ちかよ
青桐の大葉のゆらぐ下影にさゝ豆ざやもむ初秋の午後　群馬縣　藤倉きん子
早乙女がかごにそへたる白百合のほゝゑむすがたのいとほしき哉　埼玉縣　山口ふじ子
つとめてもまだ足らざりし今日の業明日はや起きんと夕月を見き　群馬縣　池田榮子
夕立の晴れしなごりの緋木の露おく上に月ぞやどれる　福島縣　吉津園代

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

なでしこのまかりあすぎて赤トンボ　群馬　新井美津子
夕涼み向ふ川邊に影二つ　岐阜　丹羽芳子
五匁で足らぬ日永の烟草哉　福島　渡邊千代子
初瓜や隣へわけてあとはなし　岐阜　梶田とし子
秋立ちて葉蔭に虫の聲涼し　埼玉　山口白百合
夏休み一句ありげな夕涼み　神奈川　山田こま子
雲一つ二つに割れて青嵐　埼玉　一愛讀者
湯上りや爪切る音のやはらかさ　福島　稲村敏子
店臺に百合一輪や峠茶屋　群馬　藤倉肇
炎天や汀に一つこはれ舟　北海道　遠藤八千代
桑つみてかへる野道や露深し　神奈川　大貫やす
流星は青山に落ちてほと丶ぎす　山口　田坂文江
しばし休み泉の冷氣ふところに　島根　錦織登久子
ゆく夏の名殘りに洗ふ浴衣哉　岐阜　松の綠葉
尼寺に住ひて虫の夜ふけかな　同　林みや子
遠雷の音して蟬の時雨かな　神奈川　樋口ゆき子
破れ家の入口とざす米俵　福岡　狩野ちとせ
初なりや母の情の梨三ツ　鹿兒島　軒の雫
虫鳴きで千草に涼し秋の風　長野　野菊
明月や稲葉に光る露の玉　群馬　新井紀佐子
蝶去りて花散り失せし秋の暮　群馬　水野千代子
秋近くとんぼのなぶる辻地藏　埼玉　房野こう
海原に茸上りけり夏の土用　京都　給田はな
川邊こす盛夏の臺やれむの花　宮城　小野寺フジヱ
山里にゆりの花咲く家一つ　山梨　長澤藤子
桑畑や折々ゐらす蟬時雨　岐阜　鍛冶谷せい
蟬鳴くや松を離れて宮柱　福島　國井津美子
きり〳〵す炎天の下に鳴き暮す　香川　十河まつゑ
鳴く蟬のとぎれ〳〵て秋近し　福岡　熊川矢水
鮎得て歸る男や田草取り　埼玉　小池紫水
野中迄とんぼとまるや萩の花　香川　瀬尾津彌

月をふみ星をいたゞき歸り路ほのかに匂ふ白百合の花　同　鈴木きよい
朝草に刈りこめられしきり〳〵すなく〳〵馬にのせられて行く　三重縣　葛山靜枝
谷川の細き流に足ひたし友とよろこぶ夏の眞晝に　神奈川縣　柏原とくの
紫の色こそ野邊に匂ふなり彼方かしこにすみれ咲きけり　福岡縣　田中靜子
古里へ病知らする錐止めて虫の音すだく庭を見やりつ　福島縣　梅津みや子
水色の風は出穗なす小田の面に波を送りて香を流しけり　埼玉縣　新井優花
手にとりて愛でゝも見たし清らなる池の面の水蓮の花　神奈川縣　山口孝子
蜻蛉ひとつすい〳〵飛べる夕空に一痕の月淡く光れる　熊本縣　鳥井正人
我病みて老ひませし父の草刈に行く樣見れば涙ぐましき　群馬縣　藤倉肇
昨日今日秋立ち初めし山里のゆきゝの川舟絶えて淋しき　福岡縣　狩野ちとせ
流れ川朝日くだくる水の面しばし見とるゝ物洗ふ處女　岡山縣　忍草
目に口に流れる汗をふきも得ず吾れはひたすら田草とりする　群馬縣　對比地こう
朝夕に祈りする子となりにけり心の平和を願ふ此の頃　長野縣　伴在芙蓉子
せめて我人となるまで母上の健やかなれと神に祈りつ　群馬縣　落葉
太りゆく蠶思ひて桑つめば玉なす汗も涼しかりける　神奈川縣　樋口ゆき子
足音に驚きたるらし田の中に蛙とび込む夕べ淋しも　群馬縣　橋本登久子
たいまつの空にかゞやく影見えていもち送りの鐘のどよめく　滋賀縣　芝田英子
鶺鴒の石より石にわたりつゝま晝靜けき谷川の水　神奈川縣　清水喜豫丸
病重き祖父思ひつゝ桑摘み烏しきりに啼けば淋しも　福島縣　鈴木文代
いとけなき人の話に耳かして露臺に澄みし月仰ぐかな　神奈川縣　岸喜美
窓近き木立に泣けるひぐらしの聲かしましき夏の夕暮　栃木縣　稲葉和代
うつむきて亡き友偲ぶ夏の宵淋しかりけりこほろぎの聲　岐阜縣　砂場錦野

○良の部○

見渡せば月すみ渡り雲もなし心も廣し望み有る身は　福島縣　植野しん子
夜業終へ疲れて歸れば寐もやらず母の情に湯は沸きてあり　山口縣　岩本哀汐
仙臺を見たりと言ひし弟の喜ぶ樣のいぢらしきかな　宮城縣　小野寺フジヱ
葉末より月を浮べてハラ〳〵と露の玉散る夕立の後　東京府　木村喜久子
山路を牛促せば行く先きの草葉の朝日ハラ〳〵とこぼるゝ　岡山縣　秋原長馨
仕事終りて夜すゞみ居ればほそりたる螢淋しく飛びて來るかな　岐阜縣　田口わか子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

鳴く蟬や一度に止みて雨ふりぬ　福島　黒澤はなよ
尺八の調べ悲しき今宵哉　同　大竹米子
白萩の花に初秋の風涼し　同　梅津みや
陽をさけて樹蔭の子らや蟬時雨　埼玉　新井優花
ねぎ捨てに寢ころぶ猫や暑さ哉　福岡　芹野いせ子
一枝は手折りて見たし牡丹哉　同　田中靜子
涼臺賑ふ月の夕べかな　神奈川　柏原とくの
夕立や草取り遂ふも稲のため　福島　津村慶永
明月やすゝきとだんごそなへけり　同　豊野富子
喘ぎつゝ主人の供する小犬哉　神奈川　笹野光江
一入の暑さ覺ゆる蟬の聲　福島　と よ 子
夕月や繪にも似て見ゆ野の踊り　群馬　池田榮子
風もまた假の內や氷店　神奈川　小山宵風
鍬先きのゆるぐと見れば土返る　福島　香野いさほ
蠶室の窓から洩るゝ笑ひ聲　神奈川　八橋豊子
そのまゝの姿やさしき野菊哉　埼玉　岡本喜久子
秋風に緑波漂ふ青田かな　同　黒澤夏代
夕立のからりと晴れて蟬の聲　同　加藤輝子
湯上りに團扇片手や月見草　福島　小野如川
萬頃の稲田黄金波秋の風　東京　青木利德
すげ笠をかぶりて今日も田草取　長野　漆戸まさゑ
崩れては雨となりけり雲の峯　福島　國府秋月
葉隱に蟬取る子等の浴衣かな　山口　河田白歐
朝顔や朝露あびつ二ッ三ッ　福島　野口文子
虫ほたる二ッ三ッのやみ夜哉　岐阜　服部たか
雨やみて競ふばかりに蟬の聲　福島　釣卷波津子
夕立のはれて涼しや松の蟬　神奈川　清水喜豫丸
里川の清水に寫る野良姿　香川　安西照子
桑園や桑摘む處女の百合の花　神奈川　山田芳子
夕立や晴れて涼しや雲間月　埼玉　山口錦州

花さゝげ冷たきみ墓なでつゝも淋しかるらむこの山中に
とぼ／＼と山路たどれるたそがれにはるかに聞ゆせゝらぎの音
蠶飼ふ細く優しくやはらかき弱きこの身がはづかしきかな
鳴く虫の聲音にそひて秋の野にやさしく匂ふ百菊の花
たそがれの空みてあれば夕鳥の咽ぶが如く啼きて去りけり
秋立ちてそよ吹く風にも思ふかななしき母の失せしその日を
子供等は数あらそへり庭先の月に微笑む月見草の花
脊に負へる夜荷の重さ忘れつゝ神を讃美し歸る夕ぐれ
夜はふけぬふと目ざめたる我耳に蛙なくらし遠き田の面に
灯提の光に虫の聲やみてゆらぐ葉末の露こぼれけり
野良に行く母の後より幼な子は手に持つ瓜を食みつゝ行けり
なき母を偲びつ我は唯一人墓にぬかづき涙ぐみつゝ
淋しさも忘るゝまでに秋草のにほへる蔭に虫のなくなり
夏の月明るくさえしこの庭に君が幻もとめてやまず
炎天に焼きつけられつ夕立の去りし野の道に一人草刈る
窓に寄り故郷戀しと空見れば雲間を照らす上弦の月
湯上りの輕きからだを窓に寄せ虫の聲聞く夜の涼しさ
新らしき處女の友をばくりかへし讀むも嬉しき紙の香りも
そのかみの樂しき時を忍びつゝ黄昏の野を只一人行く
美しき露もやどりぬ蓮の葉に蝶もやどりぬ秋風の吹く
桑摘みや乙女心に摘み急ぐあなたの人に追つかれじと
抱け共墓石冷たく亡き兄のみ靈いづこに今はますらむ
奥山の若き八百屋が鳥邊山越えて大根賣りにきたるも
喜びの色をたゝへし村の子よなれ／＼しくも馬引きて行く
一むらの萩のさかりに埋もれて垣根の井戸はくまれざりけり
細道に迷へる小兒連れ來りお菓子あたへる弟いぢらし
幼な子の寢顔靜かに覗きつゝ手足をさする母の情よ
露深き畦に草刈る乙女子の微笑む顔にや幸宿るらむ
朝まだき馬草かりにと立ち出でゝ夏草の露に袖ぬらしけり
姉上は山路のぼりつ白百合を一枝そなふ亡き妹に
金色の寄せては碎く磯濟に友と語りし夕べなる哉

岐阜縣　鍛冶谷せい子
無名女
神奈川縣　霧生孤蝶
福岡縣　熊川矢水
北海道　村住とき子
埼玉縣　黒澤夏代
岐阜縣　竹腰よそ枝
長野縣　靜香
岐阜縣　丹羽芳子
愛知縣　夜露
埼玉縣　荒井ろく子
神奈川縣　小山宵風
群馬縣　新井美津
埼玉縣　大野T子
茨城縣　宮本つれ
福島縣　阿部好子
岐阜縣　西野なか子
福島縣　黒澤はなよ
神奈川縣　大貫政子
福岡縣　芹野いせ子
福島縣　遠藤とみ子
福島縣　松本こん子
ほとゝぎす
岐阜縣　青葉
神奈川縣　古池とき江
埼玉縣　新井はま子
群馬縣　藤倉友吉
福島縣　宮田泰子
鹿兒島縣　須美運
福島縣　野口文子
鳥取縣　すみれ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

投稿の規定

（作文）
題　病中祖母の行に（手紙文）
二十字詰　十六行以内用紙半紙

（和歌）
題　随意　二首以内　用紙ハガキ
又は同じ大きさの紙

（俳句）
題　随意　一人二句まで用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

（習字）
半紙一枚に字數随意

（圖畫）
少女の繪、景色畫
用紙ハガキ又は同じ大きさの紙

投書の注意

（一）同じ紙又は同じ端書に幾種類も書かぬ事、それ〴〵別の紙に書いて、和歌、俳句、考へ物、誌友くらぶ等と明らかに書く事、住所氏名を明瞭に書く事。

（二）郵便切手を上手に使ふためにハガキ大きさの紙に別々に書き同じ封筒に入れて開封にする事、開封なれば二錢切手、封書なれば三錢切手を貼ること

（三）締切は毎月廿日、宛名は東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所宛

○佳の部○

長き日の遊びにあきし子供等のつかみしせみのにげやすきかな　福島縣　遠藤きん子
朝顔の開く間をみつめ居れば先づ彩りぬ朝露の玉　福島縣　小野如川
秋風に青田黄金のそよぎ立ち豐年ぶりの波ぞうれしき　埼玉縣　大館靑巒
あかねさす晝の暑さに堪へかねてうなじをたるゝ朝顔の花　福岡縣　なぎさ
夕月は空の彼方に浮みけり牛引く童影淡く見き　神奈川縣　瀬間千鳥
雨細く赤き朝顔淋しくもしほれて見ゆる山かけの家　廣島縣　前田よれ子
湯上りの肌に夏衣ひき掛けて海邊に立てば小夜嵐吹く　鳥取縣　角哲子
里川に髮を洗へる乙女子のやさしき姿水にうつりて　香川縣　安西照子
病多き我が身は悲しさりながら處女の友にて心慰む　愛知縣　川合多壽ゑ
草屋根の立ち並びたる我が郷は古き昔を語るに似たり　岐阜縣　林の枝雪
姉と我歎けば肩にかへる道かなたの森にひぐらしのなく　岐阜縣　照子
朝顔の花咲ひけり夏の日の木かげ戀しと桑つき語る　福島縣　伊藤たつ子
むく〳〵と夕立雲の早やければ桑摘む我は心せはしき　埼玉縣　仲常子
御佛をむかへんものとひれもすを汗みどろにて我働きぬ　靜岡縣　湘川俊子
山上の樹蔭に立ちて眺むれば吹きくる風に暑さ忘るゝ　岡山縣　枯尾花
月見草咲く夕ぐれは問ひ給へ賤が伏屋も月はさすなり　福島縣　釣巻波津子
妹の顔見つめながら藥をばのませる我は涙こぼしぬ　和歌山縣　岡崎かめの
幾度も都に出でゝ學ばんと我はねがへど父はゆるさず　神奈川縣　安西仲子
校門を出でし學生の白きシヤツ青田の道を歩み行くなり　福島縣　小濱千代世
てまりつく妹の歌にさそはれて友となるなり夏の木蔭に　神奈川縣　大澤文子
痛足を引きずりつゝもとつぎ行く我身の末ぞ思ひやらるゝ　北海道　柏葉
夏は行く朝の花園に見出たる見知らぬ花に紅の一本　神奈川縣　萩原由喜子
三人が一本づゝ床の間に挿しゝダリヤ一つ咲きけり　東京府　井上義三
ま夜中に小窓打明け眺むればおぼろ月夜の秋の空かな　神奈川縣　榎本キン子
春夏と手入の甲斐ありこの秋は枝もたわみてぶどうはなれり　群馬縣　新井きよの
友達と手に手を取りて夕涼うちは片手に手取川原に　石川縣　松田文治
夕涼の名殘の風のそよ吹けば青葉にくだく白露の玉　神奈川縣　白楊
月見草池のほとりに夕涼みほのかに出る十五夜の月　同　小山美佐緒

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友だより

△涼しい秋風の通ふ都の中央に、處女會中央部主催の講習會は開かれます、どうぞして成績のよいやうにといのりつゝ、皆さんを御指導下さる方々の御上京をお待ちして居ます會務も糊粘もいよ／＼忙がしくなつて來ました。（記者）

○御挨拶

○私も處女の友愛讀者でございます。どうぞ皆様のお仲間に入れて下さい。

神奈川縣津久井郡名倉村　馬上三五子、東京市本郷區湯島天神町一ノ二五天野方椎名りい子、靜岡縣田方郡田中村原井上くら子、埼玉縣入間郡入西村中里加藤輝子、岐阜縣加茂郡吉田村日下部いと子、福島縣耶麻郡長瀬村筑井巻野、岐阜縣江名子成田きやう子、福島縣白露、岡山縣英田郡西粟倉村、萩原長聲、岐阜縣吉城郡阿曾布小瀬まつ子、德島縣那賀郡目野谷村横石野々宮佐久江、群馬縣新井紀佐子、岐阜縣加茂郡西白川村田口若子、北海道天鹽郡天鹽村字雄信内村村住とき子、同村住貞子、同西村かれの、

○記者様始め誌友の諸兄姉様、大層きびしいお暑さでございます、皆様お變りありませんか、私はあくまで鬪暑主義で、草刈や田草取りで、田圃に働く處女でございます。いそがしいうちにも少しの暇を得て處女の友を讀むのが何より樂しみです（飯石田井の里にて幸子）

○私は樂しい暑中休暇を姉が病氣のため轉地しましたので、滿一ヶ年の愛らしい盛りの甥の世話を一身に引受けて致して居ます。昨夜などは一睡も致しません、これも勉强の一つと一心に世話をして居ります（京都にて　木村喜久子）

○私は昨年九月より今年の六月まで名古屋に居りました、今は故鄕に歸り、養蠶を致して居ます、岐阜縣の皆様におたより頂き度うございます、岐阜縣武儀郡關町へ（長野市篠原清子）

○光陰矢の如しとやら、野邊には早や秋の七草も咲き亂れて居ります

記者様暑苦しい都會よりこうした里へ一度御越し下さいませ、處女之友愛讀者は鶴首してお待ち申して居ます（愛知縣東加茂郡盛岡村戸中　川合多壽慰）

○記者様御親切に樂しい野の幸、婦女訓までお送り下さいまして誠に有難く御禮申上げます（福島縣耶麻郡翁島村　釣巻初子）

○記者様先日は美しい繪葉書ありがたうございました、あつく御禮申し上げます、誌友だよりは何字詰何行ときまつて居るのですか、御うかゞひ致します（鈴木愛子）

△規則はありませんがなるべく簡單に願ひます（記者）

○言ふまいと思へど今日の暑さかなと思ふ日ばかり續きます、誌友の皆様お變りございませんか、私は早くより御誌を愛讀し乍ら、記者様始め皆様一度の御挨拶致さず失禮いたしました（一處女）

○老鶯なくこの山里にも萩の花蔭に細々と虫のないて、涼しい初秋はひそやかに訪れて參りました、私は蠶飼ふ暇々に優しい處女の友によつて慰められるのでございます（一處女）

○秋立つと言ふは名のみにて、殘りの暑さなほ嚴しうございますが、記者様始め誌友の諸姉様方には如何お暮し遊ばされますか、埼玉の皆様おなつかしうございます、今後も大いにお振ひ遊ばせ（埼玉縣　中島花子）

○露しげき草むらにすだく鈴虫の聲にもいとゞ淋しさまさるくもり日の夕、みなつかしき岐阜縣の讀者様みなつかしき金蘭の皆様、かうよばして頂いても涙ぐむ弱き處女は、山里になやましい日を送つてゐます、どうぞ末長くお交り下さいませ（岐阜縣惠那郡武並村　足立信子）

○月日の小車めぐり／＼てもう夕もすぎました、皆様お變りもありませんか、私は種々多忙にとりまぎれつい御無沙汰しました、どうぞお見捨なく御導き下さい（福島縣　花見トミ）

○毎月皆様の俳句や歌に感心致して居りました、私もどうかして作つて見たいと思ふばかりで未だ投書致しませんでした、これからよろしく願ひます（靜岡縣田方郡田中村　井上くら子）

○先は早速野の幸お送り下さいまして有がたうございます、野の幸の代金お手數乍らお知らせ下さい（萩原千代子）

△代金はいりません（記者）

○皆様お懐しうございます、暑い……夏も過ぎて秋らしい風が吹き出しました、其の後記者様初め親友の皆々様お變り有りませんか、お便り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

下さい（愛媛縣温泉郡　大西白百合）
○記者様、この間は美しき繪葉書澤山お送り下さいまして誠に有り難うございました（茨城縣新治郡　こう子）
○暑い〱夏も最早過ぎました、そしてあの涼しい樂しい秋がやつて參ります、阜岐縣の皆様奥ヒダに住む淋しい處女を御指導下さいまし（岐阜縣吉城郡袖川村字山田　梶田とし子）
○夕映は赤々と雨天を彩つてゐます……萬物すべてが活動より沈思へと渡ります、??月色偏に夏に宜しく芳香巳に秋ならんと欲してゐます、斯して又私等の活動の好シーズンとなりました。文園に田園に大いに勵みませう併して尚、本誌の本分を發揮しませう（埼玉縣北埼玉郡騎西町岡田保市）
○記者様、先日は賞品として美しい繪葉書御送り下さいまして、誠に有がたう御座いました（福島縣南會津郡館岩村八總　阿久津千代子）
○蒸す樣に暑い今日此頃をも、諸先生は私等愛讀者の爲に編輯室にて汗と共にお働きなさつていらつしやるのでせう、月々發展の御誌を手にしてはもうたまらなく嬉しく廿日頃からは毎日鶴首して待つて居ます許限り早く送本して下さいまし、後になつて濟みません、先日は美しき繪葉書お送り下さいまして誠に有難く厚く御禮申上げます終の皆々樣御奮ひの程を（岡山縣　枯尾花）
○暑い暑も本號を見る頃は去りて田は稻の波に私等の奮ふシーズンとなる鍊友に郊外に〱に外は本誌の爲に修養しましよう（奈良縣須川局區　中井悲哀子）
○お暑う御座居ます、
記者様お變りもありませんか、過日はおなつかしい處女の友送り被下れ、有がとう御座居ました、又考へ物賞品として、種々の繪はがきお送り被下され、厚くお禮申し上げます私は毎日蟬やきり〲すと共に樂しく樂ひ暮して居ります（沼野惠子）

○趣味のお室

○あはたゞしいひぐらしの聲は消え失せて、庭の千草にすだく虫の音いともゆかしく賤が家の窓邊に訪れます、あゝもう秋ですれわ、私共の最も好きなシーズンです、京都府の山口しげ子様、前號でみ言葉有難うございました、お差支へなくば御所お知らせ下さい（埼玉縣北足立郡鳩ケ谷局新郷村　荒井ろく子）
○靜かな雨に潤されて幾らかしつとりとしたやうな私のハート、おゝ皆様、淸きハートの諸姉様、惱み多き春も過ぎました、おゝ私の淡い希望の糸も絶えてしまひさうです、皆樣此の哀れな子をいつまでも忘れずに（福島縣　信夫の花）
○青い夜霧の庭を過ぎ行く時を惜しむやうになく虫の聲にも青赤い柿の實を吹き落す風の音にも悲しい秋の訪れたのをしみ〲覺えます、御なつかしき誌友の皆様お變りもムいませんか、（神奈川縣高座郡大澤村　大貫政子）
木影親しき暑き暑き夏の頃となりました私は初めて投書致しますこれから何卒御教導の程を？尚お手紙下さるなら左記へ（小樽市港町十六　杉山早苗）
○私も本誌の愛讀者で御座います毎月の誌上に有益なる記事をたくさんお載せ下さいまして有難く御禮申上げます、誌友の皆様方の立派なる投書に皆に感心致します私は農村に住む處女ですので田園生活を樂みに働いて居ります何卒記者様を始め誌友の皆様御導き下さいませ（福島縣伊達郡立子山村　阿部ふじ子）
○終日汗になつた體を行水に流し樂しく夕餉に向ふ時星またゝく大空を心行くまで眺め野の幸を歌ふ時は本當に野守る乙女の我が幸ですれ、田園生活は都會の人の味はれぬ辨さでございます（山口縣の處女よし子）
○あゝ私の心にシックリ合ふやうな、讀書に好時節な秋は來ました、淸い優しい秋の月……鳴き枯らした る虫の音、涙ぐましくなりますあゝ我が身一つの秋にはあられど如何で斯くも！皆様御ふろひ遊ばせ絶え間なく……（愛知縣　夜露）
○靜かな里にも夏のシーズンは訪れました、今日あたりは蟬の聲や蜩の調べに八釜しい樣です炎暑の折にもいとはず御骨折下さる諸先生及記者様を緣深い山奥より御崇ひ申してゐます、鹿兒島のダリヤ様同軒の學樣同縣で御懐しふ存じます、御差支なくば住所姓名を承りたふ、（鹿兒島縣　須美遐）
○ぢい……。と啼く蟬の音に、照りつける日輪は。直ぐ頭の上にある樣です。透明る樣な桑の若葉を。ほちり……と折ると白い乳を出してぐんなりと、しほれます、私しは暫らくつむ手を休めました、眞直に延び樣とする私等の前途もこうした、最後に逢ふた時、あゝ私はどしていゝのでせう。（福島縣東白川郡　小濱千代子）
○ソヨ風は又訪れて參りました、秋と云ふ氣分はだん〲に深くなるでせう、まだ殘りの暑さはひどい日もムいますれみな樣は御元氣でお働きでせう、涼しい秋が來るのをたのしみにまつてゐます野山の作物の取入時はほんとうにたのしいですもの收穫の秋をまつせみの音や絶えて又鳴ふキリギリス（福島縣　淺川みさ）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

〇晝の暑さもどこへやら、楠の葉かげからやさしい月の光もいやはらかに、涼風を身にあび小草の露をふみ乍らあてもなくさまよう時苦しき勞働も打忘れてしまいます。靜かに口ずさむ自然の美の歌。では皆樣すこやかに。(大隅國　軒の雫)

〇見渡す限り黑ずんだ深い綠にかこまれた山又山、何處からともなく眞白な風が吹いてきて其のみどりをざわつかしてゐる暑い苦しいと云つても山里の夏何處かにのんびりとした涼しさがひそんでゐます、土埃と煤烟とでドロンとした空氣が重苦しく厭しくつまつてゐる頃僅かの木蔭をたよつて幾組かの若い男女が靑い顔しておる……さながら疲勞と倦怠との化身かと思はれる樣な……都會の夏便不便は論じません自然のみところに生育された自然の兒は淋しくとも淸い山がなつかしう御座います皆樣さうは御思ひになりませんの(岐阜縣加茂郡蘇原村　鈴村榮)

〇涼風防ふ窓に月光を浴びる晝の騒亂の曲の音もいづこにか消え優しく涼しき夜の調べ……おゝ奏でるセレーナデ何と神秘な宵でせう……處女の友と樂器によつてスキートな月日を送つてます此のお暑いのにも先生御苦勞樣です屹度登久は御恩に報ひます働いて……(群馬縣佐波郡剛志村　橋本登久子)

〇新綠の野邊に立つて、火の樣な陽光を浴びつゝ毎日〳〵靜かに、又同じ步調で、新しき變化多き、然も永久不變に希望に生きんと進んだならば其處には美しい幸福の日を、神は惠むのだ？四圍の麗はしい自然の姿に搖り起されて自ら若きハートに湧き立つ詩と歌……奮ひ立ちませう田園の人々よ、凡ての苦しみと惱みとを越へて誠の人生への努力と活動とを盡しませう、而して大なる力を捧げて美しい御誌の爲により以上の向上に努めましやう？共に〳〵(神奈川縣津久井郡　石井生)

〇涼しい秋に窓外の虫の鳴く聲聞きつつ處女の友夜更くるも知らず讀み耽る誌友兄姉お奮ひ下さいれ(奈良の都で猿澤池を眺めつゝ　中川靜月)

〇皆樣處女のほこりと云ふ樣な拙い歌を作つて見ました。

白き手拭白百合の。
氣高きすがたにあやかりて
乙女のぢゆんなるま心を
百合のかほりのそのごとに
にごれる世をば淸くせよ
永くかほらん其のかほり
永くかほらんそのかほり

(福島縣　梅津みや)

〇晝は暑しといへども朝夕の風は涼しくなり晩夏の候となりました皆樣御かわりはございませんか益々文藝に御奮ひませう(福岡縣山門郡東山村　長田熊川矢水)

〇今迄みん〳〵じう〳〵とないて居たせみの聲はきりぎりす、くつわ虫の聲とかわつてしまひました記者諸先生はじめ誌友の皆樣御變りはありませんか私は每日自然の天地を友として暮して居ります滿天下の皆樣おふるひ遊ばせ(福島縣河沼郡實川　五十嵐昌子)

〇研究室

〇燈火親しむべきシーズンとなりましたわれ、勉强に旅行に好時節ですれ、どうぞ一生懸命に勉强もし、遊んでも下さい、登山もいゝでせう、ぜひ妙義山にでもいらつして下さい私の家はすぐ麓であります、(上毛の妙義のふもと　大塚詩律香)

〇記者樣御尋ね致します、故天野藤男先生の紀念事業の寄附金はどこに送つたらよいでせうか(山口縣中森薫)

△東京市神田區美土代町三ノ十四山田榮吉氏宛です(記者)

〇記者樣私は語調がハツキリしないため不便を感ずる事が有ります何かよい方法はありませんでせうか(一處女)

△語調のハツキリしないのは生れつきもありますが、精神を常に愉快に持ち、人に對して心より親しみを持つと自然ハツキリ致します(記者)

〇私は堺村中央處女會に加つて居ます一員で毎月處女の友を愛讀して居ますが、投書するのは初めてですこれでよろしいでせうか(東京府　原津根子)

△よろしうございます。記者)

〇記者樣私は惡筆で困つて居ましたが、ある婦人雜誌に惡筆は特許速成法で練習すれば誰でも立派に書けるやうになるとありましたが、農家に暇もない乙女が練習する事が出來るでせうか(惡筆の一處女)

△惡筆は生れつきもありますが、一心に練習すれば上手になります、暇があつたら研究してごらんなさいませ(記者)

〇暑さの苦界を越えてこそ、この涼風に會ふ事が出來るのです、何事も忍耐は成巧の基です、私の若きハートは希望に煩悶しつゝ働いて居ましたが、御誌に慰められ、目下母も亡き四人の弟に馬鹿でもよい正直な人になれと申してゐます(永和の花)

〇「小人閑居して不善を思ふ。」と云ふ萬代不朽の名言が有ります。私は小閑を利用しやがて、心の罪を征服して小人の域を脫せんものと信仰の道を辿つて居るものです。本誌愛讀者諸姉にも同じ神の子がお出での事は私に取つて嬉しく、又力强く感じました。廣瀨村の松本さん御言葉

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

有難う。私は男子ですがそれですお差支へなかつたら誌上にて翌き御交際をしませう。(福島縣若松市　小野如川)

○毎號此の室に……「眞實な青年なる事を標榜にして純な處女を誘惑する青年ありとか」申されます。私は之れに接して、どれ程殘念だか知れません現代の文化せる青年、理解ある自覺せる青年に、かゝる愚鈍の行爲よ……私にはどうして信じられませう。若し有とせば、寸刻も早く覺醒して下さい。私は國家の、中堅青年として、滿天下の諸君に絶叫する。(群馬、橋本文司)

○油井村處女會員諸姉よ、暖かい廣い諸姉の貴きみ心を以て我村處女會を育んで下さい、靈に柔を與へる樣な心で育んだなら、我處女會も屹度靈が立派な高價な繭を作り出す樣な効果を否盛大さを見る事が出來る事と私は思ひます毎月の誌上に今度こそは、我村の處女會の通信が有るかと思つて見る時私は何時も落膽して了ひます奮つて下さい、育んで下さい、我處女會の爲に足元の定るまで、一人で歩めるまで力を添へて下さい(植野しん)

○「よりよく生きよ」こうした叫びを標語として、社會の荒浪に竿を取りつ遙か光明の彼岸に達すべく、眞心奮闘その傍ら幼稚な腦裡に沸き出づる青春の惱を打捨つべく、可弱い乍ら文藝の道を辿ります、女諸兄姉よ貧しき青年を幾久しく御愛導願ひます(山口縣熊毛郡阿月村字下小池　岩本春一)

○「青年の癖に何んだ」と罵られるかも知れないと思つて遠慮して居りました。實は私も三月より近所の書店にて美しい御誌を發見して内容の充實を知ると共にそれ以來手放しずる事が出來ず愈々正愛讀者になりました誌友の皆々樣宜敷く、埼玉の姉樣琢つて下さい。同郡の下山瀬子樣私は貴女の知人中島よし君の直ぐ隣りですかれて貴女のうはさは聞いて居りました。御差支へなくば御文通を(埼玉縣兒玉郡七本木村大字嘉美　山口錦州)

○睦み合ひ

○群馬縣の藤倉きん子樣同縣同名でお懐かしうございます。今後末永くお交りを願ひます(神奈川縣津久井郡千木良村　榎本キン)

○福島縣の淺川みさ子樣、おなつかしう御座います、私の御習ひした先生が淺ヶ小學校へお出になりました御存じでせうか(福島縣信夫郡　遠藤きく子)

○給桑後湯あみしてあとの快さに端座して、美しい夜空に見入つて居ました。そして無限の小感に浸つてみました、千芳樣やゑり子樣、あや子樣、つや子樣、熊子樣、此の頃誌上にお名が見出せないので淋しうございます(群馬縣　對比地こう)

○野田やむひとさん、君は男子ぢやないか、男子のくせに七月號にての言葉、身は見えぬ鐵のくさりにつながれて居るんだなんて、ずいぶん弱いではありませんか(福島縣阿賀川の畔　大和なでしこ)

○七月號で御情こもるみ言葉給はり東京府下のすみれ樣、福島縣登美多嶺女樣、京都府給田はな樣、眞に有難く誌上にて深く御禮申し上げます(德島縣那賀郡新野町　佐藤ゆき枝)

○私は山間の地に住む一處女でございます、栃木縣の稻葉和代樣、同縣でなつかしう御座います、住所をお知らせ下さい(栃木縣安蘇郡飛駒村　吉田キチ)

○木良村山間も暑うございます、御便り下された三重縣西口樣、其の後も相變らず農桑に務めて居らるゝでせう「農は國の始めなり」益々國の榮えるやうに眞面目に務めませう(神奈川縣津久井郡千木良村　坂本なと)

○六月號での御言葉有難く御禮申し上げると共に、お詫び致します、私事或る事情の爲めに六月號の御誌を今迄拜見致す事が出來なかつたのですどうぞ御許し下さい(北海道　酒井文子)

○皆樣の投書なさいます、文壇の上達驚くばかりです、北海道の原きく代樣、お懐しう御座います、私も投書しますから何卒御指導下さい(北海道天鹽郡幌延村　小林熊子)

○葉蔭に數多の虫のコーラスも、淋しく聞えて來ます。淸き誌上でお振ひ遊ばす高木紫子樣。衣笠貞子樣先月號ではお優しいみ言葉下されまして、嬉しさに小さきハートも高鳴します以後よきにお導き下さい、(武藏の國　母子草)

○記者樣を初め、誌友の兄姉樣方には御變りも御さいませんか、淋しい子を何時も愛さしき御心にて御導き下さいます、野田樣、西口樣、園代樣、花子樣、春子樣、とみ子樣、遠き播州の里より感謝の泪を流してゐます。如何か今後共よろしく御愛導の程をお願申します黒田幸子樣、御奮ひ遊ばせ(兵庫縣多可郡　藤本春惠)

○毎號淸い誌上にてお振ひ遊ばす詩の花樣、夢見草樣。赤い鳥樣、お優しいお便りほんとうに有難うムいます、單調なライフを續けてゐる子はどんなに慰安されるか知れません以後尙ほ御愛導して下さい。(埼玉縣騎西の里にて　母子草)

○岡山縣のみな子樣、暑さ位はい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

とはずに少し奮つては如何なつかしい處女の友手にするや否や岡山と言ふ活字を一番に拾つて行きます、八月號などはほんとに淋しいのれ思はず嘆息をもらします尊い文壇歌壇をたてみに利用して品性の向上に勵めませうれお互に……（岡山縣　薔薇の花）

○殘暑とは言へ、まだ〳〵暑う御座います、記者樣始め誌友の皆樣お變りはありませんか、同縣の植野しん子樣、矢内愛子樣遠藤よし子樣登美多嶺女樣蔭乍らお慕ひ申して居るもので御座います今後よろしく御指導下さいませ（福島縣伊達郡立子山村　香野いさほ）

○小神の齋藤花枝樣、隣村にてお懐しう存じます、今後大いに本誌の指導を受け、處女會の發展に振ひませう（上手　渡石川とよ子）

○惠那郡武並村の水色草樣、私飽く迄淸淨なる全眞なる精神を維持して活社會活世間に獻身的微力を奉せんと確心致す者なれば貴女樣の精神に淸淨を缺くと思はるなれば强ひて文書交通は爽望致しません誤解の無きよう庶幾ひます。（福島縣河沼郡慶風）

○神奈川縣の皆樣、又愛讀者一金人出來ました、御喜び下さい。そして葛原の里で生を樂しむ二人を、永久に御愛導下さいませ。同縣の山口孝子樣、大神田園子樣、瀨間淸子樣、久野しげ子樣笹野光江樣毎號美しいお作を拜見してはお慕ひ申して居ります。（神奈川縣津久井郡名倉村　柏原とくの）

○暑い夏も涼しき秋にかはる頃と成りました。不肖な私が投書し始めてやがて一年となります。皆々樣の御上達ほんとに羨しく存じます。群馬の橋本登久子樣み優しきお名は早くから知りながら遂一度のおたよりも致さずお許し下さいませ、何卒此の後も御指導下さい、お願ひ申します。佐賀の小百合樣唯今如何おくらしなさいますか、誌友として御交際下さいませ、（福岡　田中靜子）

○暑さきびしき折から誌友の皆樣お變ありませんか、天鹽村の藤本春子樣誌上でお言葉有難う、私こそどうぞよろしく、只今はある事情の爲め札幌に住んで居ります、今後も相かはらずみ言葉下さいませ（札幌市北一條西三ノ二高岡樣方　加藤房子）

○記者樣先日は美しい繪葉書御送り下され有難く御禮申し上げます。吉岡荒太氏の御死去深く哀悼の意を表し心より御悔み申し上げます。野の花樣鍜冶谷セイ樣、私共の處女國でも四月三日に、一夜講習、展覽會、敬老會、音樂會等催しました、其の時「魂の入替」を致しました處が室内拍手の音が滿ちました雛祭等も致しました、其の後毎月本誌を樂しみに對話の出るのを待つて居ます（香川縣　瀨尾つれ）

○八月號にてみ言葉下さいました同縣の瀨尾つれ樣私こそ宜しくお導き下さいませ、そして御文通お願ひ致します。誌友の諸兄姉樣此の度私等にて同人雜誌を發行いたしましたので御希望の方は社費拾錢相添へお申し越次第お送り致します。（香川縣木田郡川添村十河まつゑ方　ひーらぎ詩社）

○宮城縣の小野寺ふじゑ樣、同名でお懐しうございます、お差支へなくばお交りの程を（福島　ほとゝぎす）

○歌本千代子樣、貴女樣も本誌を御愛讀なさいますか、八月號にてみ言葉嬉しうございました、私こそ意外の御無音で申譯もありません。本縣の加藤榮樣、田口しづゑ樣、三輪みと子樣はるかの空より御健康をお祈り致します（岐阜縣　砂岡錦野）

○青森縣の下北郡奥戸村のK子樣み便り拜見いたしました、誌上で御指導下さい、鳥取の渡邊愛子樣御變りありませんか、失禮いたしました、群馬縣の吉田喜久子樣みやさしきみ便りありがたうございました（島澄子）

○奥五米子樣、黑田あき樣、同縣でおなつかしう御座います、山形縣の皆々樣無學の私にもお手紙下さいませ（山形縣西村山郡東白川村水本伊淵なをの）

○靜岡縣の山下榮樣、本道の杉山早苗樣、先日はお手紙有りがたうれどうぞ御指導下さいませ（蝦夷富士山麓にて　きぬ代）

○埼玉の田中千代子さま、山崎千代子樣、同縣同名でおなつかしう存じます、同縣の平村花子さま新井利子さまはるかにお慕ひしてゐます（埼玉縣新鄕村　野口千代子）

○福島縣の高畑せき子樣、岐阜の梶田とし子樣、御言葉有がたう御座いました（岐阜縣西白川村　西野なか子）

○原田芳子樣、芳中壽美子樣、同縣でおなつかしう存じます、浴本貴美子樣、御差支なくば御住所お知らせ下さい、靜岡の風間さんは二三ケ月から讀み止めて居られます私とは姉妹のやうに文通してゐます（山口縣一處女）

○千葉かつみ樣、み言葉感謝の外はございません、田村の花樣、かつみ樣、春子樣、保理妙子樣みな樣に步みませう（宮城縣　小野寺フジヱ）

○八月誌上に御言葉下さいました田口しづゑ樣、都築芳子さま私（丹ほんとうにうれしうございました（岐阜縣惠那郡武並村　丹羽芳子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

編輯だより

▽涼しい秋、淋しい秋、昨年の今月が忍ばれます、全國からお集りになつた講習員の皆樣と樂しく過した一週間、それから一日すぎて天野理事の死といふ悲しみ、中央部では悲喜こもごもの混雜した月でした。天野理事逝かれて一週年、處女會のために東奔西奔されたお姿がありありと思ひ出されます。

○今年も今月三日から講習會を開きます、全國の指導者の方々にお目にかゝるのを樂しみにして居ます。

○中央部では皆元氣よく働いて今度の講習會が有益に首尾よく終るやうにといのつて居ます

○皆さんからの投稿も月々に出來榮えがよくまことに嬉しく存じます、編輯部の係りを驚かすやうな立派なものを御投稿下さい。

○それだと申してもあまり投書熱に浮されて家の事も忘れるやうになつて下さいますな、忙がしい中の趣味としてのすさびが最も貴いのです。

○京都府給田はな子さん、岐阜縣穀冶谷せい子さん、丹羽芳子さん近日賞品を送ります、埼玉縣平村の白菊さん御姓名をお知らせ下さい。

八月號考へ物解答

八月號の考へ物は「七草」といふのが正解でございます。例の通り抽籤で左の方々に當選いたしました。

山口縣都濃郡清水靜野、埼玉縣秩父郡倉林里子、山梨縣南巨摩郡長澤とくよ、靜岡縣田方郡井上くら子、群馬縣勢多郡川島けい子、愛媛縣温泉郡大西とよ子、栃木縣安蘇郡吉田キチ、奈良縣山邊郡松井礎子、三重縣阿山郡岡田美子、新潟縣中魚沼郡小島みつ子、福島縣大沼郡本田フヂイ、福島縣河沼郡五十嵐昌子、埼玉縣入間郡沼野惠子、島根縣飯名郡半田貞野、北海道天鹽郡小林くま子、長野縣下伊那郡吉澤靜、福島縣河沼郡伊藤ときの、神奈川縣津久井郡馬上三五子、神奈川縣高座郡小山宵風、福島縣伊達郡伊藤たつ子、三重縣富田町荒木多津子、岐阜縣大野郡明ケ谷みか子、愛媛縣西宇和郡松平ミチエ、愛媛縣東加茂郡松井すゞえ、京都府中野小谷やす、大阪府東成郡前田喜美子、大分縣日田井町石靜子、鳥取縣西伯郡加茂三千枝、山口縣吉敷郡上村晴子、滋賀縣蒲生郡山中ふじ子

考へ物新題

「し○をへて句はざ○せばも丶くさの上にはた丶じ○ら菊の○○」

次の○印に假名を入れて下さい、〆切十月廿日限り、宛名東京市本郷區元町二ノ六六處女の友發行所

毎月一回一日發行

定價表

冊數	定價	郵稅
一冊	貳拾錢	一錢
六冊	壹圓二十五錢	郵稅とも
十二冊	貳圓三十錢	同

注文規定

○送文はすべて前金のこと
○郵金は振替が便利で安全ゆへなるべくこれによられたし
○郵券代用は必らず一割增のこと
○前金切の時は帶封に「前金切」と印しおくゆへ直に送金せられたし
○送金のときは第何月號より第何月號迄と明記せられたし

大正十一年九月廿七日印刷
大正十一年十月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
編輯兼發行人 印刷人 松崎ひろの

東京市神田區小川町三十六
印刷所 成巧社印刷所

發行所 東京市本郷區元町二ノ六六
處女會中央部
振替東京六一九〇番
電話小石川四八〇八番

地方大賣捌 東京堂、北隆館 其他

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御注文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

倉持精市本店出版部と

新刊書類

金澤靜子著

フランス刺繍

ベビーステッチ B號 A號

洋服の流行と共になくてならないフランス刺繍獨り稽古、著者の滯歐十數年の苦心研究は本書に集め手藝界に解放す、
凸版十數面寫眞標本豐富四六版美本　一部三拾錢　送料二錢

金澤靜子著

タッチング編物手ほどき

最新にして流行界の花形たるタッチング編物は本書によつてその奥義に達す、これ金澤先生の苦心の結晶なり、二版
改正增大して出ず　四六版寫眞說明圖解付　一部參拾錢　送料二錢

堀内蘇舟著

和服裁縫

褄形の割出しと縫ひ方

和服裁縫の大家として堀内先生は既に定評あり、多年の苦心研究になる褄形の合理的割出しを世に薦む
原寸形紙說明書附　一部三拾錢　送料十二錢

高橋たみ子　齋藤しげる　共著

リボン刺繍の仕方

本書はリボン刺繍の初學者のための師導は勿論、リボン刺繍家の參考として製作品の應用の範圍豐富なり、原寸意匠
圖案を附し原紙石版により作品の効果を致り　寫眞凸版二十餘個附錄附　一部金五拾錢　送料二錢

婦人技藝材料商

東京市本郷區弓町二丁目十六十七

倉持精市本店

電話小石川二四二五番
地方部振替東京一七一一一番
出版部振替東京二七七九二番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

故天野藤男君記念事業

故天野君の記念事業は發表後日尚淺きにも不拘左記の如き喜ばしき好成績を收め得るものは等しく皆さんの御後援の賚であると深く感謝するところである今後は層一層御同情ある皆さんの後援に期待し、一日も早く初期の目的の達すべく希望を述べて再び御願する次第である。左に申込順に依つて報告する。

一金五圓也　神田區錦町　宮下軍平君
一金壹圓也　愛知縣津島町　山田せい子君
一金壹圓也　京橋區釆女町　浦島豚郎君
一金貳圓也　静岡縣庵原村　西ヶ谷可吉君
一金貳圓也　内務省警保局　後藤文雄君
一金拾圓也　日本橋大倉書店長　大倉保五郎君
一金壹圓也　京都下餘内村　飯田虎雄君
一金壹圓也　赤坂青山南町　月田藤三郎君
一金壹圓也　長野縣平野村　降旗サトミ君
一金五圓也　明治製版所　川田佐門次君
一金參圓也　府下西巣鴨町　須田鶴吉君
一金壹圓也　長野縣柵村　宮下幸夫君
一金參圓也　神奈川〃橋本村　橋本處女會君
一金五圓也　内務省衛生局長　潮惠之輔君
一金參圓也　内務省囑託　今井衆寛君
一金五圓也　大阪市役所　鈴木三八君
一金壹圓也　東京澁谷町　牛山善吉君
一金貳圓也　内務省社會局　福原誠三郎君
一金參圓也　埼玉縣浦和町　岡村準一君
一金貳圓也　内務省地方局　高田榮三郎君
一金貳圓也　山口縣山口町　篠崎篤三君
一金貳圓也　内務省社會局　伊藤隆祐君
一金壹圓八拾錢　佐賀三田川村　中牟田龍水君
一金壹圓也　滋賀浦生郡役所　塚本義雄君

計金貳百六拾九圓也（前申込分）

一金參圓也　處女會中央部　松崎ひろの君
一金拾圓也　赤坂區檜町　婦人矯風會君
一金壹圓也　青森縣金田村　小田大里兩君
一金貳圓也　埼玉縣三澤村　玉谷夏千君
一金壹圓也　群馬縣前橋市　齋藤熊雄君
一金參圓也　内務省囑託　牧野虎次君
一金參圓也　廣島縣千年村　山本瀧之助君
一金參圓也　東京博物館長　棚橋源太郎君
一金壹圓也　熊本縣坂瀬川村　宮崎重三君
一金壹圓也　島根縣莊原村　玉木權市君
一金壹圓也　岐阜縣富之保　島田敬君
一金壹圓也　東京淺草馬道町　鶴飼米子君
一金參圓也　小石川豊川町　田中芳子君
一金五圓也　静岡富士須津村處女會　影山勝君
一金壹圓也　岐阜縣蛭川村　井口丑二君
一金壹圓也　日本國民禁酒會　永田基君
一金五拾錢　宮城縣東根村　村上得郎君
一金貳拾圓也　處女會中央部　吉岡彌生君
一金貳拾圓也　同　山脇房子君
一金五圓也　同　甫守ふみ君
一金貳拾圓也　同　高野重三君
一金拾圓也　同　田所楠猪君
一金五圓也　大妻技藝學校長　大妻タカ子君
一金壹圓也　東京府千駄ヶ谷　黒政てる子君
一金五圓也　本郷區蓬萊町七　伊藤文子君
一金貳圓也　静岡縣小山町　朝倉毎人君
一金壹圓也　芝區新廣尾町　太田義三君
一金壹圓也　若松市天寧寺町　甲斐浦子君
一金壹圓也　神田南神保町二　秋山鹿郎君
一金五圓也　京橋區山下町　峯田一歩君
一金參圓也　日本青年館　座間止水君
一金壹圓也　島根縣屋裏村　綿織賢三郎君
一金壹圓也　宮城縣渠原農學校　佐藤熊治君
一金五圓也　兵庫縣社會課　小田直藏君
一金拾圓也　處女會中央部　福島四郎君
一金壹圓也　埼玉縣新郷村　荒井ろく子君
一金五圓也　四谷區三光町　竹内茂代君
一金貳圓也　小石川區御殿町　青地忠三君
一金壹圓也　島根縣神原村　錢紙善市君
一金五圓也　朝鮮總督府　丸山鵠吉君

一金參圓也　日本橋區馬喰町　山岸三之助君
一金參圓也　牛込區藥王寺町　近藤行太郎君
一金參圓也　青山北町五　下田歌子君
一金壹圓也　群馬縣木瀬村　深谷賢樹君
一金貳圓也　淀橋町角筈　安井哲君
一金壹圓也　三重縣廳　奥田大二君
一金九圓也　警察講習所長　松井茂君
一金壹圓也　福岡縣東村山　熊川勇藏君
一金貳拾圓也　日本國民禁酒會　青木庄藏君
一金五圓也　處女會中央部　大江すみ子君
一金貳圓也　本郷區丸山新町　棚橋絢子君
一金壹圓也　三重縣富町　大野しづ君
一金壹圓也　廣島縣賀永村　高田義尹君
一金參圓也　内務省社會局　井上良三君
一金壹圓也　神奈川縣中津村　柳川經子君
一金壹圓也　同縣佐野川村　大神ソノ君
一金壹圓也　静岡賀茂郡役所　野中芳藏君
一金壹圓也　本郷駒込林町　石田傳吉君
一金參圓也　内務省社會局　玉井廣平君
一金五圓也　新潟縣柏崎町　長谷川燕惠君
一金拾圓也　神奈川保土ヶ谷　工場處女會殿
一金壹圓也　埼玉縣富田村　仲ッネ君
一金貳圓也　栃木縣河内郡長　入江操君
一金拾圓也　神田區南神保町　福岡易之助君
一金壹圓也　山口縣王司村　河田茂馬君
一金壹圓也　愛知縣西浦町　山本定一君
一金壹圓也　東京府下戸塚町　澤柳誠四郎君
一金壹圓也　北海道船泊村　柳谷竹藏君
一金五圓也　赤坂區青山六　天野雄彦君
一金參圓也　日本青年館主事　田鎖一君
一金貳圓也　鹿兒縣廳　吉田幹君
一金壹圓也　相州葉山町　田中幸子君
一金五圓也　救世軍大本營　山室軍平君
一金參圓也　丸の内協調會　中村英雄君
一金壹圓也　埼玉縣騎西町　中村伊三郎君
一金壹圓也　愛知縣味岡村　平手繁松君
一金貳圓也　長野縣棡村　追通處女會君
一金壹圓也　長野縣東春近村　田中好之君
一金壹圓五拾錢也　岐阜縣神淵村　家本ハルヨ君

累計金六百八拾圓八拾錢也

○御注文の節は處女の友の御購讀に據る旨御書添へを乞ふ○

前内務省囑託
處女會中央部理事
故天野藤男先生著

最新刊

親愛なる處女へ

四六版上紙製
定價金壹圓八拾錢
送料八錢

家庭の主婦たり國民の母たる天職を持つ處女の自覺向上は獨り處女自身の幸福に非ず、實に日本國家の向上發展の源泉をなすのである。近時全國各地に處女會の設立を見、官民一致之が向上發展に力を盡さるゝも所以なしとせず、著者は夙に此所に意を致され多年處女及び處女會の爲に一身を捧げ來つた事は世の普く知る所であるが、不幸事業半にして二豎の冒す所となり終に不歸の客となられたるは惜しみても尚ほ餘りある事である。而も幸にして著者生前心血を傾けて執筆せられたるもの數十篇あり、こゝに之を集録して、一は著者の靈を慰め、一は全國幾十萬の處女への心の糧として推擧し得るは吾人の大なる喜びとする所である。處女諸氏よ、先づ本書に就いて諸嬢の爲に熱情溢ふるゝ著者の眞摯なる聲を聞かれよ。更に處女會婦人會指導者、子女敎育家或は婦人問題研究家も共に資料として本書を一讀さるゝならば必ずや得る所尠からざるを思ふ。敢て江湖に薦む。

處女の寶典處女會の課外讀本として薦む

發行所 東京市小石川區白山前町五七 振替口座東京六壹七四八番 天眞閣

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

新民

十月號　一部卅錢　一年三圓六十錢

緊急なる物價調節……鶴見左吉雄
落魄せる露國の名士……桑田博士
恩賜記念自治館の設計に就て……佐藤功一
税制整理と財産税……井上辰九郎
瑞西の人民一般投票……川西實三
歐米視察談（澤柳政太郎 渡邊勝三郎）
民育講談 松雲家先……天野雅彦
本邦の公益質屋に就て……伊藤貢
一戸四十四人の篤農家……鈴木孝太郎
小農保護の模範的施設……古谷雅洞
地方改善の跡を辿りて……伊藤良三
農村文化と婦人會……村田宇一郎
小作問題の將來……佐藤博士

家庭學校副校長　小鹽高恒先生著

最新刊

家庭の覺醒

價六拾錢　送料四錢

子を有つ親、寡婦の兒、兒童の要求、都市生活と不良兒の發生、人間の修繕その他を述べて、勤勉相愛の家庭を作るやうに人々の目ざめむことを説いたもの（報知新聞評）

山崎延吉先生著

增補九版

婦人の覺醒

價三十錢　送料二錢

附表　女房の善惡鏡

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる者なり。

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

親友

毎月一回發行　定價一部拾八錢　半ヶ年壹圓　一ヶ年貳圓

青年と處女の修養機關

覺醒しつゝある青年男女諸賢よ！若き男女が本誌を通じて赤裸々に所感を吐露熱叫し相互の修養向上改善に資しつゝあるに共鳴せよ！時勢の要求たる青年と處女の提携之ぞ本誌の任となし、純眞なる若き異性間の精神的交友の無二の親しき友たる雜誌

◎五厘切手廿枚封入申込め見本に一部送る

新刊

内務省社會局長田子一民先生序
宮内省御用係絅府種德先生序
山田秀峰先生編

東宮御外遊と青年團

洋裝四六版、定價金壹圓參拾錢
送料金六錢代金引換は貳拾錢增

◎全國青年團奉迎記念（九月中旬出來）

各國御巡遊の寫眞並に全國青年團奉迎寫眞掲載
長くも攝政宮殿下が昨年海外御巡遊の御盛事を永く記念すると共に御歸朝の際全國青年團代表者は橫濱埠頭に鶴駕を奉迎し、又賢所の御參拜の折宮城内に於て殿下の御英姿に咫尺し奉りたる事は實に我が青年團の無上の光榮であります。これ等を記念せんが爲、供奉せられたる二荒伯、山本大佐、濱田東宮武官、住山海軍大佐等の謹話、原總理大臣其他名士の所感並に奉迎當時の諸大臣の祝辭及全國青年團代表長奉迎の記事全部を修めたるもの、全國青年團代表者は勿論、學校敎育に社會敎育に精精修養にも絕好の史料であります。

修養小說

内務省囑託處女會理事天野藤男先生著　山本鼎畫伯裝幀　特價金壹圓　送料四錢

都に憧れて

故天野先生『都に憧れて』の繪葉書

『あさましき憧れ』より眞の『野の幸』に蘇るまでの悲しく美しき場面七編を四葉の端書にあらはし、一々に先生の麗筆を以て說明を活版刷にしたる一組

定價拾貳錢　郵稅貳錢

前内務大臣床次竹次郎閣下題字　田子内務社會局長序　故天野藤男
前文部大臣中橋德五郎閣下題字　乘杉社會敎育課長序　同　清子　著

改造と向上　青年と處女の叫

特價奉仕

定價貳圓五拾錢　函入四百餘頁
總クロース四六版　送料拾八錢

青年子女の問題は邦家社會の大問題にして、其誘導化育に力を注ぐべきは言を俟たざる所なるが、本書は全國地方青年男女の希望、不平、煩悶等を集輯分類し、之に一々著書の短評を加へたもので、地方青年團並處女會の讀物として必要缺くべからざる好著であり、又一般青年男女の修養書として推奬措く能はざる良書である。

發行所　振替東京四二一四一番　東京神田區美土代町三　親愛社

月刊雜誌 帝國青年

（定價）一部二十錢送料一錢▲半年分前金送料共一圓二十錢▲一年分同二圓三十錢

◎◎青年團員必讀の模範雜誌◎◎
◎青年團員指導者の研究舞臺◎

▲修養＝青年の發奮を促し修養に資すべき文字
▲研究＝青年團の新しき研究と發展進步の方法
▲智識＝農商工各方面の新智識新時代常識解說
▲娛樂＝趣味豐富の諸談立身談小說と讀者文藝
▲消息＝全國各地青年團の消息通信と寫眞滿載

謹告

青年團中央部（帝國青年發所行）は財團法人日本青年館成立と共に其目的事業を同じうするを以て同館と合同する事となり青年館は中央部の事業一切を繼承したり

最新 陸上競技

規則解說及び練習の方法

定價七十五錢‖送料四錢

◀內容概目▶

◎トラックフキルド▼競走及跳抛擲總則▲競爭規則▲ハードル▲リレーレース▲競爭練習法（長距離短距離ハードル）▲跳躍規則▲高跳▲幅跳▲跳躍練習法（基本練習走幅跳走高跳棒高跳ホップステップジャンプ）▲抛擲規則▲砲丸投▲圓盤投▲ハンマー投▲槍投▲投擲練習法▲混合競技規則▲五種競技▲十種競技▲五種十種練習法▲計測規則▲同成績の場合▲競技種類◎附競泳規則◎野球規則◎庭球規則▲練習法◎蹴球規則‖以上各規則に一々詳細なる解說を附し練習法と準備法とを懇述したるが本書の特色

青年訓話 軍神乃木

大久保四州著　定價五拾錢　送料四錢

乃木將軍の高潔なる心事……
それはたしかに讀む者の襟を正さしめる
乃木將軍の血あり涙ある行ひ……
それはたしかに讀む者を發奮させる

自治的青年團 幹部の要領

◎◎田子一民校閱
◎◎廣畑庄太郎著
‖定價五拾錢
‖送料四錢‖

最新刊

著者の長い間の實驗から生れた書物で青年團の幹部としての心得を親切に簡潔に實際的に而も周到に組織的に叙述してある處女會幹部の好參考書である

財團法人日本青年館　東京青山明治神宮外苑內　振替口座東京六〇七七八

第三回新學期

かな專習講義錄

總裁 小野鵞堂

顧問 大家數名
會長 神郡晩秋

内容 鵞堂流かな專習 漢字崩方 指導手ほどき 口語文 宣傳

見本 申込次第進呈

東京四谷左門町十 大日本かな專習會

六ヶ月卒業

故内務省囑託天野藤男著

親愛なる農村青年へ

定價八十錢 送料六錢

好評嘖々既に十二版を重ぬ地方青年にとりては唯一の指針盤たり敢て之を奬む

東京市本郷元町 丙辰出版社
振替東京三三三〇〇番

賜天覽台覽

故天野藤男著
内務文部兩大臣其他序

指導經營研究美績 青年團處女會

定價二圓五十錢 送料十二錢

◎好評六版◎

一著者が多年の苦心になれる著述にして青年會處女會の好參考書一

東京本郷元町二丁目
振替東京三三三〇〇番
丙辰出版社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

蒙高貴の御買上

夏冬使へる不思議の懐爐

灰なしフクフクカイロ

保温器と醫療器を兼ね而も七ッの不思議を備ふ

保温廿餘時間

七不思議

灰なしにして……科學的
醫療用として……衛生的
消耗僅少にて……經濟的
安全簡單にて……合理的
堅牢優美にて……永久的
價格至廉にて……理想的
點火たら消ぬ……壹晝夜

製造發賣元
カイロ壹個　金壹圓五拾錢　送料書留金拾八錢
傳熱板壹個　金貳拾五錢　送料書留金拾八錢
滿韓送料書留金五拾錢

東京市神田區淡路町二丁目四番地
福々堂
電話（長）神田二九七一番　神田三九〇一番
振替東京一三四五〇番

北海道支店
函館區蓬萊町百五十五番地
福々堂函館支店
電話二二四八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

小兒五疳驚風

本方
奇應丸

東京
ぎんざ
三丁目
松澤
商店

蟲おさへの
妙藥

ぜひおためしを乞ふ

銀座
岸田の藥ちやぽん

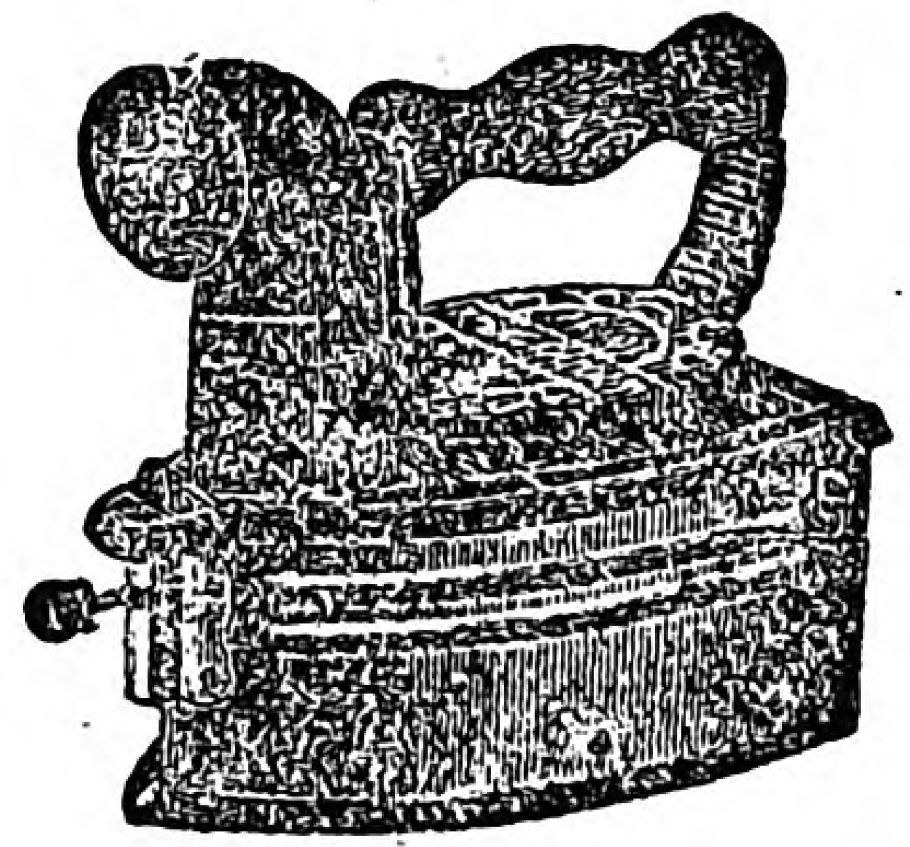
適應症
にきび
そばかす
あせも
たゞれ
しつ
ひぜん
たむし
いんきん

定價 二十錢 三十錢 五十錢

發賣元 東京銀座二
精錡水本舗
岸田吟香
電話京橋六一五
振替東京四七八七
販賣所全國有名藥店にあり

新案特許

家庭ニナクテナラヌ實火のし



一全部ニツケル鍍金なれば錆の出る虞れなく體裁優美にして堅牢精確なり。

一火の起り最も能く火力調節自在にして灰の飛ぶ憂ひなし

一蓋は蝶番にして蓋止は新案の自動的なれば火傷する恐れ更らになし。

一總量重くして底は船形なれば布帛の滑り能く完全に皺伸しが出來ます。

定價金四圓五十錢　送料三十五錢

東京市日本橋區人形町通り

發賣元　㊉島津金七商店

電話濱町七七六番　振替東京一〇九一五番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

に遅れない丈の修養は是非必要であります。高等女學校に行けない方々の爲に拵へたのがこの

新制 高等女學校講義錄

（十五ヶ月で卒業出來る）

であります。内容見本規則等はお申越し次第無代でお送りします。

會長　貴族院議員子爵 菊花高等女學校長　清岡長言

顧問　實践女學校長　下田歌子

顧問　女子醫學專門學校長 東京至誠病院長　吉岡彌生

學監　日本女子商業學校長　嘉悅孝子

講師　專門の大家先生　三十八名執筆

月謝　壹圓貳拾錢　毎月二回發行

東京市麴町區土手三番町廿壹番地
日本女子商業學校内

大日本婦女教育會

電話番町四三四八番　振替東京五三八六四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御注文の節は「處女の友」の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

◎處女と主婦の寶典◎

山脇高等女學校長 山脇房子
日本女子商業學校長 嘉悦孝子
東京女醫專門學校長 吉岡彌生
共著

最新刊

處女より主婦となる迄

日本文化の向上と否とは處女と主婦自身の問題にあり

目次概要

第一 修養篇——第一章人の一生は修養の一生、第二章理想としたい富士の神山（以下十章まで細目六十三節）

第二 日常生活篇——第一章家庭生活の改善、第二章世帶の持ち始めと共の整（以下十章まで細目七十六節）

第三 衛生篇——第一章家庭に於ける一般衛生、第二章處女期の衛生（以下十章まで細目七十九節）

三六判
天金最美本
定價金貳圓卅錢
送料十二錢

眞に處女と主婦とをして國民の母たる美德と實質とを得させようとするには、何よりも先づ處女と主婦とに適合した最良の讀物を與へなければならぬ。本書は此の原則的要約によつて、現今女子敎育界の泰斗たる三女史が、若き婦人のために精神の修養、生活の改善及衛生の三方面に亘り、平素の蘊蓄を披瀝せられたもので、處女たり主婦たり將又一般女子たるもの丶最良絕好の讀物たるは言ふまでもない。取材適切、文章平易、加ふるに一々婦性の深祕に觸れ、親切叮嚀に有らゆる事項を解說詳叙す。此一本を熟讀玩味せば、眞に最善の處女たり優良の主婦たることが出來る。敢て世の處女主婦諸氏及び其が敎養指導の任にある諸彥に推薦す。

發兌元 東京市本郷區動坂町一三一七番地 振替貯金東京一四二四三三番 日比書院

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

長くも御料に召させ給ふ御園白粉及御園化粧品は最新の科學と容易に得難き經驗に依り、原料と芳香を精選し衛生と美容の目的に適ふ配合を以て謹製したる眞に本邦唯一の理想的優良化粧品なり。

御料

御園白粉

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば衛生上有効無害にして然もノリよくノビよく濃淡自在に美しく着き、決て斑を生せず、化粧栄の美しく且高品なる事他に其比を見ざる模範品なり。

ねり製　御園白粉
水白粉　御園の月
淡化粧用　御園水白粉
粉白粉　御園の花
打白粉　御園撫子
懐中用　御園紙白粉
濃厚化粧水　御園四季の花
白色化粧水　御園白露
化粧水　御園の露
濃化粧用白粉下　御園の蕾
洋風化粧料　御園クレーム
花精　御園香精
化粧香水　御園の橘
頭髪水油　御園香油
粉製歯磨　御園歯磨
日焼肌止化粧料　御園ルチゲン

本舗　伊東胡蝶園
發賣元　丸見屋商店

復刻版 処女の友 全5巻＋別冊1

2014年11月1日発行

揃定価（本体90、000円＋税）

編集・発行者 細田哲史

発行所 不二出版

東京都文京区向丘1-2-12

☎03（3812）4433

印刷所 富士リプロ

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

第5巻 ISBN978-4-8350-7664-5

全6冊 分売不可 セットコードISBN978-4-8350-7659-1

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

UNIVERSITY OF
ILLINOIS LIBRARY
AT URBANA-CHAMPAIGN
BOOKSTACKS

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN